

名古屋市社会福祉協議会
高齢者・共生型サロン実態把握調査
報告書

2026年3月

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

はじめに

「ふれあい・いきいきサロン活動」は、2000 年度に介護保険制度が施行され、公的サービスが拡充されるなかで、高齢者や障がい者、子育て中の親子などの方々が、身近な場所で気軽に仲間づくりや生きがいづくりを進め、地域でいつまでもいきいきと暮らせることを目指す住民主体の交流活動として全国的に発展・拡充されてきた取り組みです。

この取り組みは、高齢者の孤立感や孤独感の解消、介護予防など様々な効果があり、身近な地域で参加者とボランティアとが一緒になって「ふれあい・いきいきサロン活動」を企画・運営をしていくことは、地域共生社会の実現に向けた支えあいのある地域づくりにつながると言われています。

そのため今後もより一層の発展・拡充が求められている取り組みとなっています。

このような中、名古屋市・区社会福祉協議会（以下「市・区社協」という。）では、2003 年度から高齢者サロンの開設助成を行う「ふれあい・いきいきサロン推進事業」を創設し、さらには、2005 年度から、子育てサロンや障がい者サロン、共生型サロンへも助成対象を拡大するなど、市内の幅広い世代を対象としたサロン活動の支援を行ってきました。

また、2015 年度から名古屋市より「高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」を受託するとともに、各区社協を「サロンなんでも相談所」と位置付け、市内における多様なふれあい・いきいきサロン活動の支援に取り組み、普及・促進のための『サロン実践者向け研修・交流会』などにも取り組んできたところです。

これらのふれあい・いきいきサロン活動に関わる方々が、今後もより一層、安心してふれあい・いきいきサロンを通じた支えあいのある地域づくりを推進していただくために、このたび、名古屋市・市区社協では、「高齢者・共生型サロン実態把握調査」を実施し、サロンの運営ボランティア・参加者の現状や参加後の変化、サロン活動上での課題・要望などを把握し、その結果について名古屋市と市・区社協が一体となって検証することとしました。

最後になりますが、本報告書が多くの皆様に活用され、ふれあい・いきいきサロン活動のますますの活性化に向けた様々な取り組みの参考となれば幸いです。

本報告書の作成にあたりご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

2026 年 3 月
社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会

目次

第1編 統計データ編	1
第1章 基本指標	1
(1) 人口	1
①名古屋市の人口の状況	1
②区別の人口の状況	3
(2) 要支援・要介護者数の推移	4
①市内の要支援・要介護者の推移	4
②区別の要支援・要介護者の状況	5
(3) 障がい者の状況	6
①身体障がい者の状況	6
②知的障がい者の状況	7
③精神障がい者の状況	7
第2章 サロンの状況	8
(1) サロンの設置状況	8
①市全体のサロンの設置状況	8
②区別のサロンの設置状況	9
(2) 区ごとのサロンの設置数及び状況	10
①千種区	10
②東区	12
③北区	14
④西区	16
⑤中村区	18
⑥中区	20
⑦昭和区	22
⑧瑞穂区費	24
⑨熱田区	26
⑩中川区	28
⑪港区	31
⑫南区	33
⑬守山区	35
⑭緑区	37
⑮名東区	40
⑯天白区	43
第3章 サロン活動状況	45

(1) サロンの担い手.....	45
(2) サロンの会場.....	46
(3) サロンの開催頻度.....	47
費	
第2編 サロンアンケート編.....	48
第1部 調査の概要.....	48
(1) 調査の目的.....	48
(2) 調査の概要.....	48
(3) 報告書の見方.....	48
第2部 サロン代表者アンケート.....	49
第1章 サロンの概要.....	49
(1) サロンの種別.....	49
(2) サロンの開催地区.....	49
(3) サロンの活動年数.....	50
(4) サロンの運営母体.....	50
(5) 代表者の年齢.....	51
(6) ボランティアの年代・人数.....	51
(7) サロン会場の種別.....	53
(8) サロンの開催頻度.....	54
(9) サロンの開催時間.....	54
(10) 活動する時間帯.....	55
(11) 参加者数.....	55
(12) 参加.....	56
第2章 サロン参加者の状況.....	57
(1) 性別.....	57
(2) 平均年齢.....	57
(3) 参加者数の変化.....	58
(4) サロンを始めたきっかけ.....	58
(5) サロンの内容.....	59
第3章 サロンの経費や助成制度.....	60
費	
(1) 必要経.....	60
(2) 必要経.....の内容.....	61

第4章	サロンの運営状況について	63
(1)	連携している団体や機関.....	63
(2)	継続のために取り組んでいること	64
(3)	参加者の困りごと解決の取組.....	65
(4)	サロンの運営状況.....	66
(5)	サロン活動上の悩み.....	67
第5章	サロン活動の効果	68
第6章	地域共生社会について	72
第7章	求められるサロン活動の支援策について	73
第3部	サロン参加者アンケート	75
第1章	サロン参加者	75
(1)	サロンの開催地区.....	75
(2)	性別	76
(3)	年齢...費.....	76
(4)	家族構成.....費.....	77
(5)	介護認定区分.....費.....	77
(6)	仕事.....費.....	78
(7)	SNSの使用状況.....	78
(8)	現在の健康状態.....	78
(9)	参加している活動.....	79
(10)	参加しているサロンの数.....	79
第2章	参加しているサロンの状況	80
(1)	サロンまでの移動時間.....	80
(2)	サロンまでの移動手段.....	81
(3)	サロンに参加する理由.....	82
(4)	サロンの経験年数.....	83
(5)	サロンの参加・について.....	83
(6)	サロンの満足度.....	84
(7)	サロンに関する情報入手方法.....	85
第3章	サロン参加の効果	86
第4章	日常の行動や感じていること	90

(1) サロン活動を充実するために必要なこと	90
(2) 充実してほしいプログラム	91
(3) 相談相手	92
(4) 日頃感じていること	93

第3編 今回調査のまとめ 94

(1) サロンの実施体制の状況	94
①活動年数	94
②運営母体	95
③代表者の年齢	97
④ボランティアの人数	98
⑤参加者の状況	99
(2) サロン活動の経済状況	100
①財源	100
②必要な経費	101
③1回あたりの参加費	103
④サロンの規模別・活動内容別の経費	105
⑤サロンの規模別・活動内容別の1回あたりの参加費	108

資料編 111

(1) 代表者調査票	111
(2) 参加者調査票	115

○本報告書では以下の名称を簡略化して表記します。

・ふれあい・いきいきサロンを「サロン」

○各表の出典先が記載されていないものは、名古屋市社協からの資料提供に基づいて作成しています。

第1編 統計データ編

第1章 基本指標

(1) 人口

①名古屋市の人口の状況

名古屋市の人口は、2015年から2020年には増加傾向が続き、2016年には230万人を超えています。2020年から2021年にかけては新型コロナウイルスの感染拡大の影響のためか、やや減少しましたが、その後も増加傾向が続き、2024年には2,331,264人となっています。

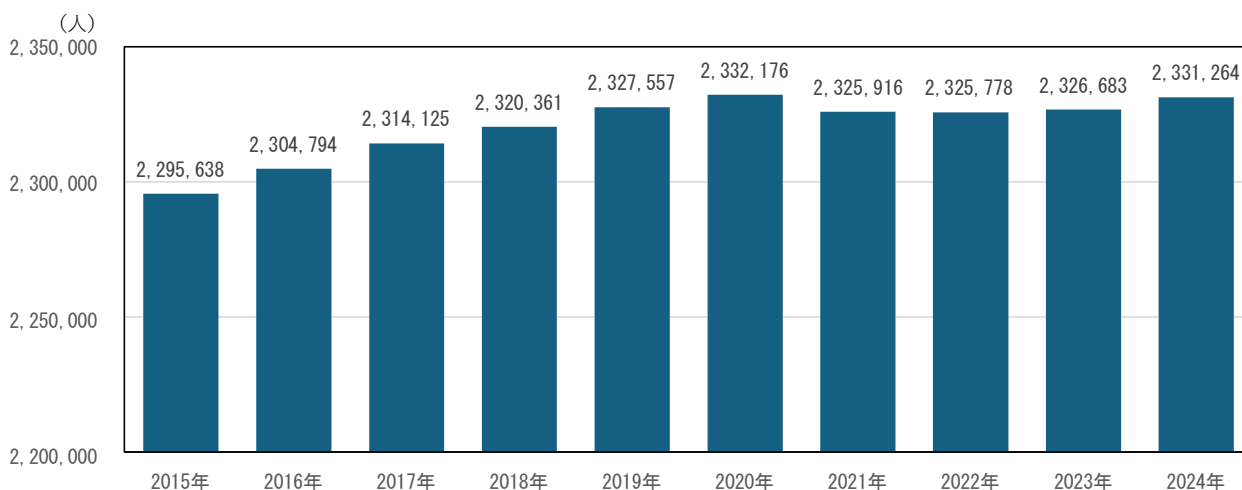
日本全体では、人口減少となっているなかで、名古屋市は増加傾向が続いています。

年齢4区別の人口をみると、65歳以上の人口は一貫して増加傾向が続いています。2024年には594,137人と過去最高となり、2015年に比べて4万人増加しています。一方で0～14歳のこどもの人口は262,059人で減少傾向が続いています。2015年に比べて2万人の減少です。

全人口に占める65歳以上の高齢者の割合を示す高齢化率は緩やかに上昇していますが、近年は25.5%の横ばいで推移しています。

65歳以上の高齢者の人口は、増加し続けていますが、65～74歳の前期高齢者の人口は減少傾向にあり、75歳以上の後期高齢者の人口は増加傾向が続いています。

図表 名古屋市の人口の推移（各年10月1日現在）



資料：国勢調査、名古屋市統計年鑑（各年10月1日現在）

注1) 国勢調査結果確定値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものである。（国勢調査と住民基本台帳人口には相違があるため、2017年6月1日以前、また2021年10月1日以降は一部の年齢にマイナスを生じることがある。）

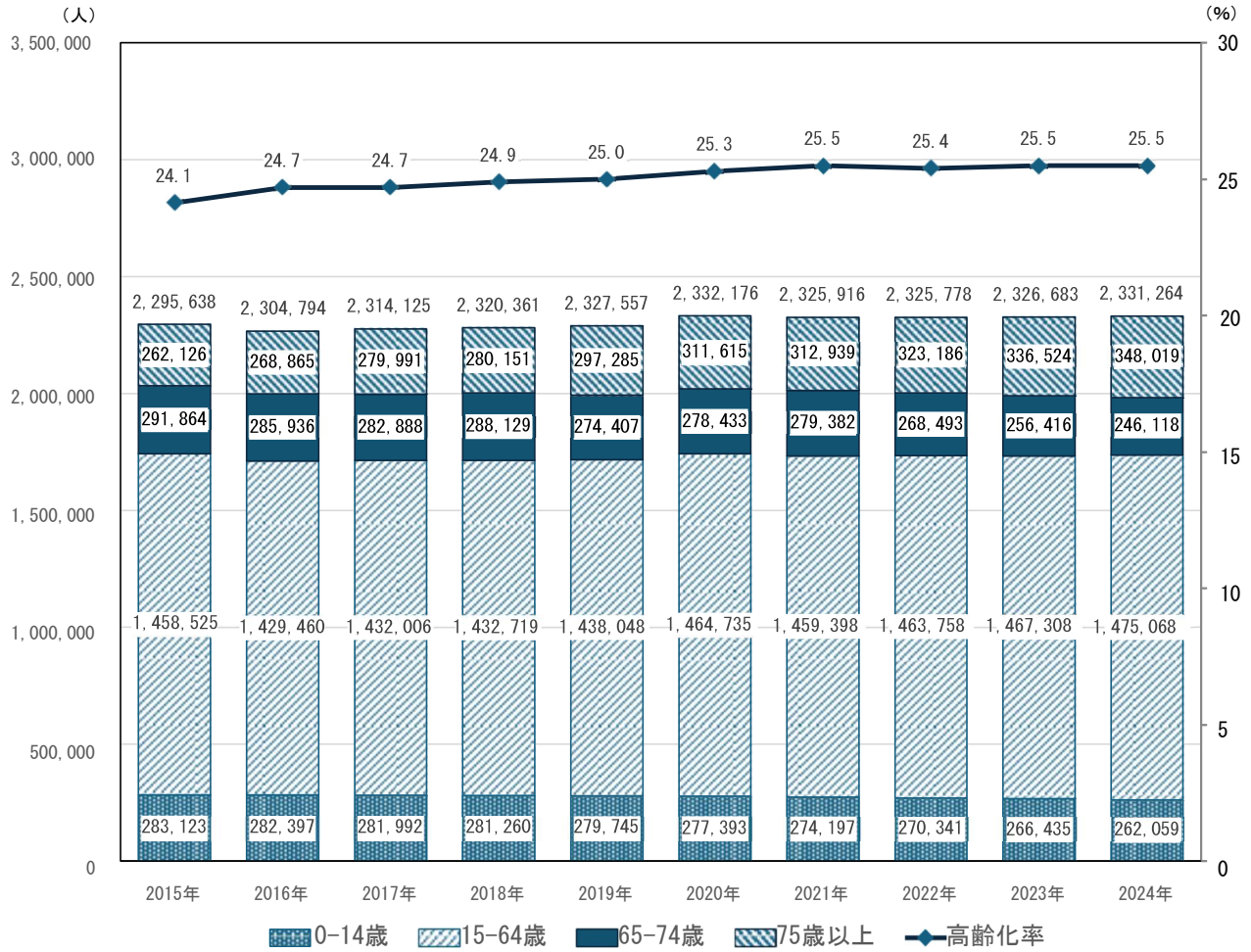
注2) 2017年7月1日から2020年9月1日の期間は、注1に加え、マイナス人口が生じないよう更正をしている。

注3) 2020年9月1日以前は、総数に年齢不詳を含む。2020年10月1日は国勢調査結果確定値（不詳補完値）であり、2021年10月1日以降は国勢調査結果確定値（不詳補完値）を基礎として推計し、年1回（10月1日時点）の公表となる。

注4) 2025年10月1日は、2020年国勢調査結果確定値（不詳補完値）を基礎として推計しており、2025年国勢調査結果が公表された後は、その数値に置き換える。

注5) 2010年10月1日～2020年9月1日の年齢別割合は年齢不詳を含まない人口総数を分母としている。

図表 年齢4区分別人口と高齢化率の推移



資料：国勢調査、名古屋市統計年鑑（各年 10 月 1 日現在）

②区別の人口の状況

高齢化率をみると、南区が 30.1%と最も高く、港区、北区が高い状況です。

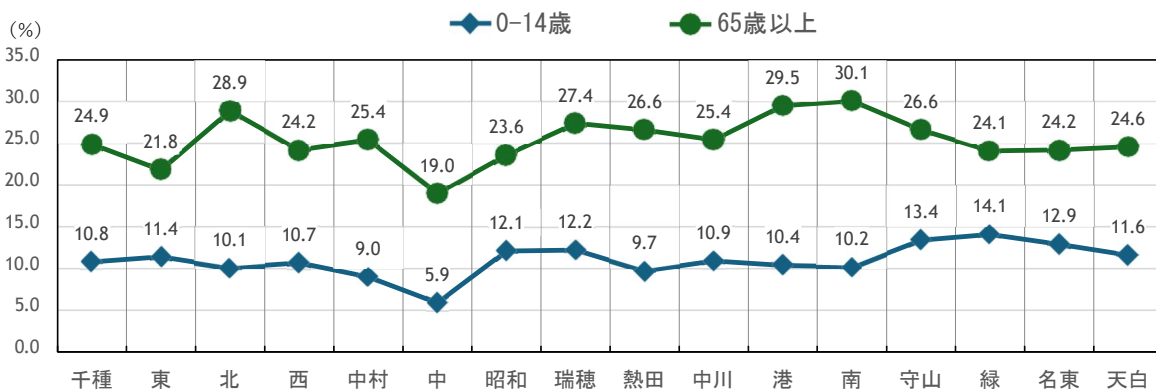
こどもの比率は、最も高い緑区でも 14.1%に留まっています。中区、中村区、熱田区では 10%を下回っています。

2025 年 10 月 1 日現在の各区の人口をみると、緑区が 247,665 人で最も多く、中川区 217,257 人と続いています。

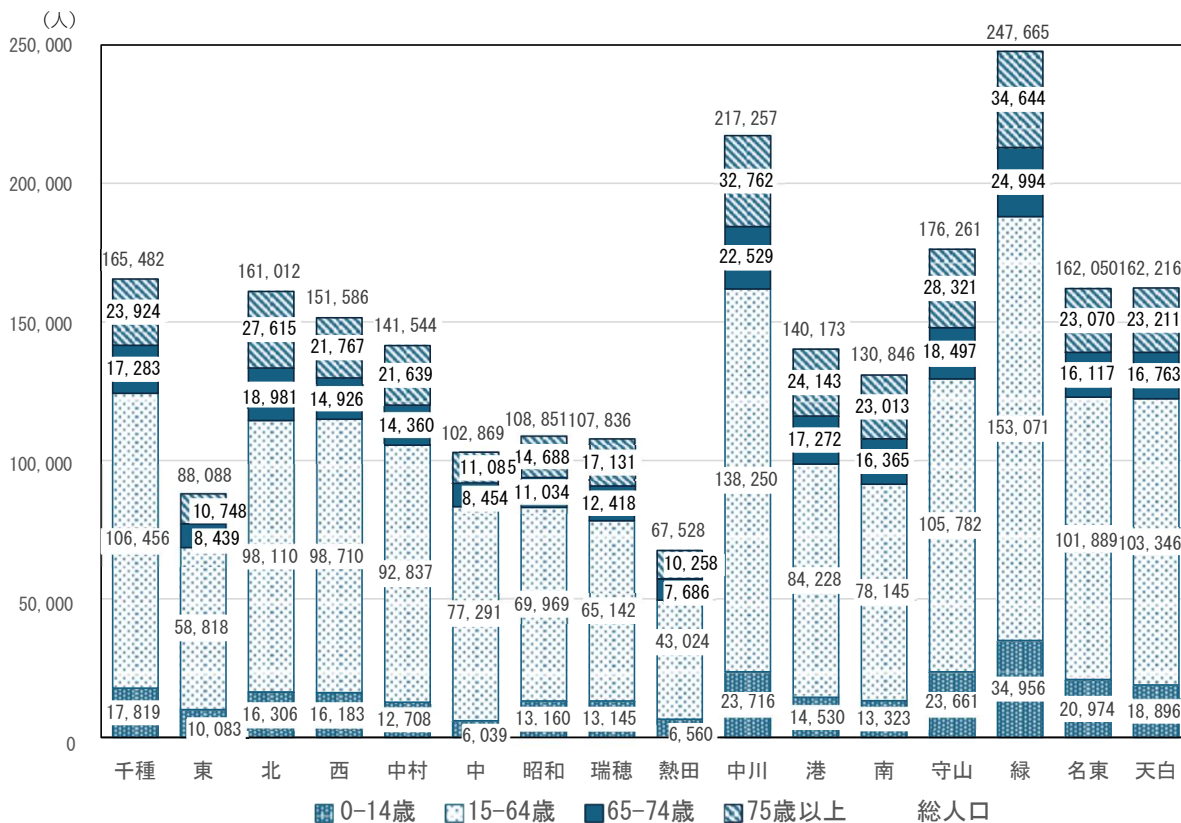
65 歳以上の高齢者が多いのは緑区、中川区で 5 万人を超えています。

0~14 歳の子どもが最も多いのは緑区で 3 万人を超えており、次いで中川区、守山区、名東区が 2 万人を超えています。

図表 区別 0~14 歳子ども比率と高齢化率の状況



図表 区別年齢 4 区分別人口



資料：国勢調査、名古屋市統計年鑑（2024 年 10 月 1 日現在）

(2) 要支援・要介護者数の推移

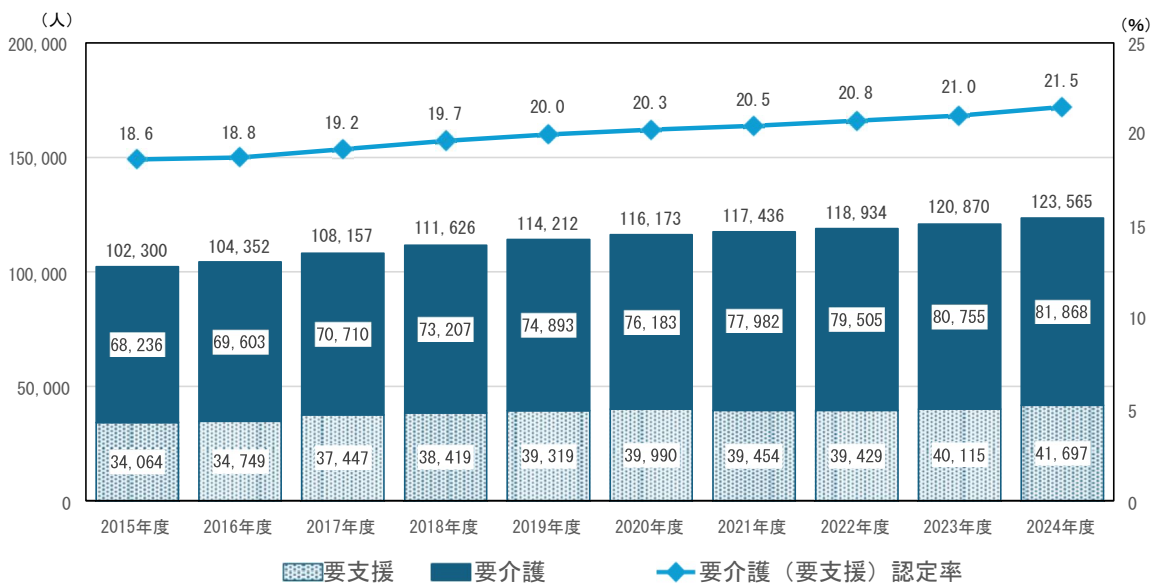
①市内の要支援・要介護者の推移

要支援・要介護者の総数は、2015年度から一貫して増加し続けています。2023年度には12万人を超えて、2024年度には123,565人となっています。特に、要介護者は2015年度に比べて13千人増加しています。

要介護（要支援）認定率も一貫して上昇傾向にあり、2019年度に20%を超えて、2024年には21.5%となっています。

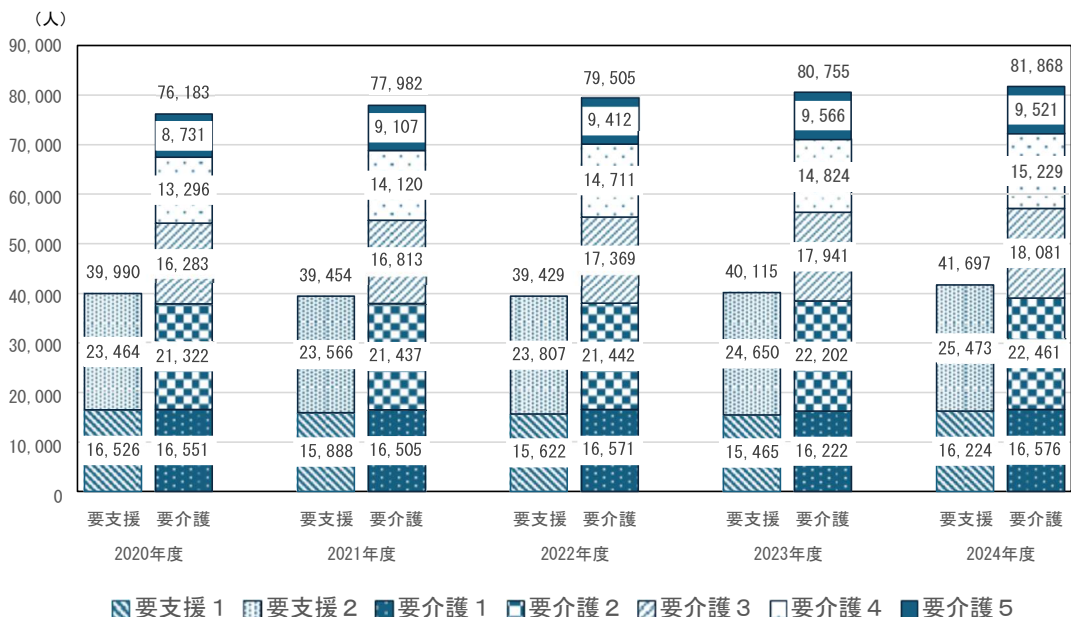
要介護度別にみると、2020年度と比較して、要支援2、要介護4は2千人程度増加していますが、要介護1は横ばいで推移し、要支援1は2023年度まで減少が続き、2024年度には増加しました。

図表 要支援・要介護者数と要介護（要支援）認定率の推移



資料：名古屋市健康福祉年報（各年度末時点）

図表 要支援・要介護度別認定者数の推移



資料：名古屋市健康福祉年報（各年度末時点）

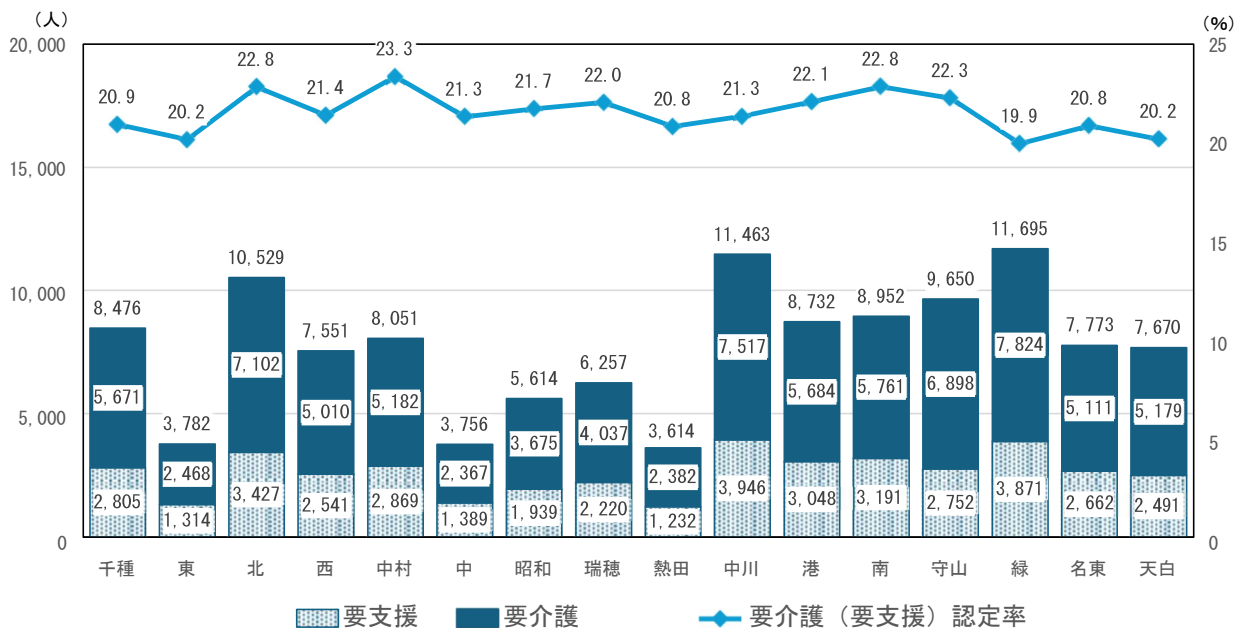
②区別の要支援・要介護者の状況

各区の要支援・要介護者数をみると、緑区が 11,695 人と最も多く、中川区 11,463 人、北区 10,529 人と 1 万人を超えています。

要介護（要支援）認定率は、中村区が 23.3%と最も高く、北区、南区が 22.8%と続いています。緑区は認定者数が多くなっていますが、認定率は最も低くなっています。

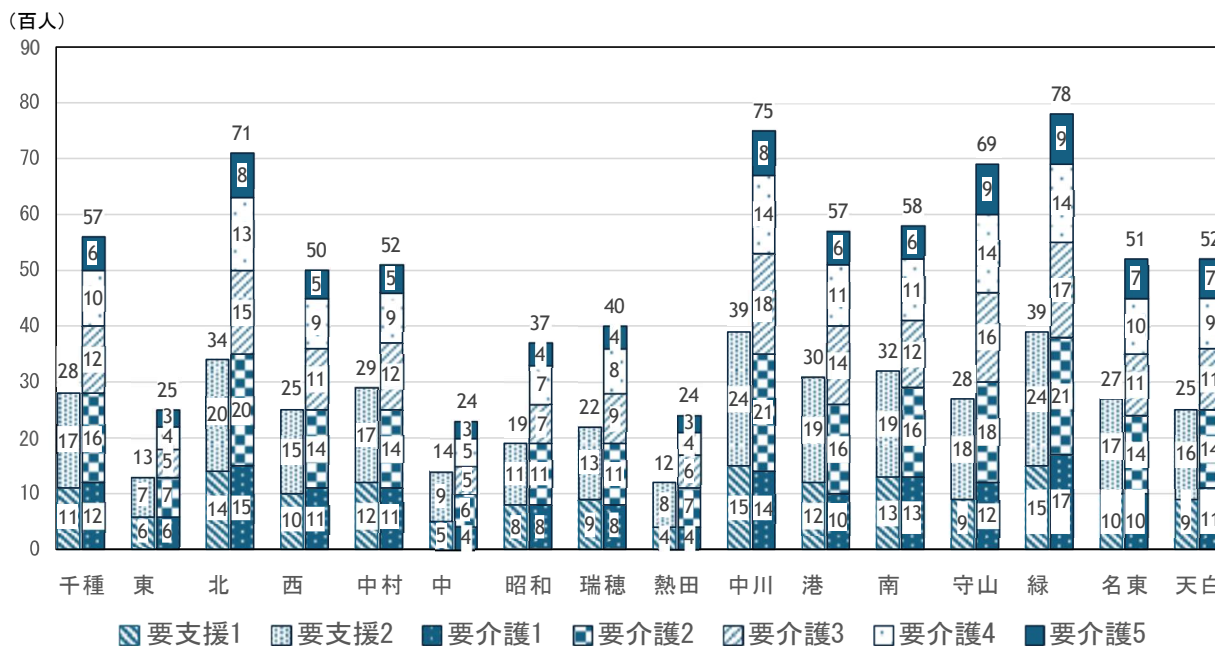
各区の認定者数の状況をみると、介護度の割合が市全体の割合と大きく乖離している区はありません。

図表 区別要支援・要介護者数と要介護（要支援）認定率の状況



資料：名古屋市健康福祉年報（2024 年度末時点）

図表 区別要支援・要介護度認定者数の状況



資料：名古屋市健康福祉年報（2024 年度末時点）

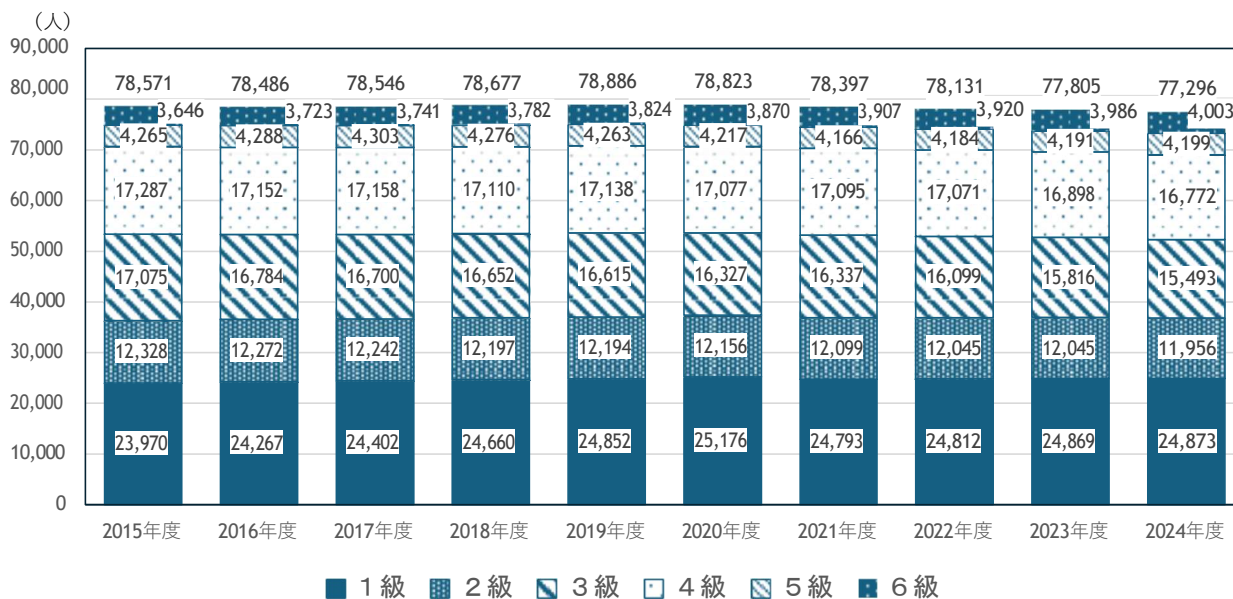
(3) 障がい者の状況

① 身体障がい者の状況

身体障害者手帳の所持者数の推移をみると、2015 年度以降ほぼ横ばいからやや減少傾向になっています。

身体障害者手帳所持者の障害の種類は、肢体不自由が 34,794 人と最も多く、内部障害 29,677 人となっています。

図表 身体障害者手帳所持者数の推移



資料：名古屋市健康福祉年報（各年度末現在）

図表 身体障害者手帳所持者の障がいの種類

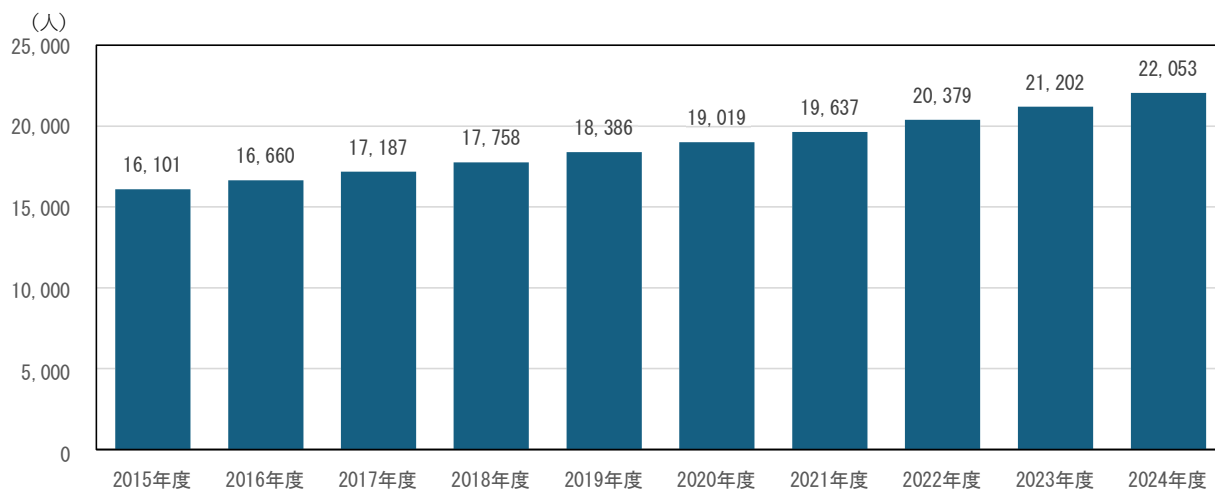
視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語機能障害	肢体不自由	内部障害
5,554	6,385	886	34,794	29,677

資料：名古屋市健康福祉年報（2024 年度末現在）

②知的障がい者の状況

愛護手帳の所持者数は、2015年度から一貫して増加傾向となり、2022年度には2万人を超えて、2024年度には22,053人となっています。

図表 愛護手帳所持者数の推移

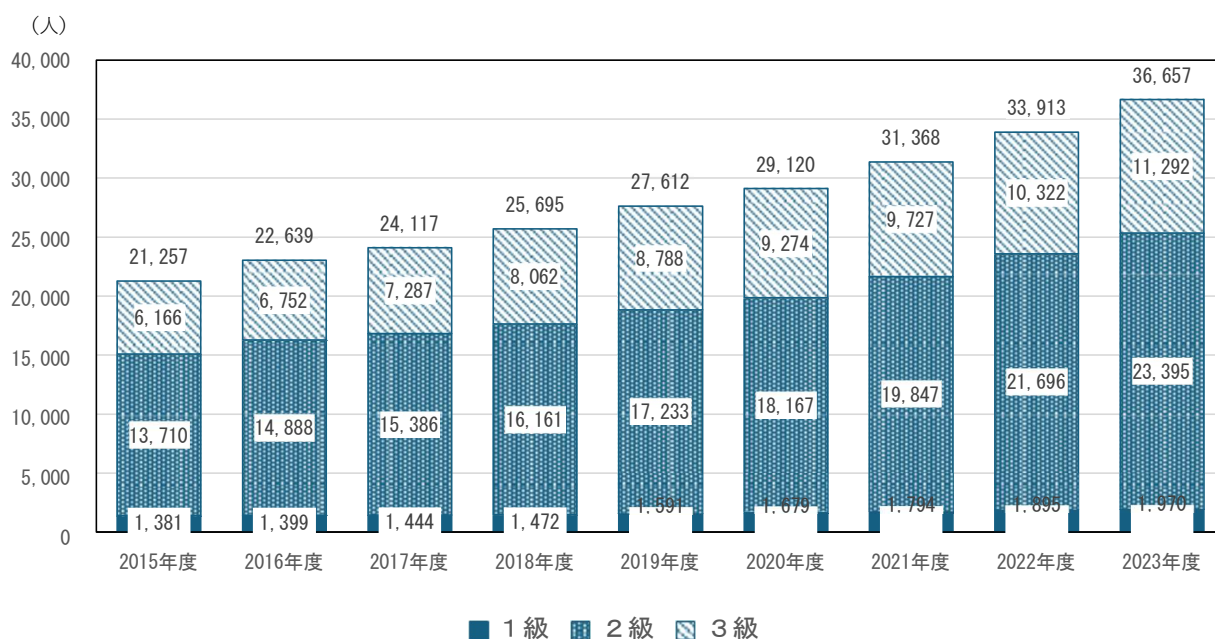


資料：名古屋市健康福祉年報（各年度末現在）

③精神障がい者の状況

精神障害者手帳の所持者数は、2015年度から一貫して増加傾向となり、2021年度には3万人を超え、2023年度には36,657人となっています。

図表 精神障害者手帳所持者の推移



資料：名古屋市健康福祉年報（各年度末現在）

第2章 サロンの状況

(1) サロンの設置状況

①市全体のサロンの設置状況

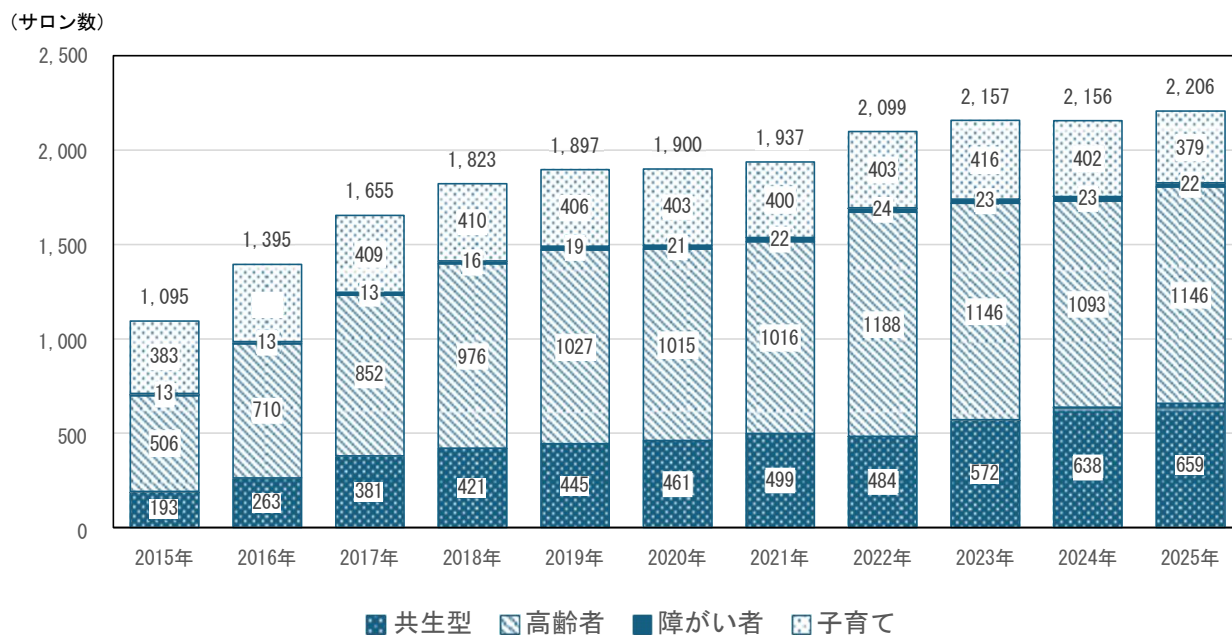
市全体のサロンの設置状況は、2015 年以降増加傾向が続いており、2025 年には 2,206 か所となっています。

種別にみると、「高齢者サロン」が 1,146 か所と最も多く、「共生型サロン」が 659 か所、「子育てサロン」が 379 か所、「障がい者サロン」が 22 か所となっています。

「高齢者サロン」は 2019 年に 1,000 か所を超えましたが、近年は増減しながら横ばいとなっています。「障がい者サロン」は 2020 年に 20 か所を超えましたが、ほぼ横ばいで推移しています。「共生型サロン」は増加傾向となっています。

高齢者千人あたりの「共生型サロン」「高齢者サロン」のサロン数は、3.04 です。

図表 サロンの種別設置状況の推移



注：高齢者千人あたりの「共生型サロン」「高齢者サロン」のサロン数の算出にあたり、サロン数は 2025 年 12 月現在、65 歳以上の高齢者サロン人口は 2024 年 10 月人口（推計）を用いている。

②区別のサロンの設置状況

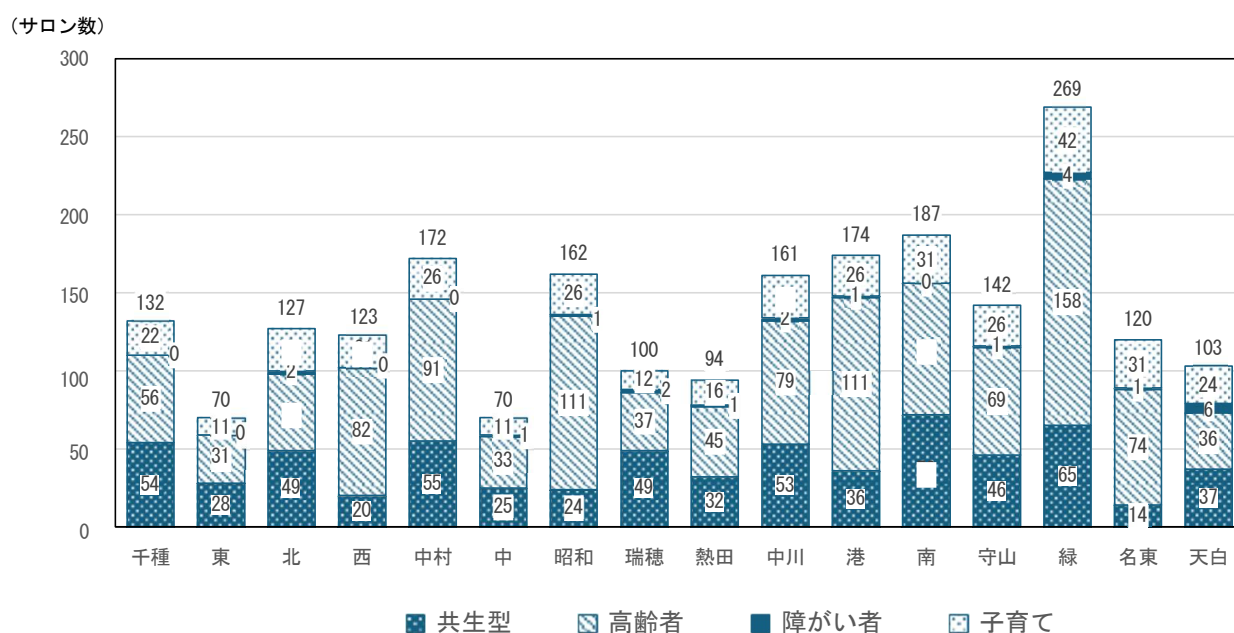
各区のサロンの設置状況を見ると、緑区が 269 か所で最も多くなっています。次いで、南区 187 か所、港区 174 か所、中村区 172 か所となっています。

サロンの種別でみると、「高齢者サロン」「子育てサロン」は緑区が最も多く、「共生型サロン」は南区、「障がい者サロン」は天白区が最も多くなっています。

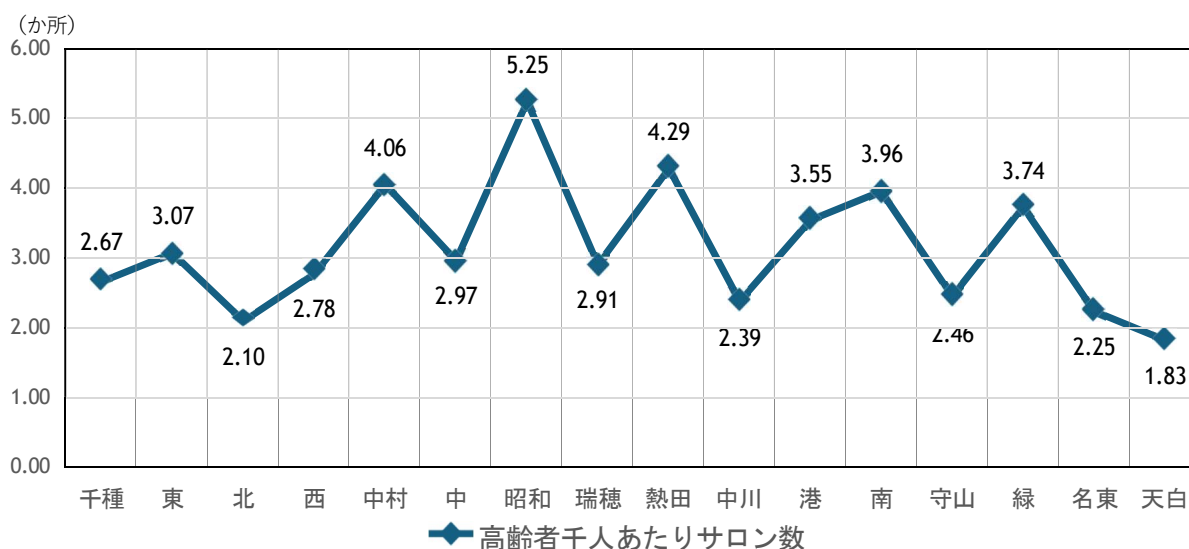
瑞穂区、天白区は「高齢者サロン」よりも「共生型サロン」の方が多くいます。

高齢者千人あたりの「共生型サロン」「高齢者サロン」のサロン数は、昭和区が 5.25 と最も高く、熱田区 4.29、中村区 4.06 と続いています。

図表 区別サロンの種別設置状況



図表 高齢者千人あたりの「共生型サロン」「高齢者サロン」のサロン数



(2) 区ごとのサロンの設置数及び状況

①千種区

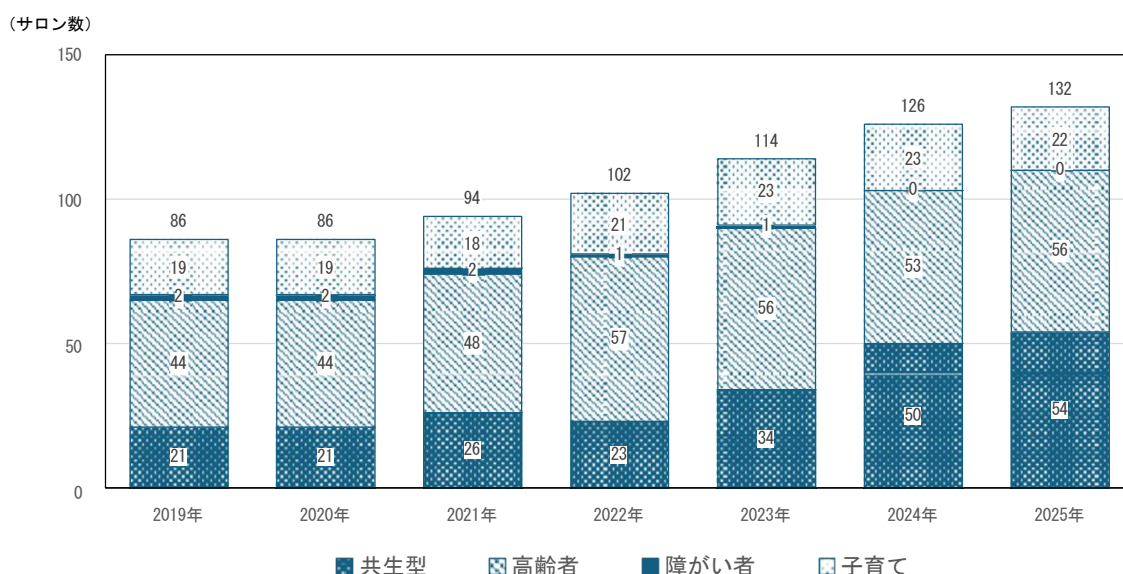
千種区のサロン数は、2020年以降増加傾向が続き、2025年は132か所です。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが54か所、高齢者サロンが56か所、子育てサロンが22か所で、障がい者サロンはありません。

学区別では上野が18か所で最も多くなっており、サロンのない学区はありません。

上野、高見、宮根では増加傾向となっています。これらの学区では、近年、周知や集客しやすい市営住宅などの集合住宅の集会所を利用しているサロンが多く開設されています。さらに老人クラブの活動も盛んで、元気で活発な高齢者が多いという特徴があります。ポッチャなど屋外での活動や体操をするサロンも多く、男性の参加率も高くなっています。

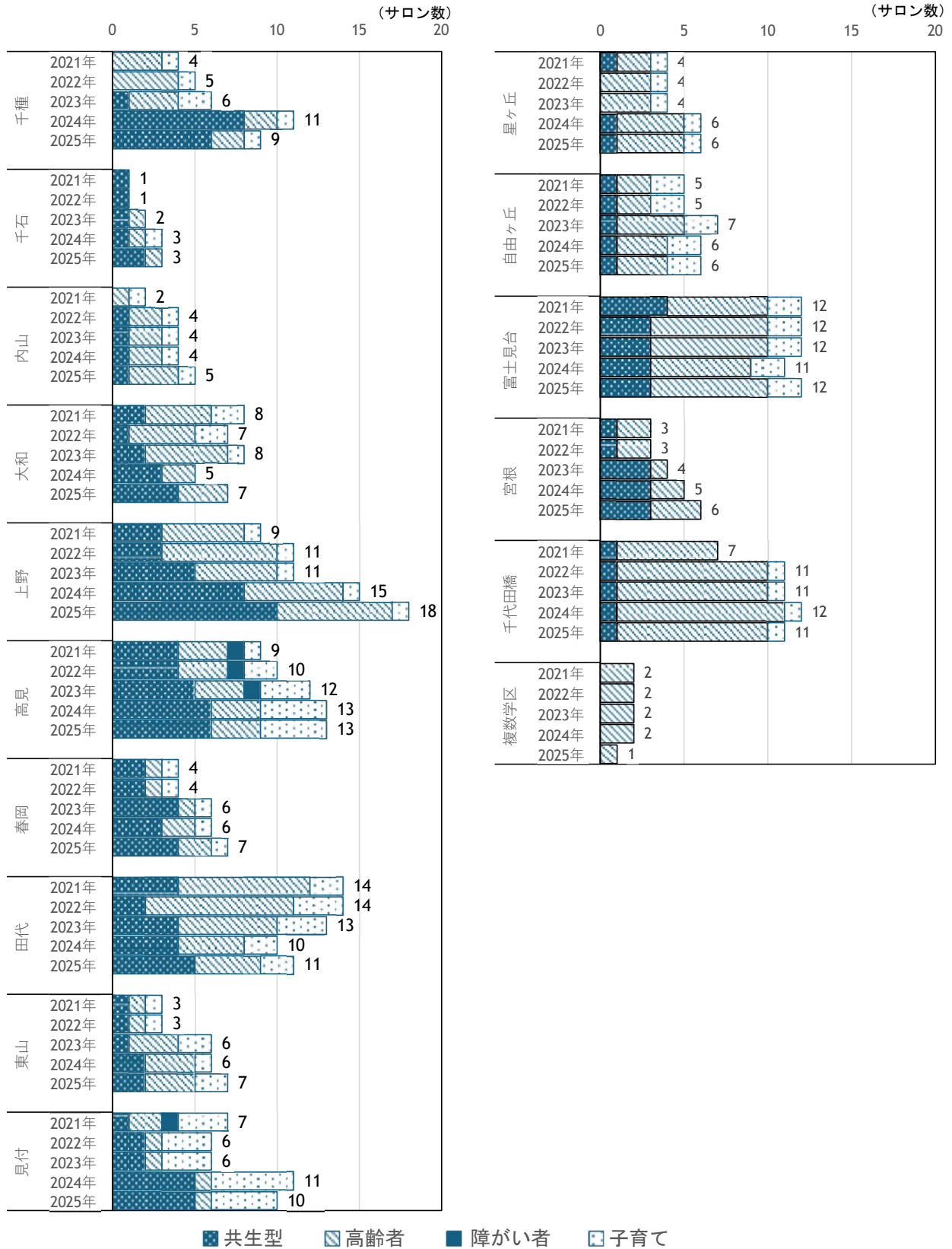
図表 【千種区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【千種区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
千種	6	2	0	1	9
千石	2	1	0	0	3
内山	1	3	0	1	5
大和	4	3	0	0	7
上野	10	7	0	1	18
高見	6	3	0	4	13
春岡	4	2	0	1	7
田代	5	4	0	2	11
東山	2	3	0	2	7
見付	5	1	0	4	10
星ヶ丘	1	4	0	1	6
自由ヶ丘	1	3	0	2	6
富士見台	3	7	0	2	12
宮根	3	3	0	0	6
千代田橋	1	9	0	1	11
複数学区	0	1	0	0	1
合計	54	56	0	22	132
(構成比)	40.9%	42.4%	0.0%	16.7%	100.0%

図表 【千種区】学区別サロンの種別設置状況の推移



②東区

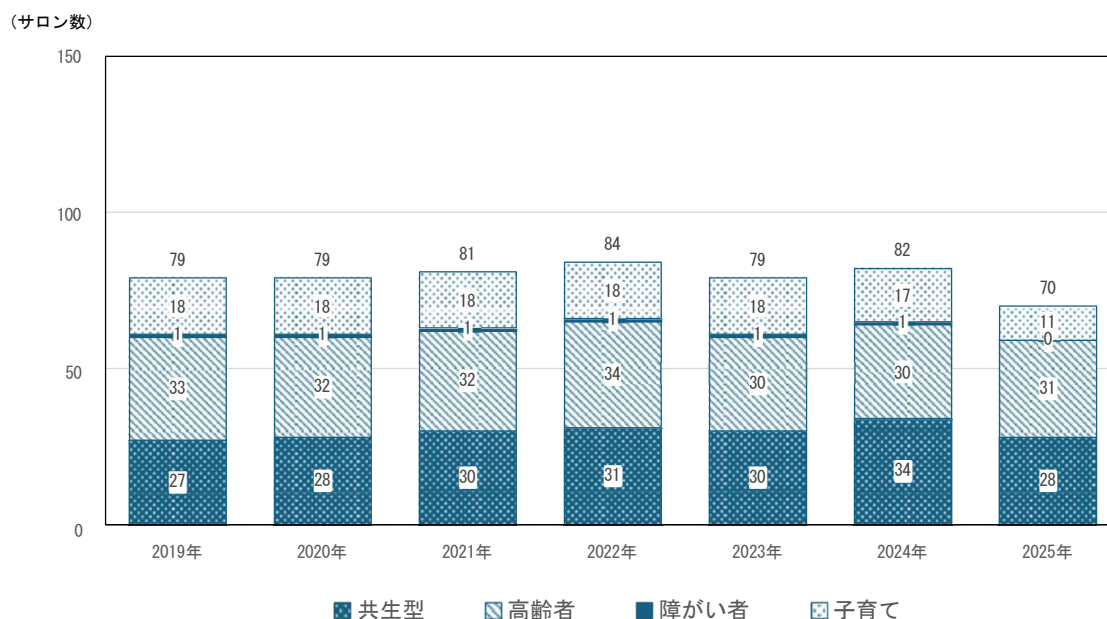
東区のサロン数は 2019 年以降横ばいで推移していましたが、2025 年は 70 か所に減少しています。

種別にみると、2025 年 12 月現在共生型サロンが 28 か所、高齢者サロンが 31 か所、子育てサロンが 11 か所で、障がい者サロンはありません

学区別では明倫が 12 か所で最も多くなっており、サロンのない学区はありません。

明倫では増加していますが、全体的に減少傾向の学区が多くなっています。サロン減少の理由は、参加者の減少、主催者の高齢化や後継者がいないことにより運営の継続が困難になったことがあげられます。

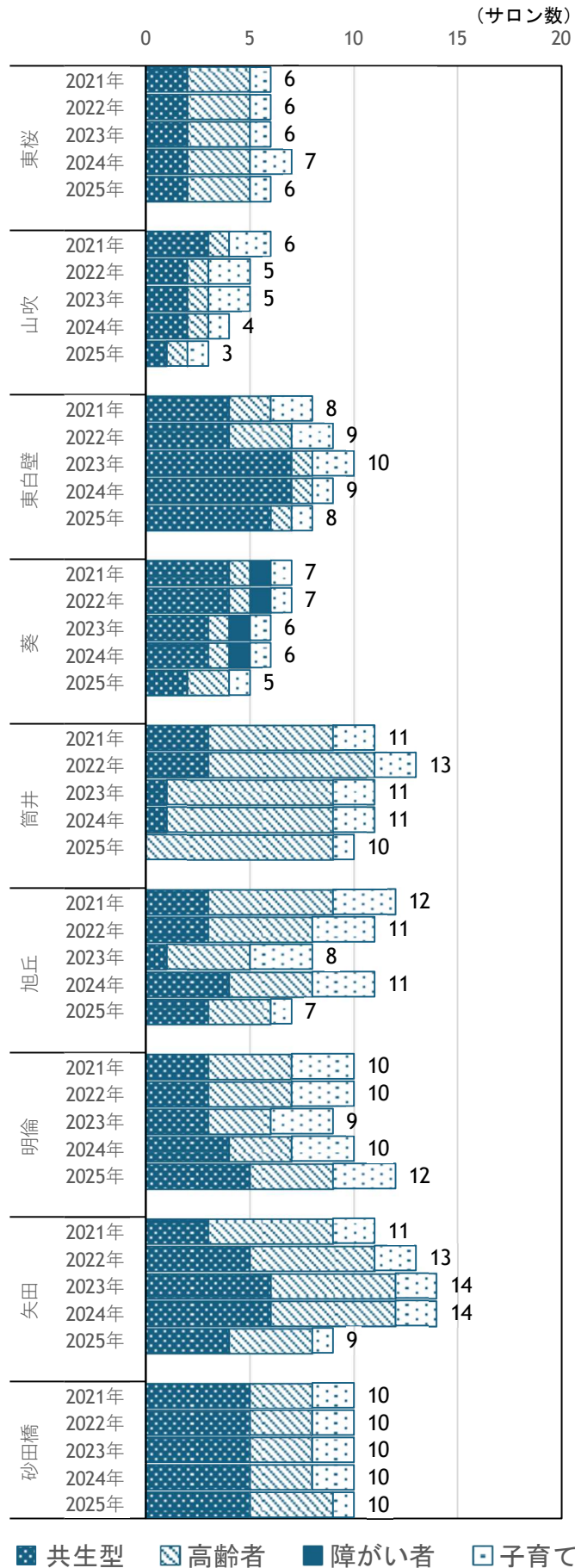
図表 【東区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【東区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
東桜	2	3	0	1	6
山吹	1	1	0	1	3
東白壁	6	1	0	1	8
葵	2	2	0	1	5
筒井	0	9	0	1	10
旭丘	3	3	0	1	7
明倫	5	4	0	3	12
矢田	4	4	0	1	9
砂田橋	5	4	0	1	10
合計	28	31	0	11	70
(構成比)	40.0%	44.3%	0.0%	15.7%	100.0%

図表 【東区】学区別サロンの種別設置状況の推移



③北区

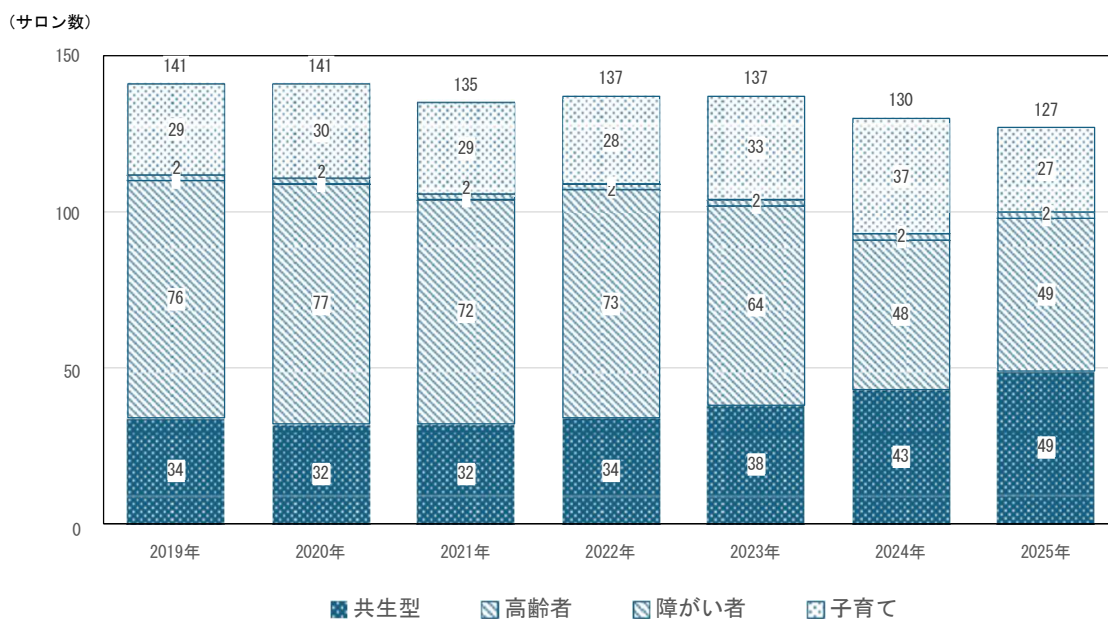
北区のサロン数は 2019 年以降横ばいで推移していましたが、近年は減少傾向にあり、2025 年は 127 か所です。

種別にみると、2025 年 12 月で共生型サロンと高齢者サロンがそれぞれ 49 か所、障がい者サロンが 2 か所、子育てサロンが 27 か所です。

学区別では金城が 14 か所で最も多くなっています。

サロン数が増加傾向にある学区が多くあります。

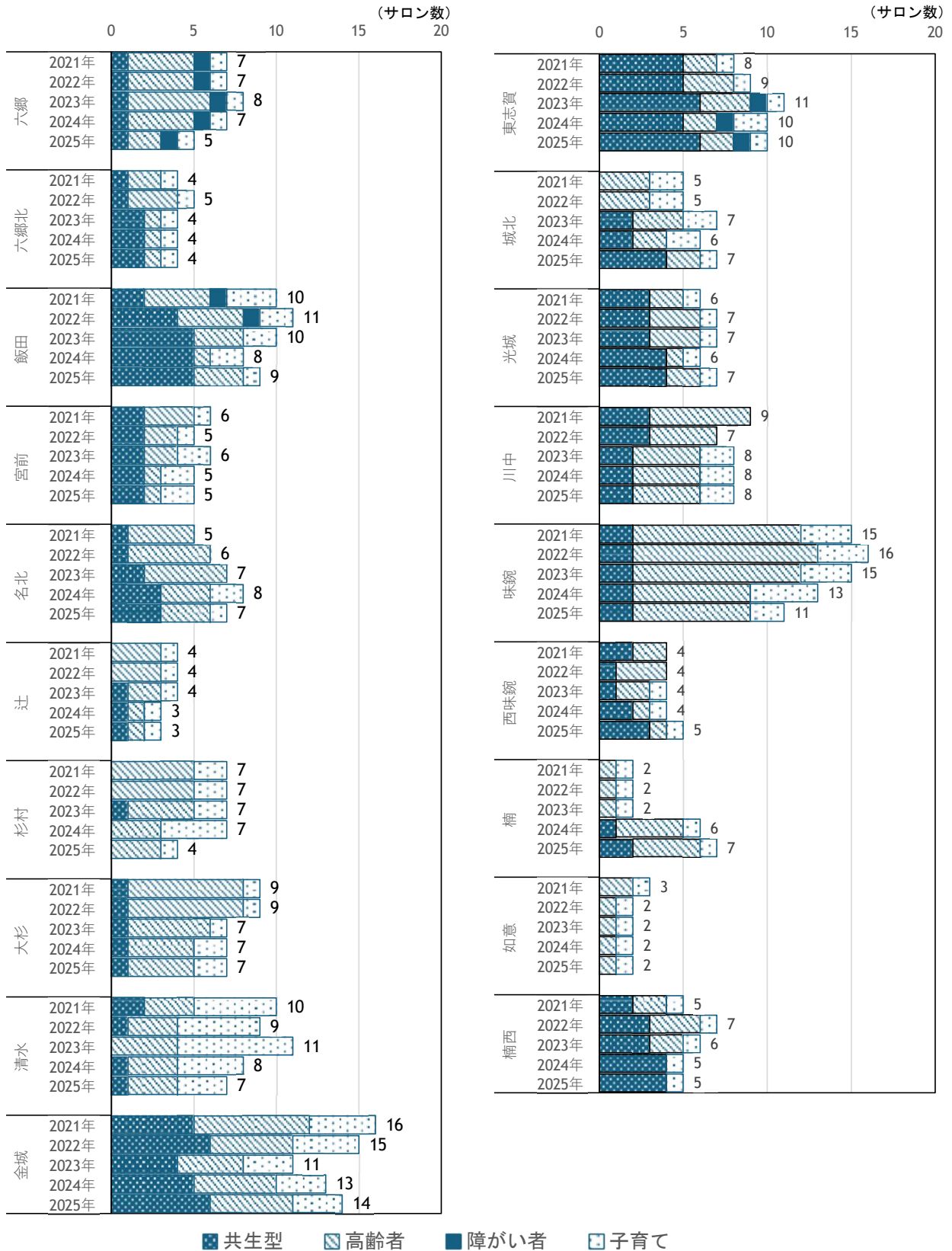
図表 【北区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【北区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
六郷	1	2	1	1	5
六郷北	2	1	0	1	4
飯田	5	3	0	1	9
宮前	2	1	0	2	5
名北	3	3	0	1	7
辻	1	1	0	1	3
杉村	0	3	0	1	4
大杉	1	4	0	2	7
清水	1	3	0	3	7
金城	6	5	0	3	14
東志賀	6	2	1	1	10
城北	4	2	0	1	7
光城	4	2	0	1	7
川中	2	4	0	2	8
味鋺	2	7	0	2	11
西味鋺	3	1	0	1	5
楠	2	4	0	1	7
如意	0	1	0	1	2
楠西	4	0	0	1	5
合計	49	49	2	27	127
(構成比)	38.6%	38.6%	1.6%	21.3%	100.0%

図表 【北区】学区別サロンの種別設置状況の推移



④西区

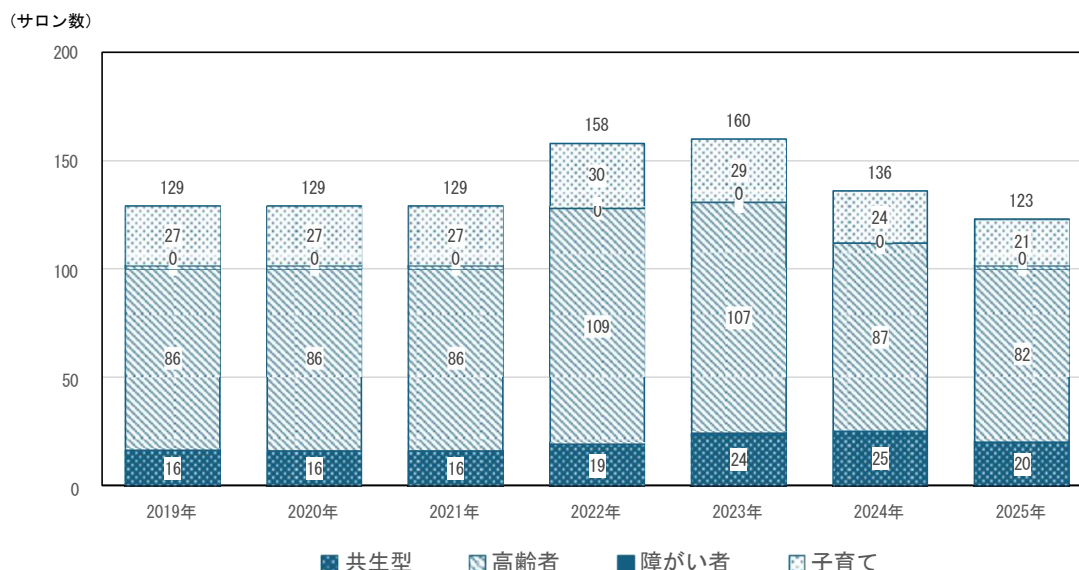
西区のサロン数は、2019年以降横ばいで推移し、2022年から2023年にかけて増加しましたが、2025年には123か所となっています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが20か所、高齢者サロンが82か所、子育てサロンが21か所で、障がい者サロンはありません。

学区別では城西が13か所で最も多くなっており、南押切にはサロンがありません。

サロンが多い城西や山田、上名古屋は減少傾向にあります。サロン減少の理由として、コロナ禍で休止したサロンが再開せず、そのまま廃止となったことがあげられます。特に食事やカラオケをするサロンの多くが廃止となりました。

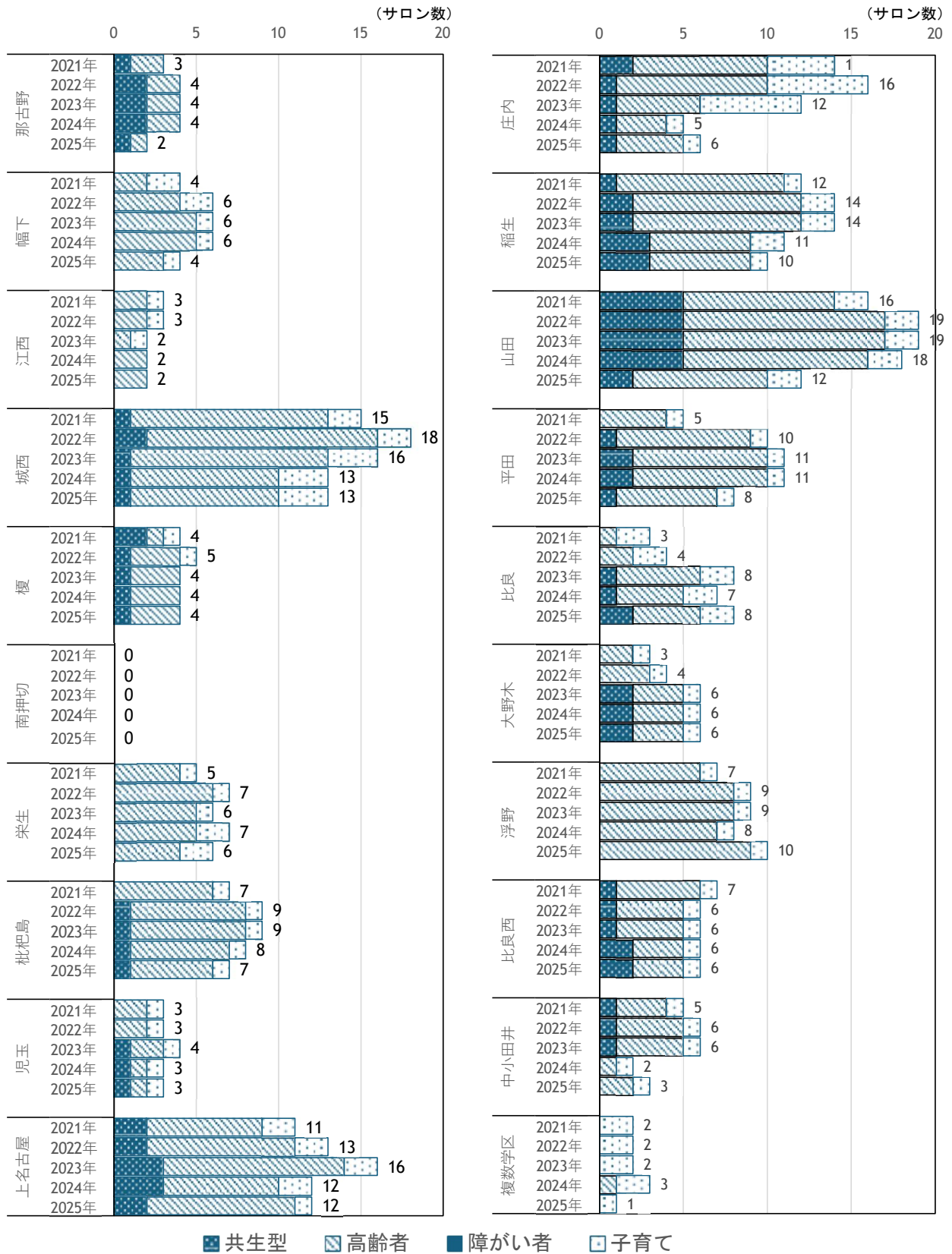
図表 【西区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【西区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
那古野	1	1	0	0	2
幅下	0	3	0	1	4
江西	0	2	0	0	2
城西	1	9	0	3	13
榎	1	3	0	0	4
南押切	0	0	0	0	0
栄生	0	4	0	2	6
枇杷島	1	5	0	1	7
児玉	1	1	0	1	3
上名古屋	2	9	0	1	12
庄内	1	4	0	1	6
稲生	3	6	0	1	10
山田	2	8	0	2	12
平田	1	6	0	1	8
比良	2	4	0	2	8
大野木	2	3	0	1	6
浮野	0	9	0	1	10
比良西	2	3	0	1	6
中小田井	0	2	0	1	3
複数学区	0	0	0	1	1
合計	20	82	0	21	123
(構成比)	16.3%	66.7%	0.0%	17.1%	100.0%

図表 【西区】 学区別サロンの種別設置状況の推移



⑤中村区

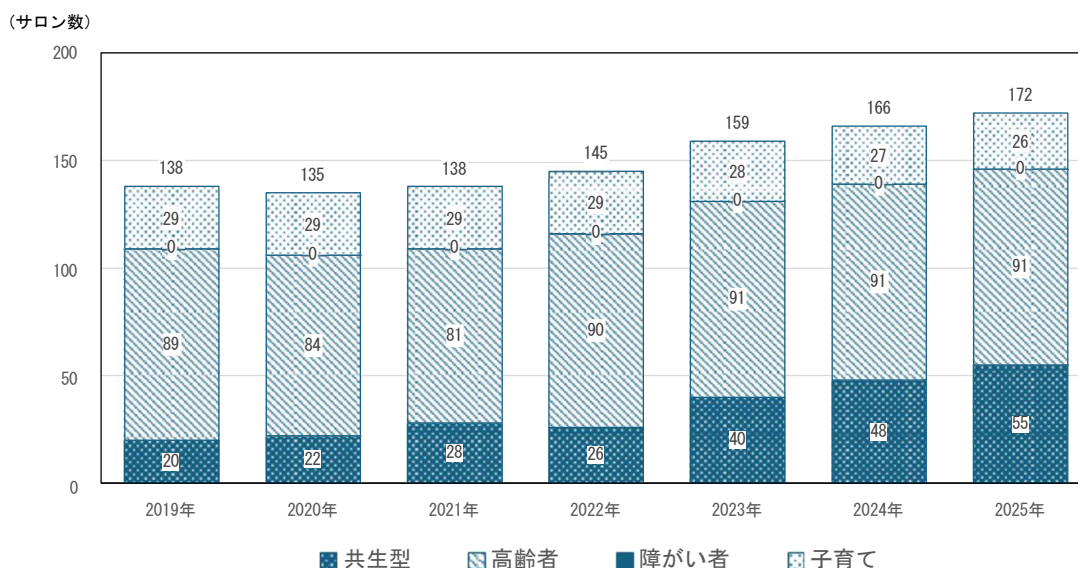
中村区のサロン数は 2019 年以降横ばいで推移していましたが、2022 年以降増加傾向が続き、2025 年には 172 か所となっています。

種別にみると、は 2025 年 12 月で共生型サロンが 55 か所、高齢者サロンが 91 か所、子育てサロンが 26 か所です。障がい者サロンはありません。

学区別では中村が 25 か所で最も多くなっており、サロンのない学区はありません。

全体として増加傾向にある学区が多く、サロンが多くある学区では増加傾向にあります。サロンの少ない学区で減少傾向が見られます。増加したのは、子ども食堂や福祉施設を活用したサロンです。一方、減少した要因は、サロンの統合や代表者の退任による廃止等です。

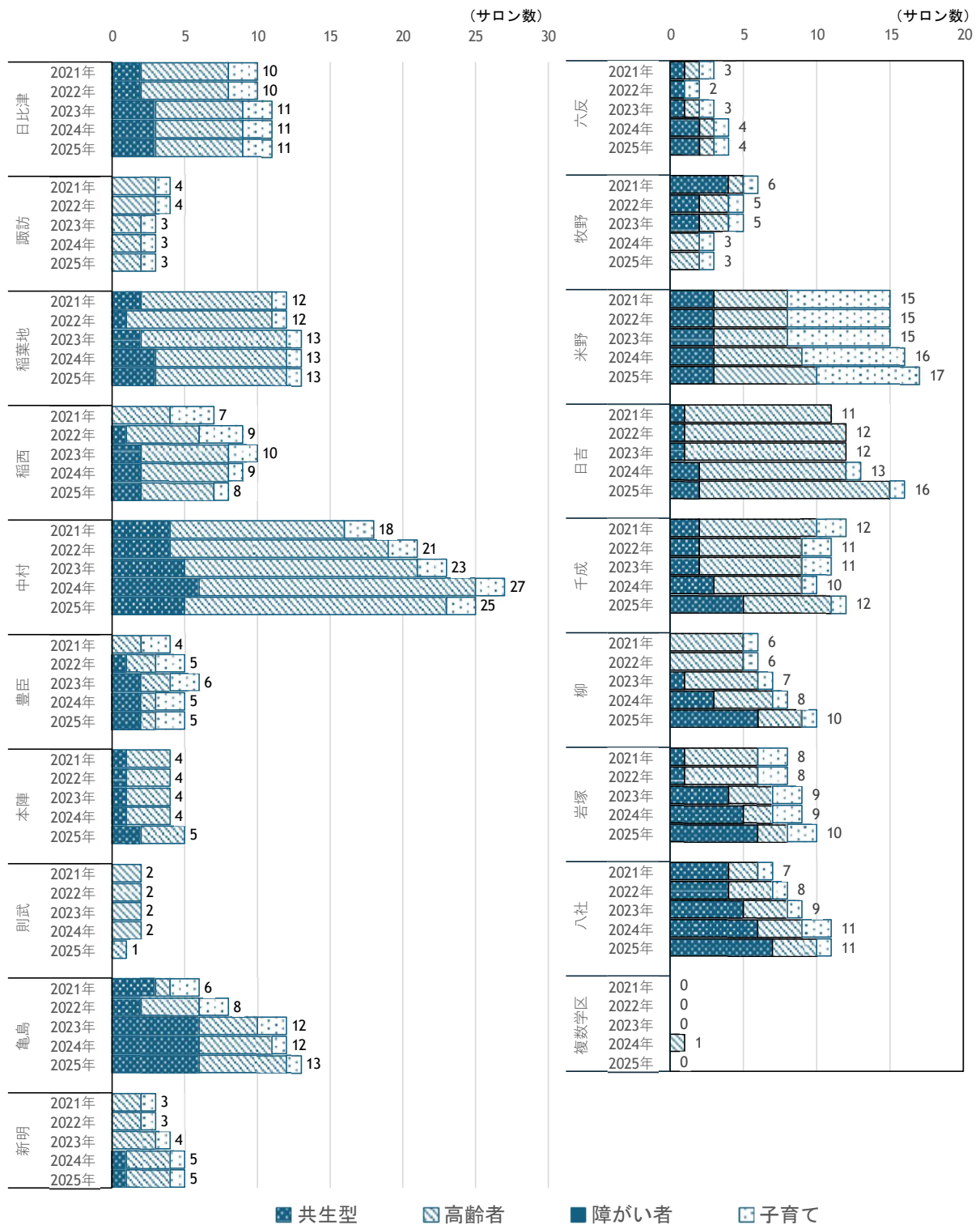
図表 【中村区】 サロンの種別設置状況の推移



図表 【中村区】 学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
日比津	3	6	0	2	11
諏訪	0	2	0	1	3
稲葉地	3	9	0	1	13
稲西	2	5	0	1	8
中村	5	18	0	2	25
豊臣	2	1	0	2	5
本陣	2	3	0	0	5
則武	0	1	0	0	1
亀島	6	6	0	1	13
新明	1	3	0	1	5
六反	2	1	0	1	4
牧野	0	2	0	1	3
米野	3	7	0	7	17
日吉	2	13	0	1	16
千成	5	6	0	1	12
柳	6	3	0	1	10
岩塚	6	2	0	2	10
八社	7	3	0	1	11
合計	55	91	0	26	172
(構成比)	32.0%	52.9%	0.0%	15.1%	100.0%

図表 【中村区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑥中区

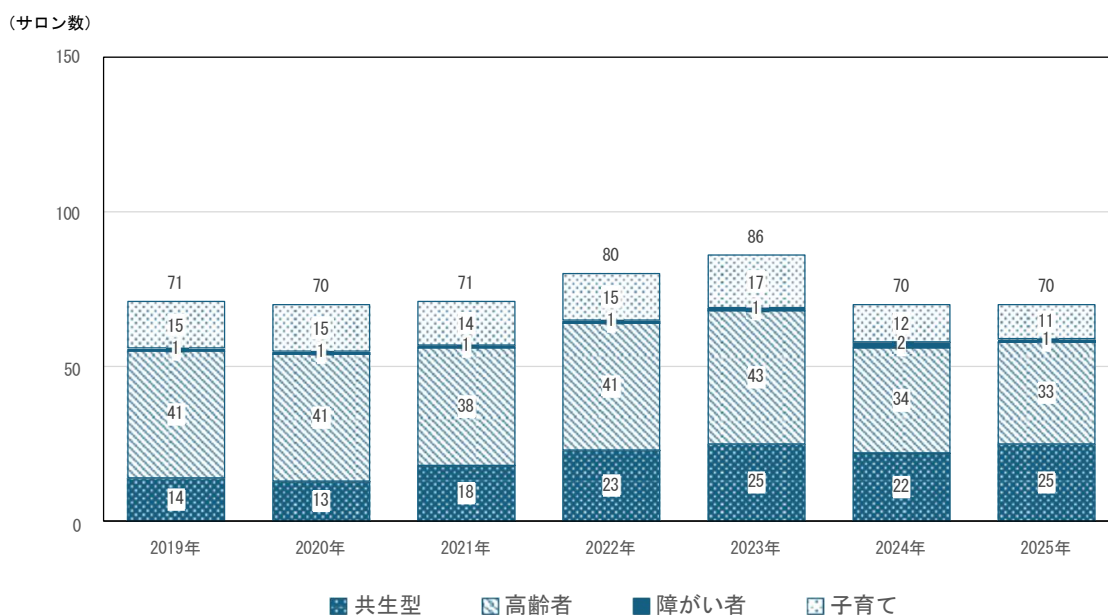
中区のサロン数は、2019年以降横ばいで推移し、2022年から2023年にかけて増加しましたが、2025年には70か所に減少しています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが25か所、高齢者サロンが33か所、障がい者サロンが1か所、子育てサロンが11か所です。

学区別では橘が17か所で最も多くなっており、名城にはサロンがありません。

全体的に減少傾向にある学区が多くなっています。減少の要因は、コロナ禍で休止したサロンが再開せず、そのまま廃止となったことがあげられます。

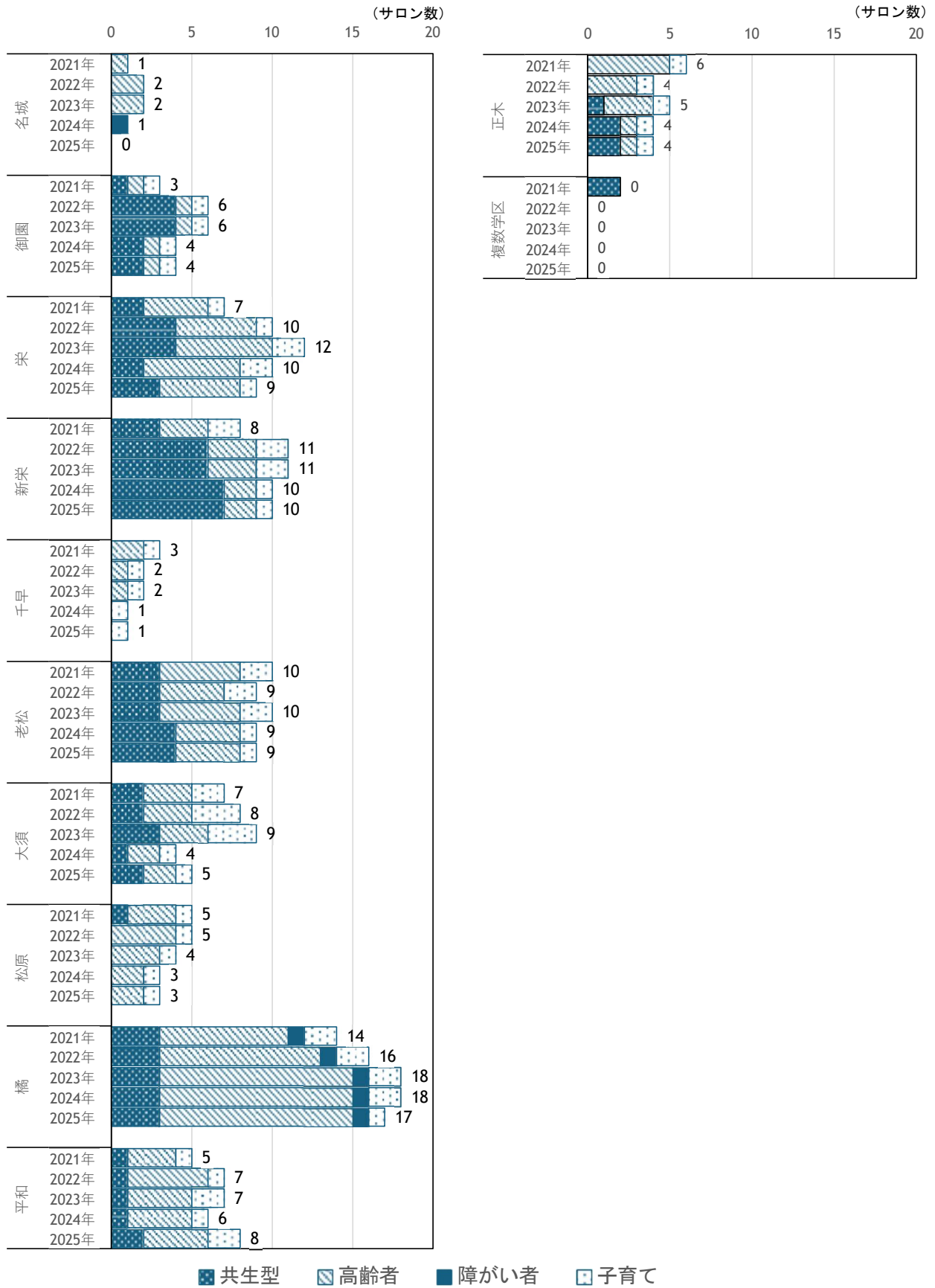
図表 【中区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【中区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
名城	0	0	0	0	0
御園	2	1	0	1	4
栄	3	5	0	1	9
新栄	7	2	0	1	10
千早	0	0	0	1	1
老松	4	4	0	1	9
大須	2	2	0	1	5
松原	0	2	0	1	3
橘	3	12	1	1	17
平和	2	4	0	2	8
正木	2	1	0	1	4
合計	25	33	1	11	70
(構成比)	35.7%	47.1%	1.4%	15.7%	100.0%

図表 【中区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑦昭和区

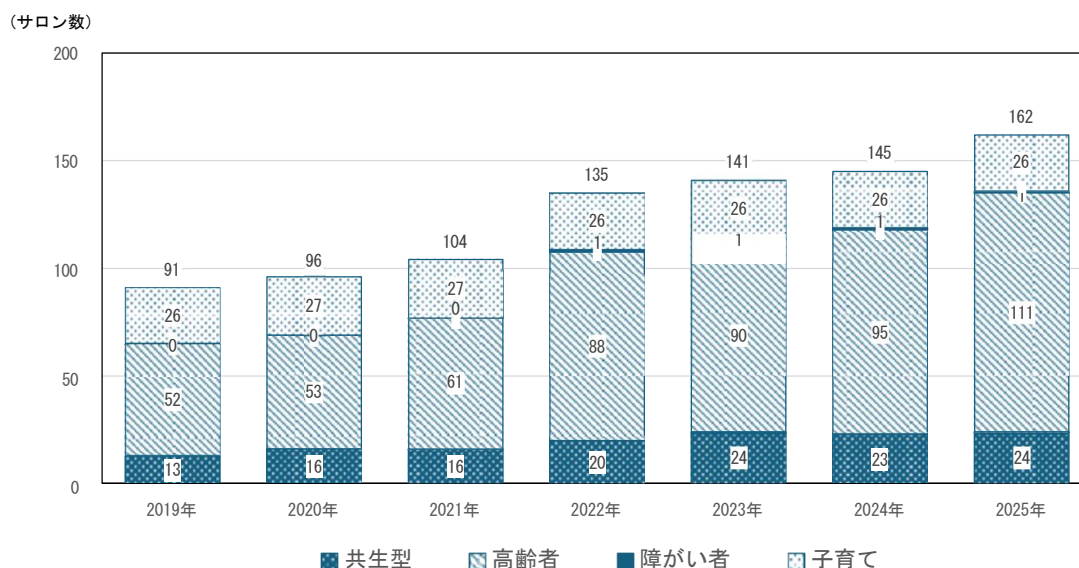
昭和区のサロン数は、2019年以降増加傾向が続いており、特に2022年、2025年に高齢者サロンの増加が顕著で、2025年には162か所となっています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが24か所、高齢者サロンが111か所、障がい者サロンが1か所、子育てサロンが26か所です。

学区別では松栄が25か所で最も多く、御器所が23か所で続いています。サロンがない学区はありません。

多くの学区で増加傾向にあります。特に、伊勝では伊勝八幡宮参集所という場所ができたことにより、そこで多くのサロンが開設されました。

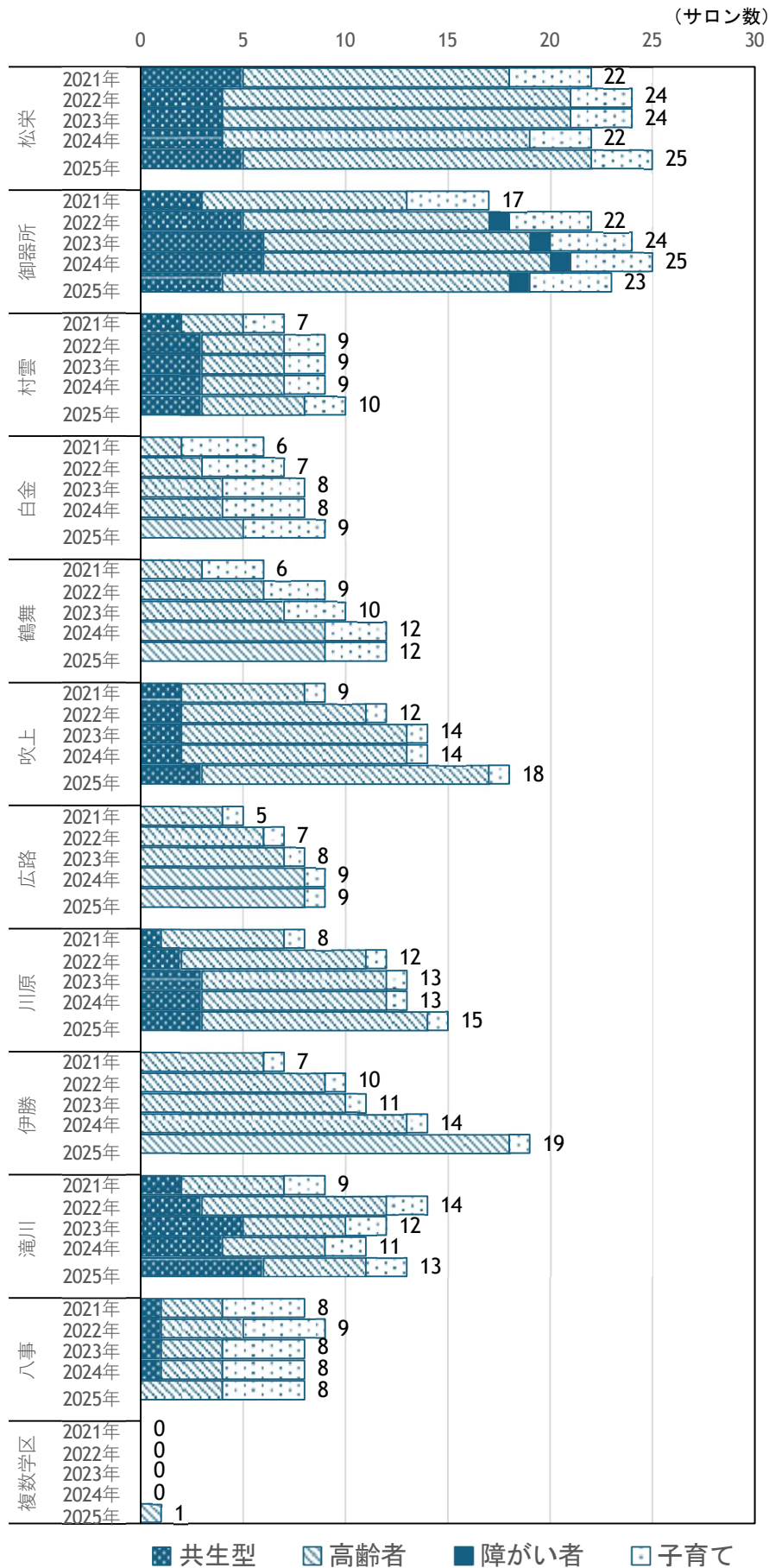
図表 【昭和区】 サロンの種別設置状況の推移



図表 【昭和区】 学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
松栄	5	17	0	3	25
御器所	4	14	1	4	23
村雲	3	5	0	2	10
白金	0	5	0	4	9
鶴舞	0	9	0	3	12
吹上	3	14	0	1	18
広路	0	8	0	1	9
川原	3	11	0	1	15
伊勝	0	18	0	1	19
滝川	6	5	0	2	13
八事	0	4	0	4	8
複数学区	0	1	0	0	1
合計	24	111	1	26	162
(構成比)	14.8%	68.5%	0.6%	16.0%	100.0%

図表 【昭和区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑧瑞穂区

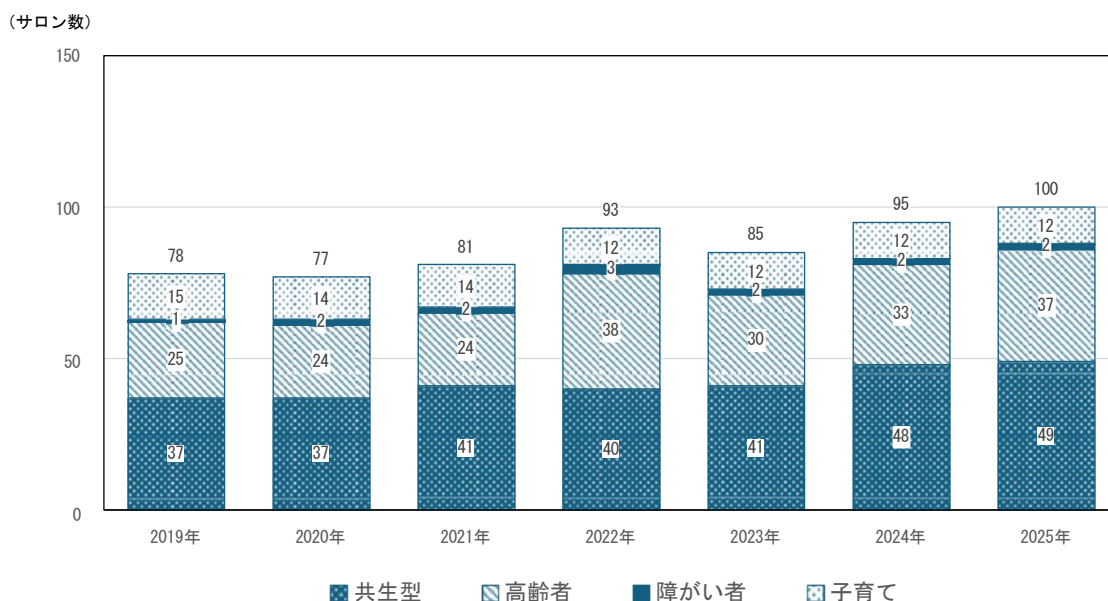
瑞穂区のサロン数は、横ばい傾向から近年は増加傾向となり、2025年には100か所となっています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが49か所、高齢者サロンが37か所、障がい者サロンが2か所、子育てサロンが12か所です。高齢者サロンよりも共生型サロンの方が多くあります。

学区別では汐路が14か所で最も多くなっており、サロンがない学区はありません。

穂波、井戸田、瑞穂、豊岡、中根、汐路で近年増加しています。これらの学区では、健康麻雀や卓球等の活動を行う高齢者サロンや子ども食堂が増えています。

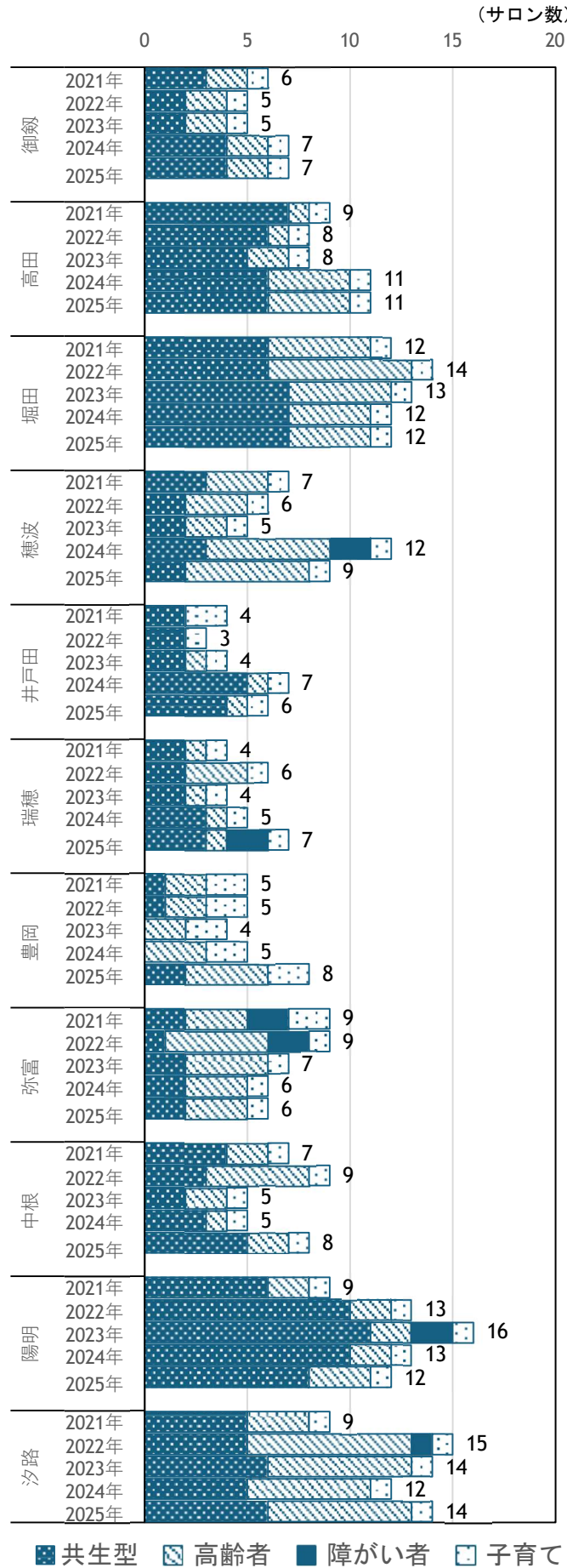
図表 【瑞穂区】 サロンの種別設置状況の推移



図表 【瑞穂区】 学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
御劔	4	2	0	1	7
高田	6	4	0	1	11
堀田	7	4	0	1	12
穂波	2	6	0	1	9
井戸田	4	1	0	1	6
瑞穂	3	1	2	1	7
豊岡	2	4	0	2	8
弥富	2	3	0	1	6
中根	5	2	0	1	8
陽明	8	3	0	1	12
汐路	6	7	0	1	14
合計	49	37	2	12	100
(構成比)	49.0%	37.0%	2.0%	12.0%	100.0%

図表 【瑞穂区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑨熱田区

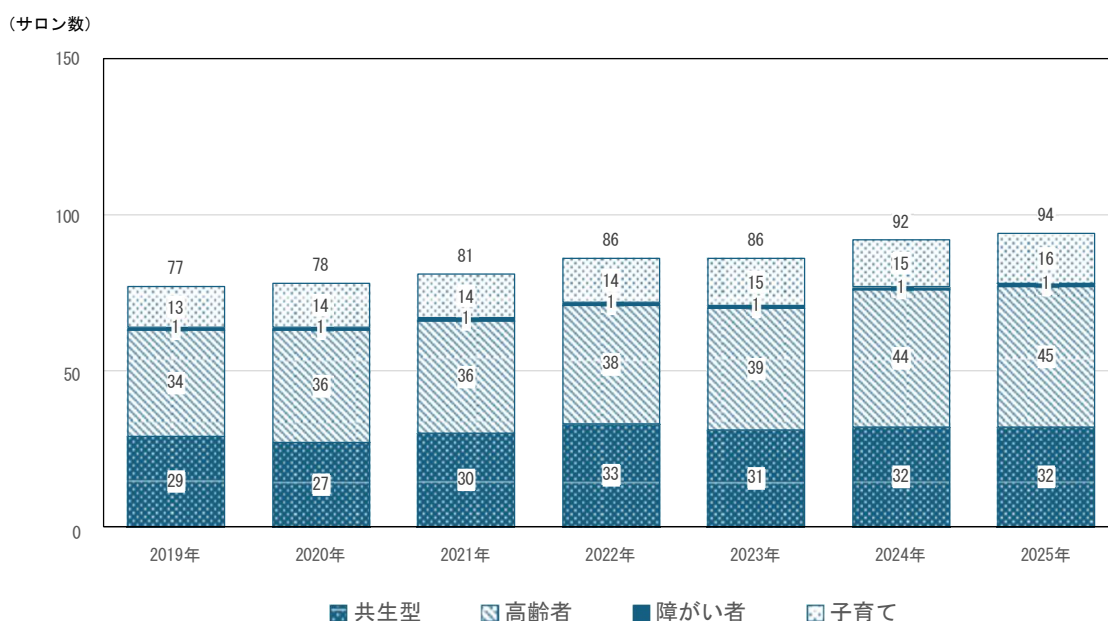
熱田区のサロン数は、2019 年以降緩やかに増加傾向が続き、2025 年には 94 か所となっています。

種別にみると、2025 年 12 月現在で共生型サロンが 32 か所、高齢者サロンが 45 か所、障がい者サロンが 1 か所、子育てサロンが 16 か所です。

学区別では白鳥が 18 か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

多くの学区は横ばいで推移し、近年には千年、野立で増加傾向にあります。両学区とも、もともとサロンの少ない地域でしたが、千年ではある町内会長がサロンを開設したことがきっかけで周辺のサロンなどが少しずつ増え、野立では福祉施設を活用したサロンが増えています。

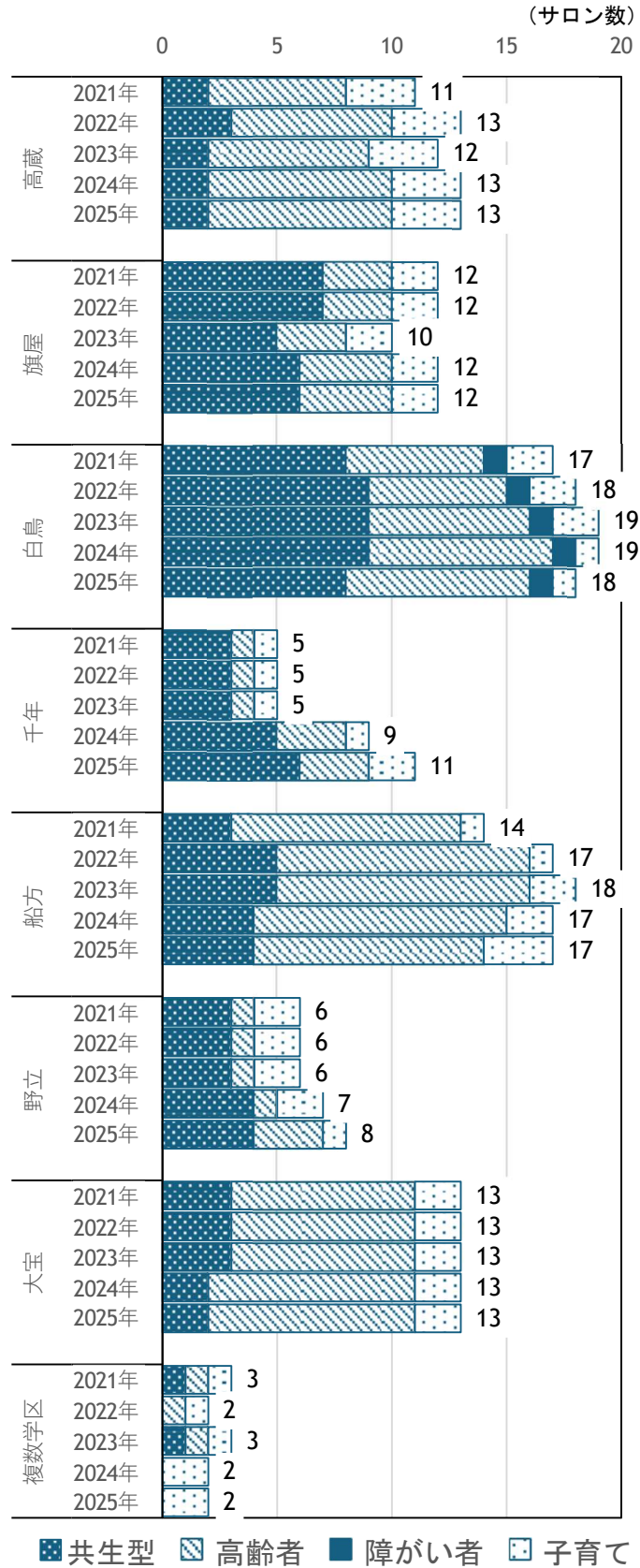
図表 【熱田区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【熱田区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
高蔵	2	8	0	3	13
旗屋	6	4	0	2	12
白鳥	8	8	1	1	18
千年	6	3	0	2	11
船方	4	10	0	3	17
野立	4	3	0	1	8
大宝	2	9	0	2	13
複数学区	0	0	0	2	2
合計	32	45	1	16	94
(構成比)	34.0%	47.9%	1.1%	17.0%	100.0%

図表 【熱田区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑩中川区

中川区のサロン数は、2019年以降増減をしながら、ほぼ横ばいで推移し、2025年には増加し161か所となっています。

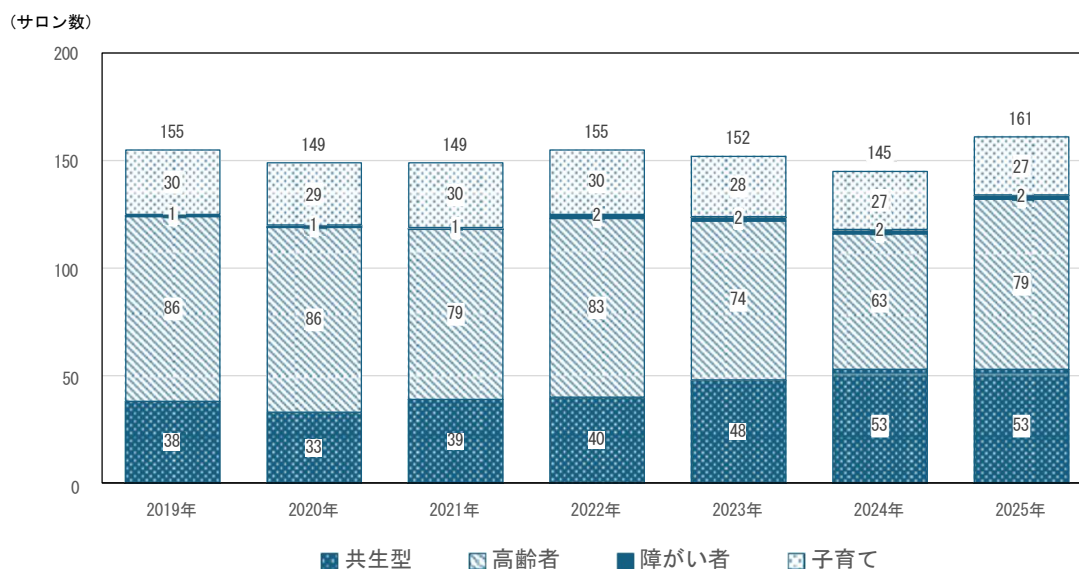
種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが53か所、高齢者サロンが79か所、障がい者サロンが2か所、子育てサロンが27か所です。

学区別では荒子が13か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

愛知、八幡、中島、千音寺が増加傾向です。愛知は地域活動に熱心な方が多く、八幡、中島、千音寺は地域支えあい事業の実施学区であることから、サロン活動も活発になっていると考えられます。

一方、最も多い荒子では高齢者サロンが減少傾向にあります。これは、運営者の高齢化が進み、活動の継続が困難になっているためと考えられます。

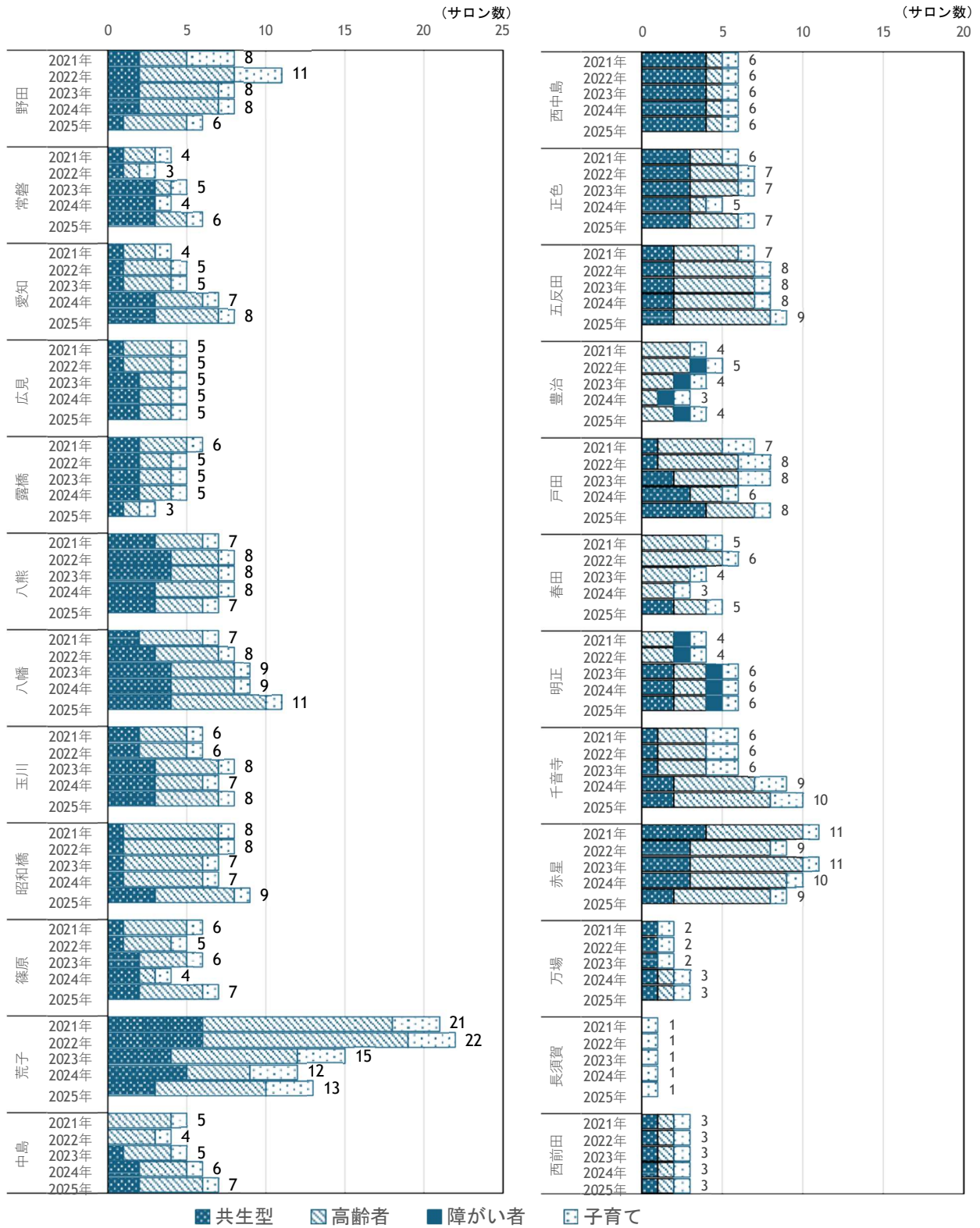
図表 【中川区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【中川区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
野田	1	4	0	1	6
常磐	3	2	0	1	6
愛知	3	4	0	1	8
広見	2	2	0	1	5
露橋	1	1	0	1	3
八熊	3	3	0	1	7
八幡	4	6	0	1	11
玉川	3	4	0	1	8
昭和橋	3	5	0	1	9
篠原	2	4	0	1	7
荒子	3	7	0	3	13
中島	2	4	0	1	7
西中島	4	1	0	1	6
正色	3	3	0	1	7
五反田	2	6	0	1	9
豊治	0	2	1	1	4
戸田	4	3	0	1	8
春田	2	2	0	1	5
明正	2	2	1	1	6
千音寺	2	6	0	2	10
赤星	2	6	0	1	9
万場	1	1	0	1	3
長須賀	0	0	0	1	1
西前田	1	1	0	1	3
合計	53	79	2	27	161
(構成比)	32.9%	49.1%	1.2%	16.8%	100.0%

図表 【中川区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑪港区

港区のサロン数は、2019年以降増減をしながら、緩やかに増加傾向が続き、2025年には187か所となっています。

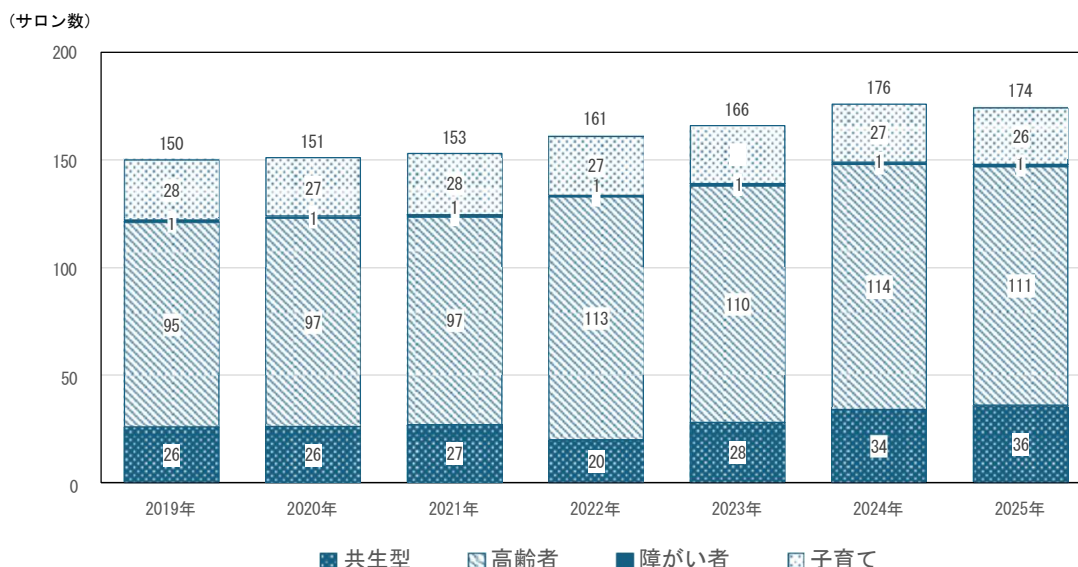
種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが36か所、高齢者サロンが111か所、障がい者サロンが1か所、子育てサロンが26か所です。

学区別では港楽が17か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

増加傾向にある学区が多くあります。

一方、西福田では急激に高齢者サロンが減少しています。これは、同一の運営者によって開催されていた複数の高齢者サロンが、運営者の退任によって同時に廃止されたことが原因です。

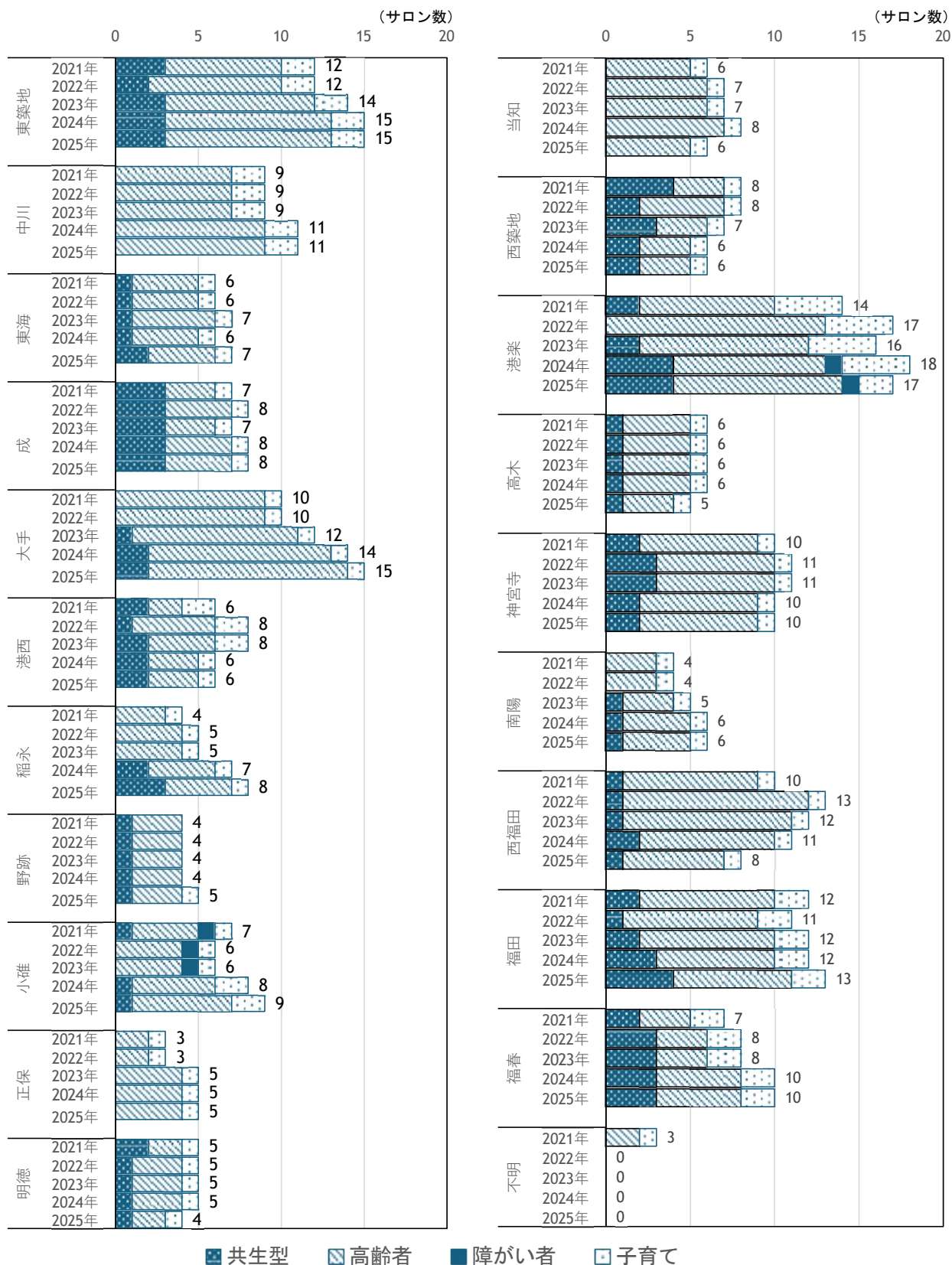
図表 【港区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【港区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
東築地	3	10	0	2	15
中川	0	9	0	2	11
東海	2	4	0	1	7
成章	3	4	0	1	8
大手	2	12	0	1	15
港西	2	3	0	1	6
稲永	3	4	0	1	8
野跡	1	3	0	1	5
小碓	1	6	0	2	9
正保	0	4	0	1	5
明德	1	2	0	1	4
当知	0	5	0	1	6
西築地	2	3	0	1	6
港楽	4	10	1	2	17
高木	1	3	0	1	5
神宮寺	2	7	0	1	10
南陽	1	4	0	1	6
西福田	1	6	0	1	8
福田	4	7	0	2	13
福春	3	5	0	2	10
合計	36	111	1	26	174
(構成比)	20.7%	63.8%	0.6%	14.9%	100.0%

図表 【港区】 学区別サロンの種別設置状況の推移



⑫南区

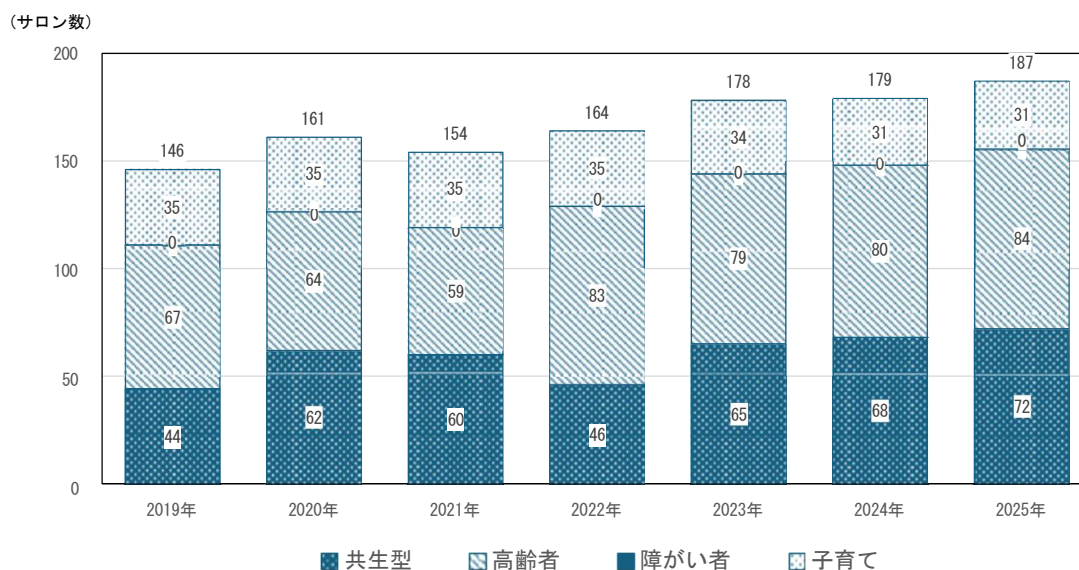
南区のサロン数は、2019年以降増減をしながら、緩やかに増加傾向で2025年には187か所となっています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが72か所、高齢者サロンが84か所、子育てサロンが31か所です。障がい者サロンはありません。

学区別では笠寺が22か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

増加傾向にある学区が多くあります。これは、既存のサロン運営者が新たにサロンを開設する動きがあったためです。また、各町内の活性化を目指しサロンを開設した学区もありました。

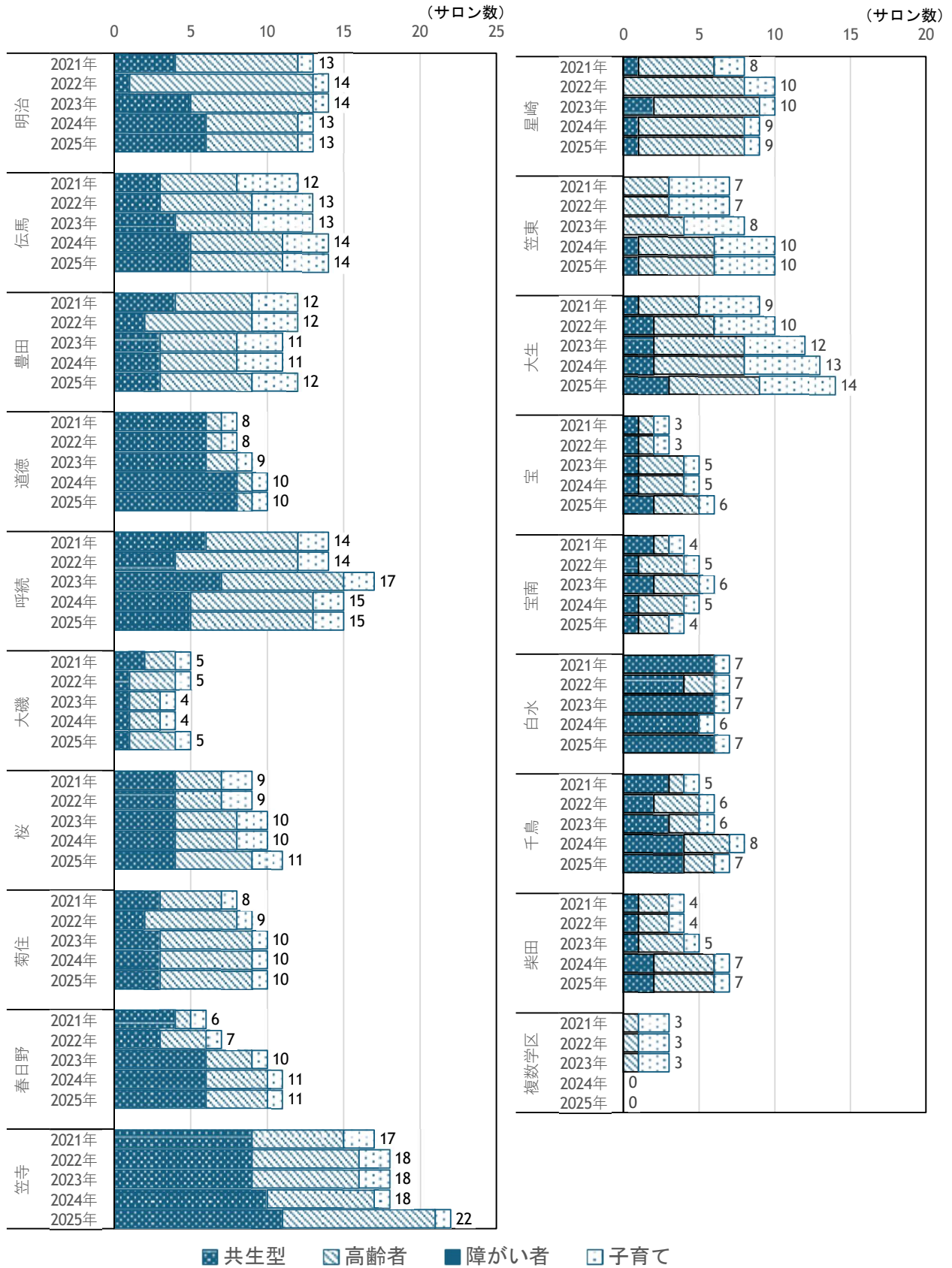
図表 【南区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【南区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
明治	6	6	0	1	13
伝馬	5	6	0	3	14
豊田	3	6	0	3	12
道徳	8	1	0	1	10
呼続	5	8	0	2	15
大磯	1	3	0	1	5
桜	4	5	0	2	11
菊住	3	6	0	1	10
春日野	6	4	0	1	11
笠寺	11	10	0	1	22
星崎	1	7	0	1	9
笠東	1	5	0	4	10
大生	3	6	0	5	14
宝	2	3	0	1	6
宝南	1	2	0	1	4
白水	6	0	0	1	7
千鳥	4	2	0	1	7
柴田	2	4	0	1	7
合計	72	84	0	31	187
(構成比)	38.5%	44.9%	0.0%	16.6%	100.0%

図表 【南区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑬守山区

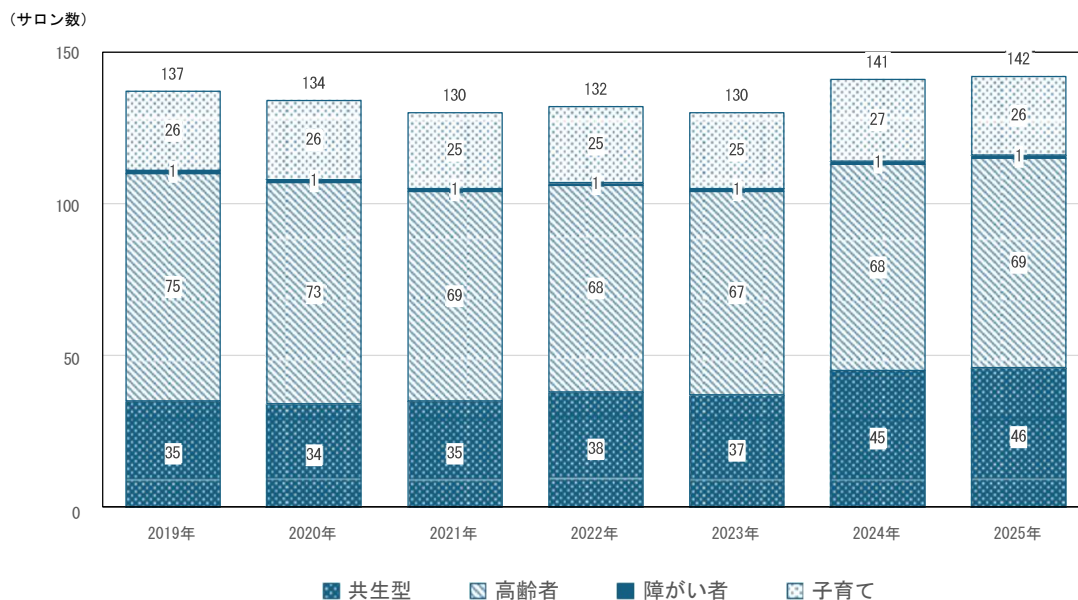
守山区のサロン数は、2019年以降増減をしながら、近年は増加傾向にあり2025年には142か所となっています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが46か所、高齢者サロンが69か所、障がい者サロンが1か所、子育てサロンが26か所です。

学区別では瀬古が14か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

小幡や苗代は減少傾向にありますが、白沢、吉根、瀬古は増加傾向にあります。

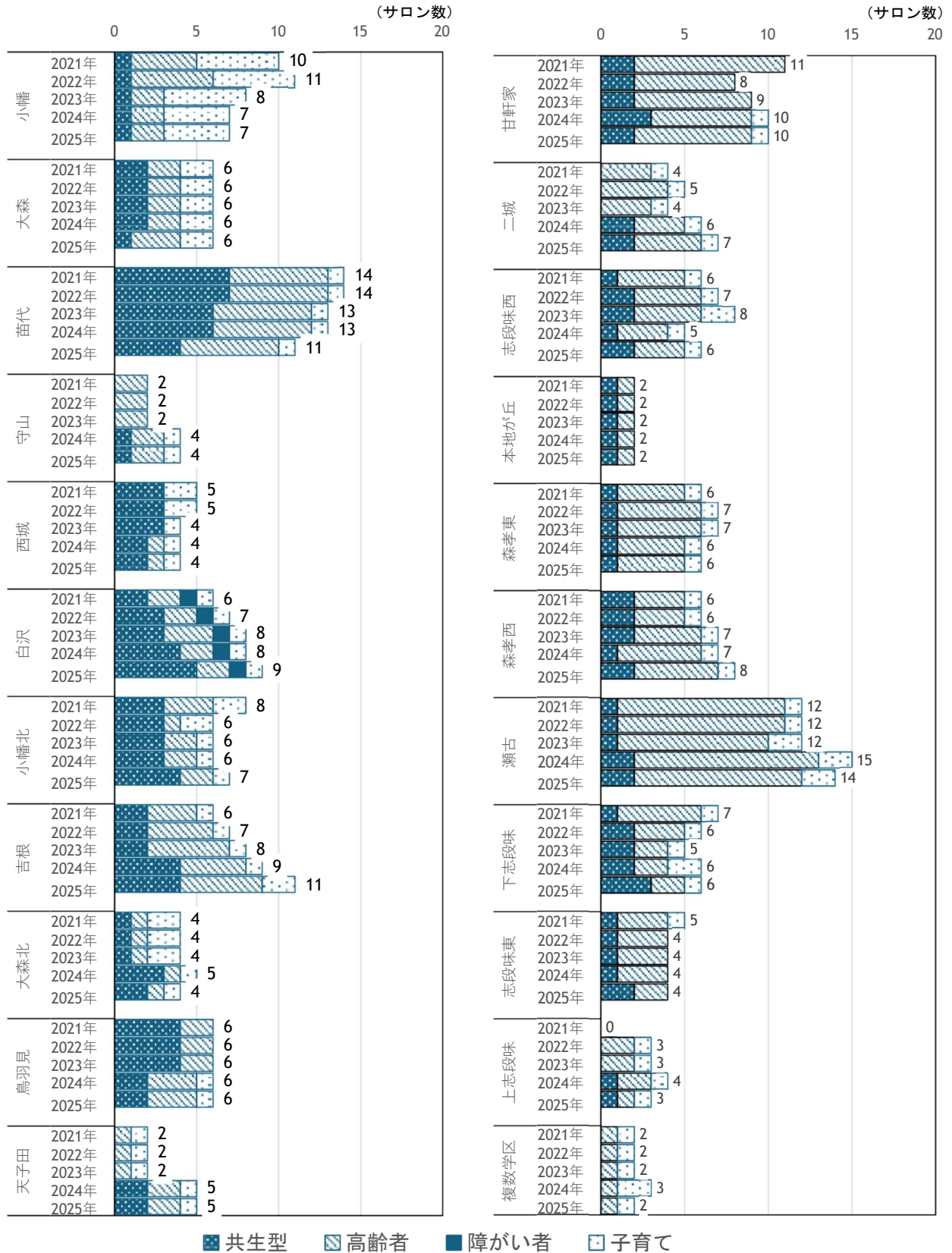
図表 【守山区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【守山区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
小幡	1	2	0	4	7
大森	1	3	0	2	6
苗代	4	6	0	1	11
守山	1	2	0	1	4
西城	2	1	0	1	4
白沢	5	2	1	1	9
小幡北	4	2	0	1	7
吉根	4	5	0	2	11
大森北	2	1	0	1	4
鳥羽見	2	3	0	1	6
天子田	2	2	0	1	5
甘軒家	2	7	0	1	10
二城	2	4	0	1	7
志段味西	2	3	0	1	6
本地が丘	1	1	0	0	2
森孝東	1	4	0	1	6
森孝西	2	5	0	1	8
瀬古	2	10	0	2	14
下志段味	3	2	0	1	6
志段味東	2	2	0	0	4
上志段味	1	1	0	1	3
複数学区	0	1	0	1	2
合計	46	69	1	26	142
(構成比)	32.4%	48.6%	0.7%	18.3%	100.0%

図表 【守山区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑭緑区

緑区のサロン数は、2020年以降増加傾向が続いており、特に高齢者サロンが増加し、2025年には269か所と区別で最も多くなっています。

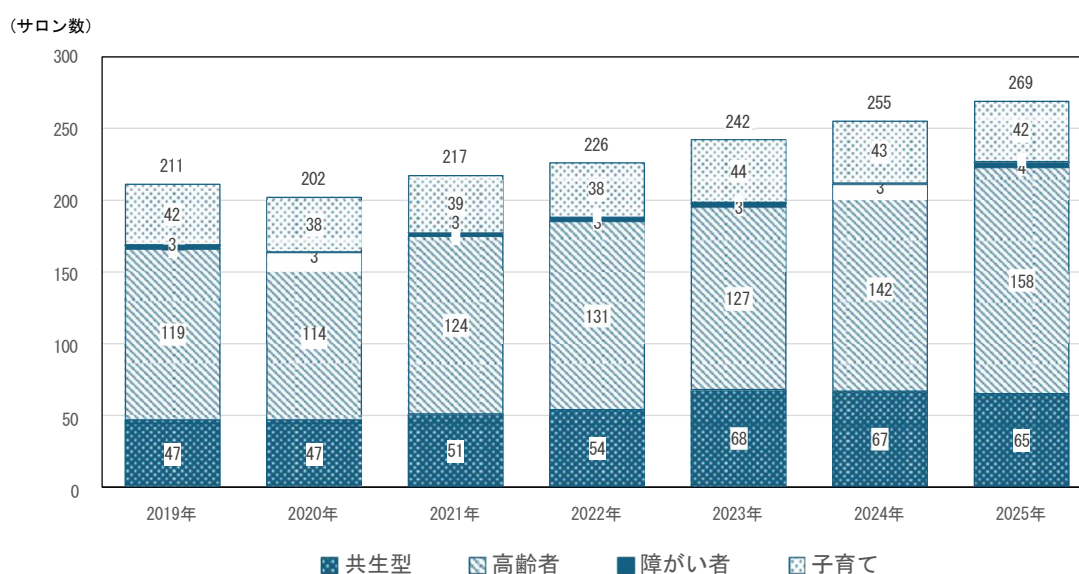
種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが65か所、高齢者サロンが158か所、障がい者サロンが4か所、子育てサロンが42か所です。

学区別では東丘が16か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

相原、徳重、東丘、太子、戸笠は増加傾向にあります。これらの学区では、健康麻雀等の活動をするサロンが増えました。

一方で、片平、浦里、鳴子、大高北では減少傾向が見られます。

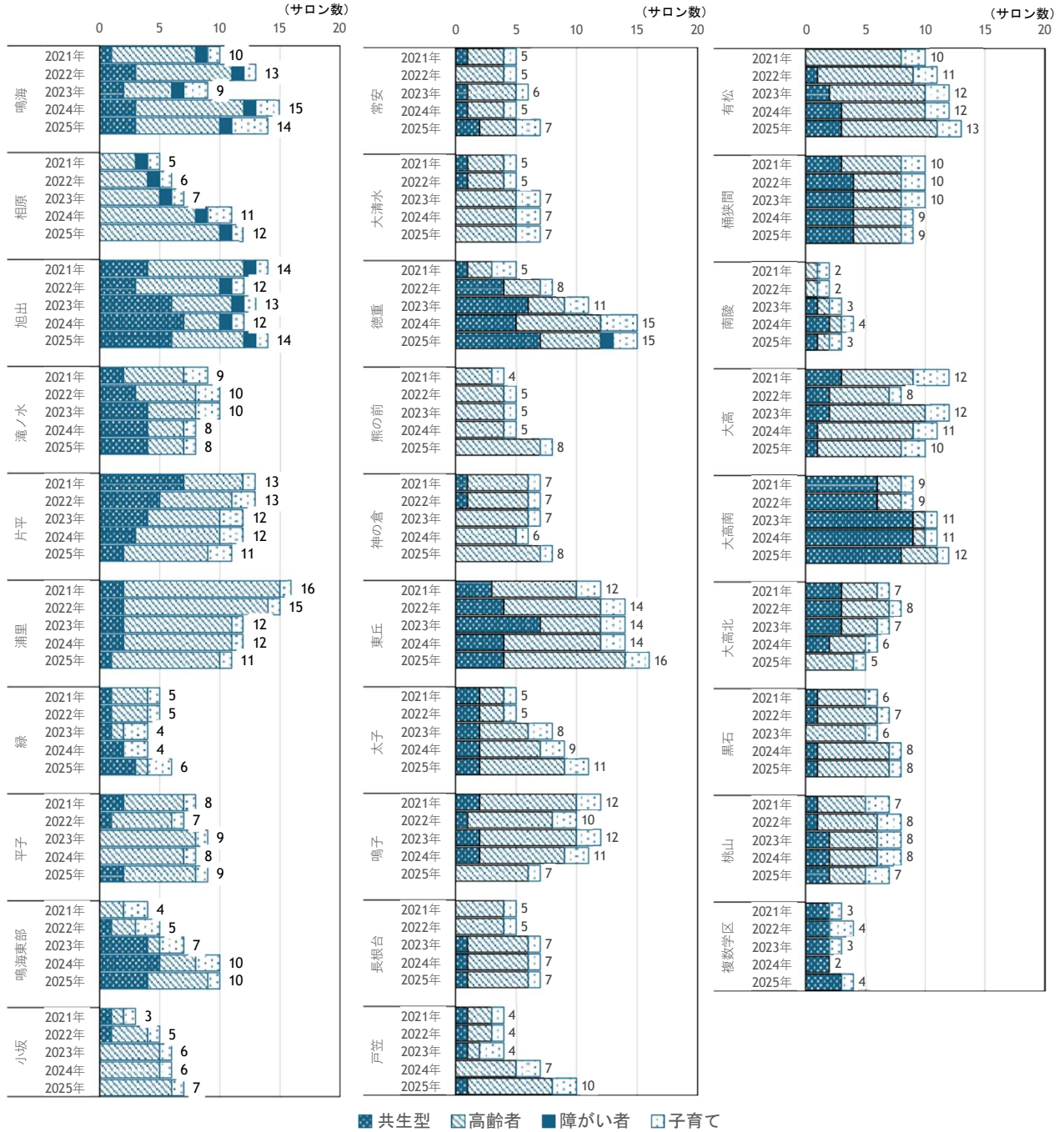
図表 【緑区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【緑区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
鳴海	3	7	1	3	14
相原	0	10	1	1	12
旭出	6	6	1	1	14
滝ノ水	4	3	0	1	8
片平	2	7	0	2	11
浦里	1	9	0	1	11
緑	3	1	0	2	6
平子	2	6	0	1	9
鳴海東部	4	5	0	1	10
小坂	0	6	0	1	7
常安	2	3	0	2	7
大清水	0	5	0	2	7
徳重	7	5	1	2	15
熊の前	0	7	0	1	8
神の倉	0	7	0	1	8
東丘	4	10	0	2	16
太子	2	7	0	2	11
鳴子	0	6	0	1	7
長根台	1	5	0	1	7
戸笠	1	7	0	2	10
有松	3	8	0	2	13
桶狭間	4	4	0	1	9
南陵	1	1	0	1	3
大高	1	7	0	2	10
大高南	8	3	0	1	12
大高北	0	4	0	1	5
黒石	1	6	0	1	8
桃山	2	3	0	2	7
複数学区	3	0	0	1	4
合計	65	158	4	42	269
(構成比)	24.2%	58.7%	1.5%	15.6%	100.0%

図表 【緑区】学区別サロンの種別設置状況の推移



⑮名東区

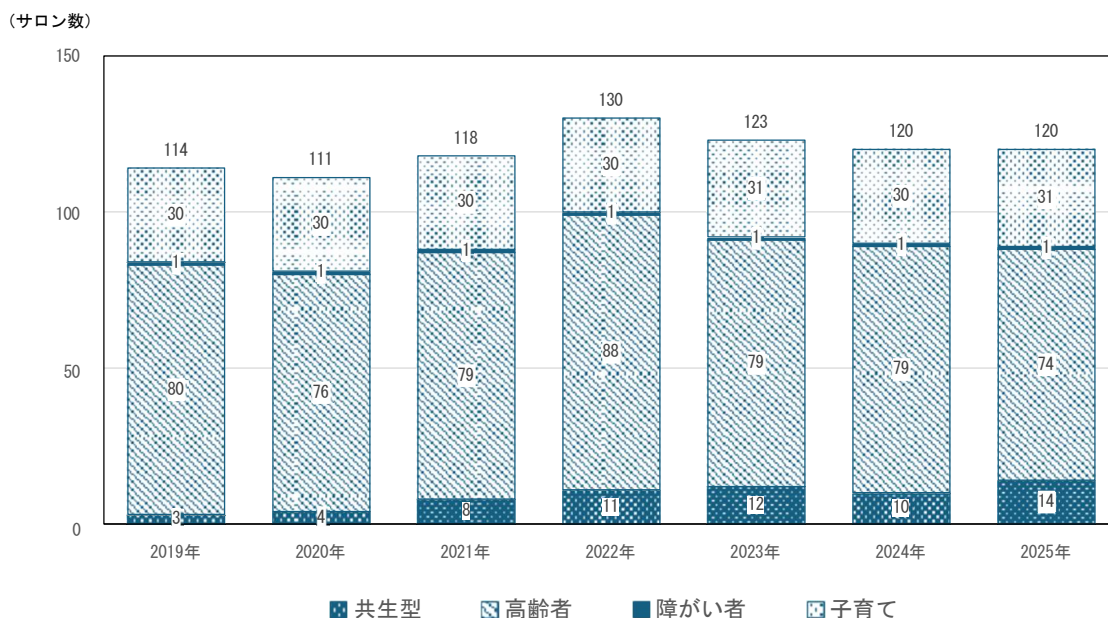
名東区のサロン数は、近年はやや減少傾向にあり、2025年には120か所となっています。種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが14か所、高齢者サロンが74か所、障がい者サロンが1か所、子育てサロンが31か所です。他の地域に比べて共生型サロンが少ない状況です。

学区別では高針が12か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

高針、牧の原は増加傾向にあります。この学区では、地域のニーズを把握し、時間をかけて地域住民に働きかけを行い、参加者の開拓を進めてきました。

一方で、香流、引山、前山といったサロンが多い学区で減少傾向が見られます。運営者の高齢化と参加者の減少による廃止、コロナ禍で休止したサロンが再開できなかったことなどが要因となっています。

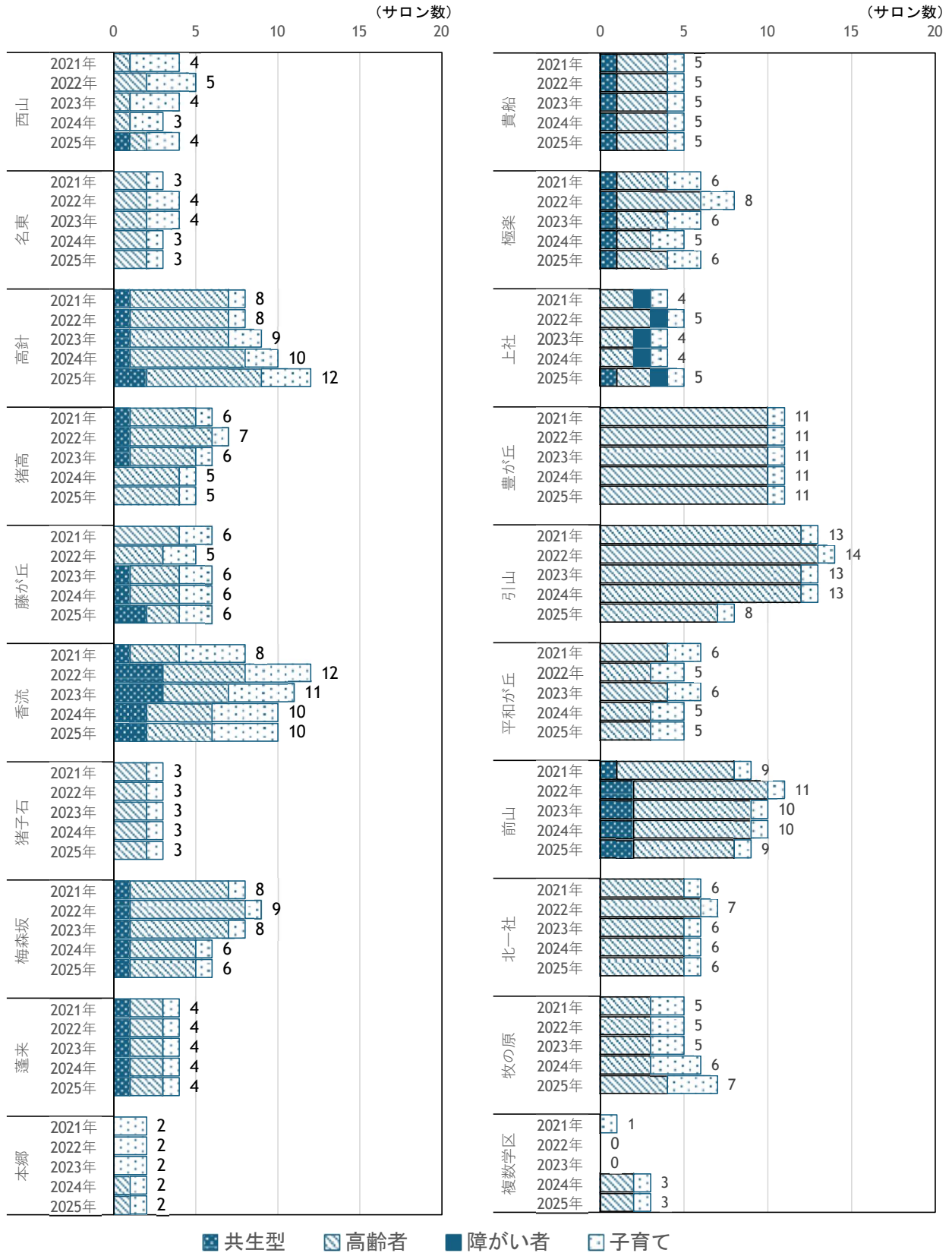
図表 【名東区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【名東区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
西山	1	1	0	2	4
名東	0	2	0	1	3
高針	2	7	0	3	12
猪高	0	4	0	1	5
藤が丘	2	2	0	2	6
香流	2	4	0	4	10
猪子石	0	2	0	1	3
梅森坂	1	4	0	1	6
蓬来	1	2	0	1	4
本郷	0	1	0	1	2
貴船	1	3	0	1	5
極楽	1	3	0	2	6
上社	1	2	1	1	5
豊が丘	0	10	0	1	11
引山	0	7	0	1	8
平和が丘	0	3	0	2	5
前山	2	6	0	1	9
北一社	0	5	0	1	6
牧の原	0	4	0	3	7
複数学区	0	2	0	1	3
合計	14	74	1	31	120
(構成比)	11.7%	61.7%	0.8%	25.8%	100.0%

図表 【名東区】 学区別サロンの種別設置状況の推移



⑩天白区

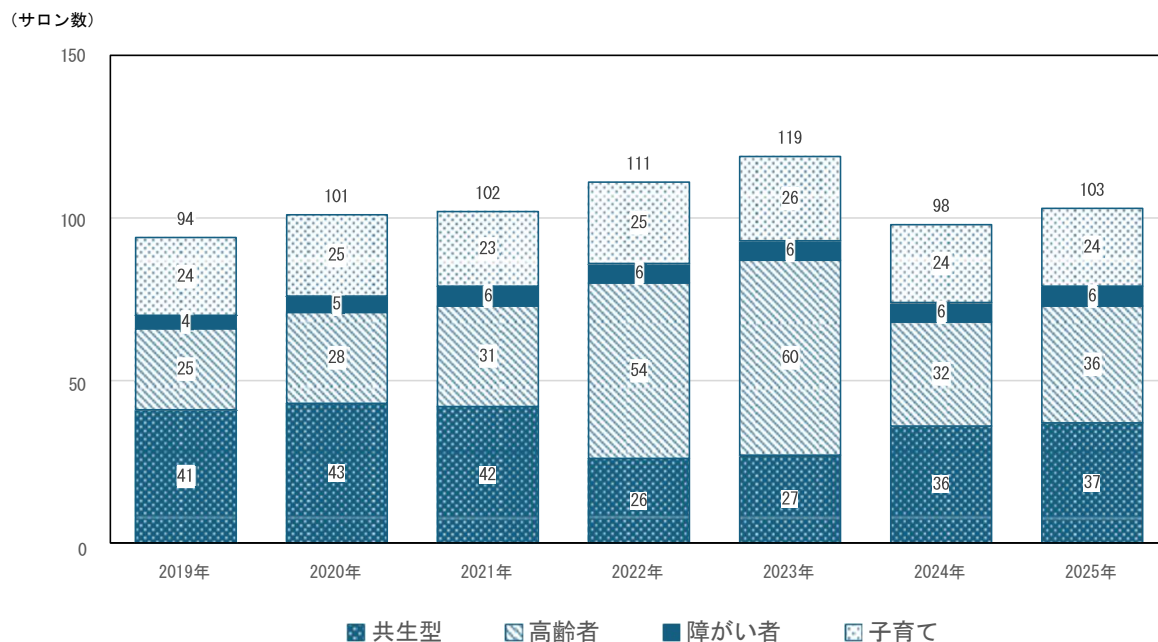
天白区のサロン数は、増加傾向にありましたが、2024年に減少し、2025年には103か所となっています。

種別にみると、2025年12月現在で共生型サロンが37か所、高齢者サロンが36か所、障がい者サロンが6か所、子育てサロンが24か所です。高齢者サロンよりも共生型サロンが多く、障がい者サロンは最も多い区となっています。

学区別では天白が11か所で最も多く、サロンがない学区はありません。

増減を繰り返している学区が多くあります。

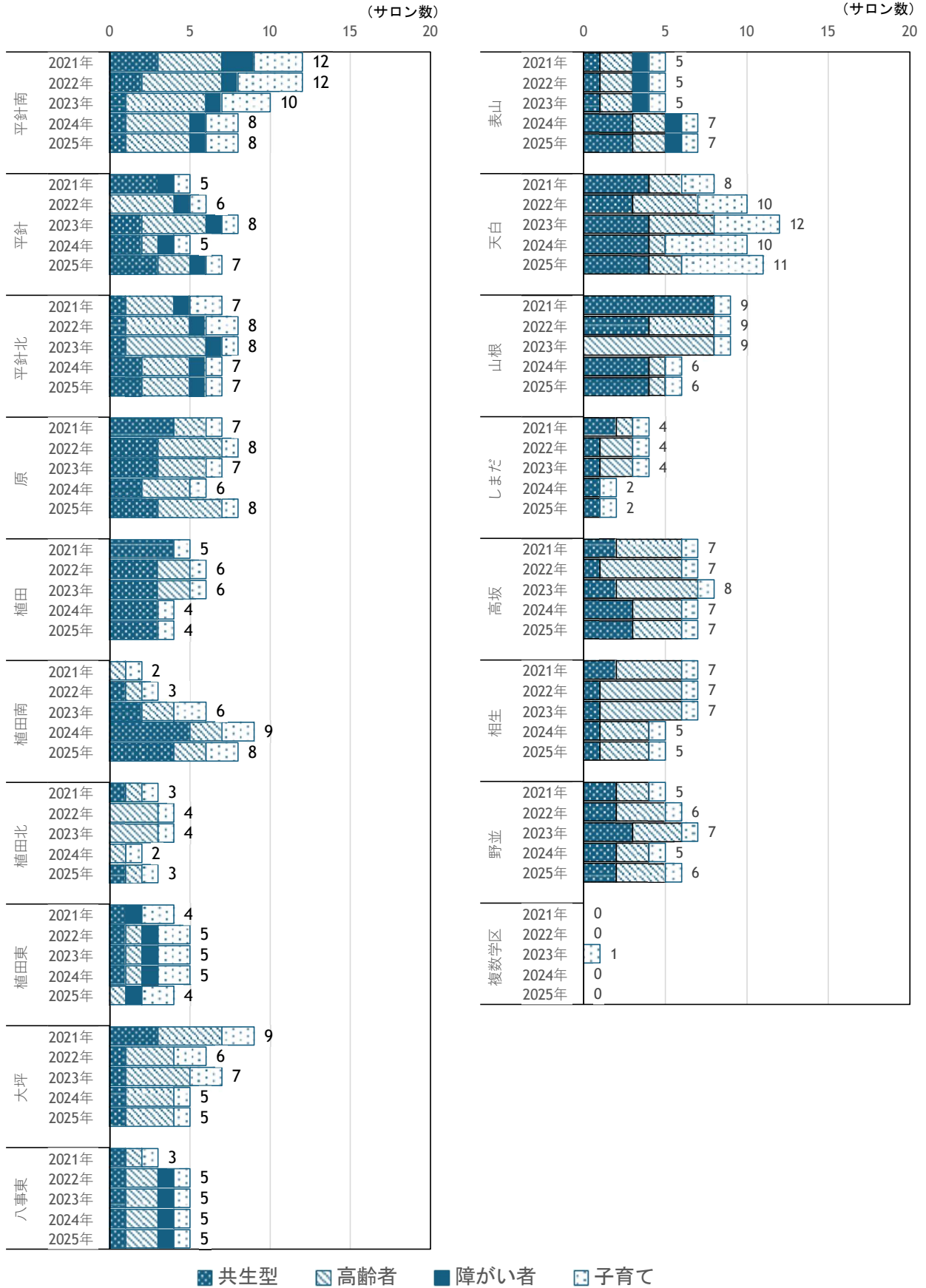
図表 【天白区】サロンの種別設置状況の推移



図表 【天白区】学区別サロンの種別設置状況

学区	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
平針南	1	4	1	2	8
平針	3	2	1	1	7
平針北	2	3	1	1	7
原	3	4	0	1	8
植田	3	0	0	1	4
植田南	4	2	0	2	8
植田北	1	1	0	1	3
植田東	0	1	1	2	4
大坪	1	3	0	1	5
八事東	1	2	1	1	5
表山	3	2	1	1	7
天白	4	2	0	5	11
山根	4	1	0	1	6
しまだ	1	0	0	1	2
高坂	3	3	0	1	7
相生	1	3	0	1	5
野並	2	3	0	1	6
合計	37	36	6	24	103
	35.9%	35.0%	5.8%	23.3%	100.0%

図表 【天白区】 学区別サロンの種別設置状況の推移



第3章 サロン活動状況

(1) サロンの担い手

ふれあいいきいきサロンの担い手は、地域住民が 460 で最も多く、地域福祉推進協議会が 455、ボランティアグループ 281 と続いています。

種別では、共生型サロンは、地域住民が 120、ボランティアグループが 114、地域福祉推進協議会 96 です。高齢者サロンは、地域住民が 317、地域福祉推進協議会 201、ボランティアグループ 152 と続いています。

障がい者サロンはその他の団体が 4 と最も多く、社会福祉法人、福祉施設、NPO 法人、地域住民がそれぞれ 3 となっています。

子育てサロンは、地域福祉推進協議会が 156 と最も多くなっています。

図表 サロンの担い手

区分	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
地域福祉推進協議会	96	201	2	156	455
学区連絡協議会	4	11	0	15	30
民生委員・児童委員協議会	8	26	0	78	112
女性会	1	6	0	1	8
保護司会	0	0	0	0	0
老人クラブ連合会	12	59	0	0	71
自治会・町内会	17	49	0	1	67
その他活動団体	36	44	4	24	108
企業・営利団体等	38	23	0	2	63
社会福祉法人・福祉施設	54	69	3	2	128
NPO 法人	36	8	3	28	75
協同組合等	28	59	0	4	91
教会・神社・寺院等	17	1	0	1	19
ボランティアグループ	114	152	2	13	281
地域住民	120	317	3	20	460
保健センター	1	1	0	5	7
児童館	0	0	0	13	13
図書館	0	0	0	0	0
福祉会館	0	10	0	0	10
区社会福祉協議会	9	1	0	2	12
いきいき支援センター	2	5	0	0	7
はつらつ参加者・ボラ等	3	39	0	0	42
個人	10	19	1	2	32
複数団体	23	30	2	9	64
その他	29	16	2	3	50
不明	1	0	0	0	1
合計	659	1,146	22	379	2,206

(2) サロンの会場

サロンの会場は、コミュニティセンターが 746 か所で最も多く、集会所が 295 か所、施設・事業所・NPO が 255 か所と続いています。

種別にみると、共生型サロンは、コミュニティセンターが 130 か所で最も多く、施設・事業所・NPO が 120 か所、集会所が 92 か所で続いています。

高齢者サロンは、コミュニティセンター397 か所で最も多く、集会所 187 か所、施設・事業所・NPO が 114 か所で続いています。

障がい者サロンは、在宅サービスセンターとスポセン・生涯学習センター・文化センター等が各 6 か所で最も多くなっています。

子育てサロンは、コミュニティセンターが 215 か所と最も多く、半数以上を占めています。

図表 サロンの会場

区分	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
コミュニティセンター	130	397	4	215	746
地区会館・公民館・公会堂・ 防災倉庫	33	74	1	24	132
集会所	92	187	0	16	295
在宅サービスセンター	16	40	6	14	76
施設・事業所・NPO	120	114	3	18	255
店舗・喫茶店	64	58	0	10	132
お寺・社務所・教会	60	47	0	12	119
病院・診療所・助産所	17	16	0	3	36
学校	11	18	1	10	40
保育園・幼稚園	5	1	0	6	12
個人宅・空き家・空き店舗	51	52	0	4	107
公園・運動場等屋外	31	77	0	2	110
スポーツセンター・生涯学習 センター・文化センター等	11	36	6	16	69
区役所・保健センター	1	1	0	6	8
図書館	0	0	0	2	2
児童館	1	1	1	16	19
福祉会館	2	14	0	1	17
いきいき支援センター	1	2	0	0	3
フリースペース・貸スペース	19	29	0	4	52
不定・不明	0	1	0	1	2
合計	665	1,165	22	380	2,232

(3) サロンの開催頻度

サロンの開催頻度は、月 1 回が 981 か所でもっとも多く、月 2 回が 568 か所、月 4 回以上が 466 か所となっています。週 5 日が 29 か所、毎日が 9 か所あります。

種別にみると、いずれも月 1 回がもっと多くなっています。子育てサロンは不定期が 56 か所と他の種類のサロンに比べて多くなっています。

図表 サロンの開催頻度

区分	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
月 1 回	374	384	12	211	981
月 2 回	130	377	6	55	568
月 3 回	12	39	0	6	57
月 4 回以上	117	297	1	51	466
不定期	26	47	3	56	132
不明	0	2	0	0	2
合計	659	1,146	22	379	2,206

月 4 回以上の開催ペース内訳

区分	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
月 4 回	17	36	0	3	56
月 5 回	0	2	0	2	4
月 6 回	0	3	0	0	3
月 7 回	0	1	0	0	1
月 8 回	1	1	0	0	2
月 9 回	0	0	0	0	0
週 1 回	58	196	1	20	275
週 2 回	12	29	0	4	45
週 3 回	11	18	0	5	34
週 4 回	3	2	0	1	6
週 5 回	8	5	0	16	29
週 6 回	2	0	0	0	2
毎日	5	4	0	0	9
合計	117	297	1	51	466

不定期の開催ペース内訳

区分	共生型	高齢者	障がい者	子育て	合計
年 2 回	0	0	0	3	3
年 3 回	1	0	0	3	4
年 4 回	4	16	0	6	26
年 5 回	0	1	0	4	5
年 6 回	4	21	2	23	50
年 7 回	1	1	0	0	2
年 8 回	0	0	0	6	6
年 9 回	0	0	0	2	2
年 10 回	1	0	0	2	3
年 11 回	0	0	0	2	2
不定期	15	8	1	5	29
合計	26	47	3	56	132

第2編 サロンアンケート編

第1部 調査の概要

(1) 調査の目的

名古屋市社会福祉協議会において、サロンをはじめとする地域活動の現状について、調査を通じて運営ボランティアの代表者・参加者の方々の現状や、サロン参加後の変化、サロン活動上での課題、支援要望等を把握し、今後、安心してサロン活動ができる地域社会づくりに役立てることを目的として、実施したものです。

(2) 調査の概要

本調査の概要は以下に示すとおりです。

○調査対象：名古屋市内の『高齢者サロン』『共生型サロン』代表者及び参加者

○抽出方法：無作為抽出

(参加者調査については1サロンにつき5名を無作為抽出)

○調査方法：郵送配布・郵送回収(2025年11月1日発送)

○調査時期：2025年11月～12月

○配布数：400票(代表者)

2,000票(参加者)

○回収数/有効回収率：359票/89.8%(代表者)

1,637票/81.9%(参加者)

○有効回収数：1,996票

(3) 報告書の見方

○図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。

○一部のグラフについては、クロス集計上の表側の「回答なし」は省略しています。

○表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

○グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表わしています。

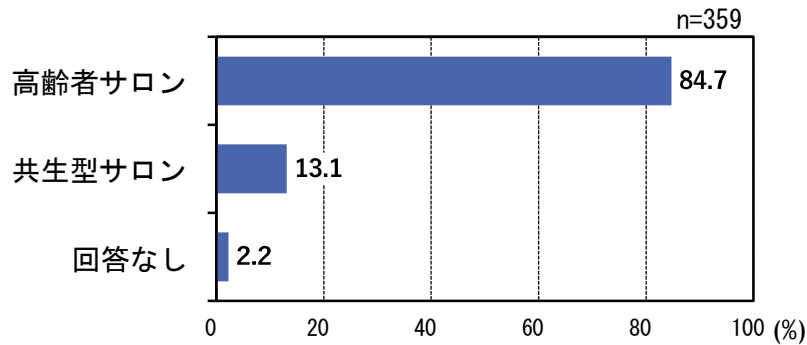
○クロス集計の結果については、全体と比較しておよそ±10%以上の差異がある場合にのみ、分析結果を言及しています。

第2部 サロン代表者アンケート

第1章 サロンの概要

(1) サロンの種別

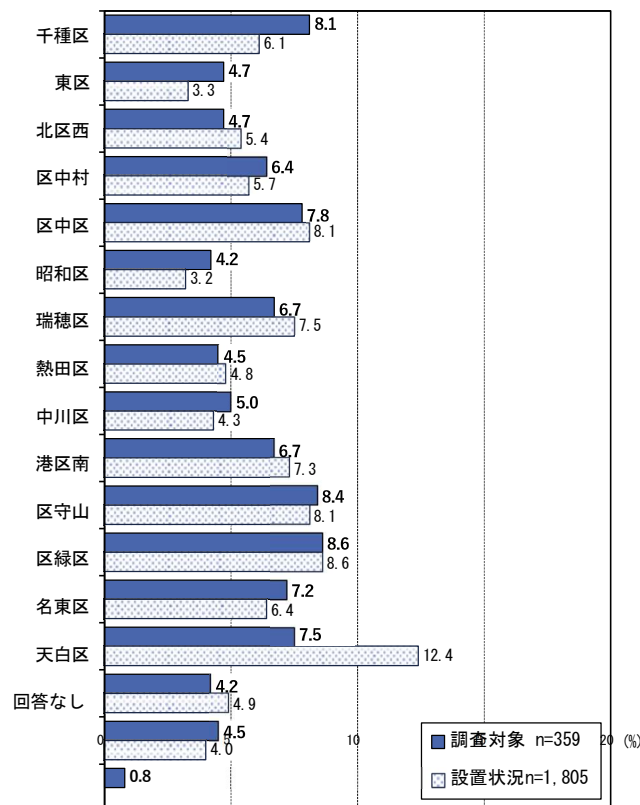
○サロンの種別は「高齢者サロン」が84.7%と多数を占め、「共生型サロン」は13.1%となっています。



(2) サロンの開催地区

○サロンの開催地区は、「南区」8.6%、「港区」8.4%、「千種区」8.1%と続いています。最も低いのは「中区」「名東区」4.2%です。

○今回の調査で回答のあったサロンの開催地区の比率と市社協が把握している各区サロンの設置状況の比率を比較すると緑区はやや調査回答の比率が低くなっています。

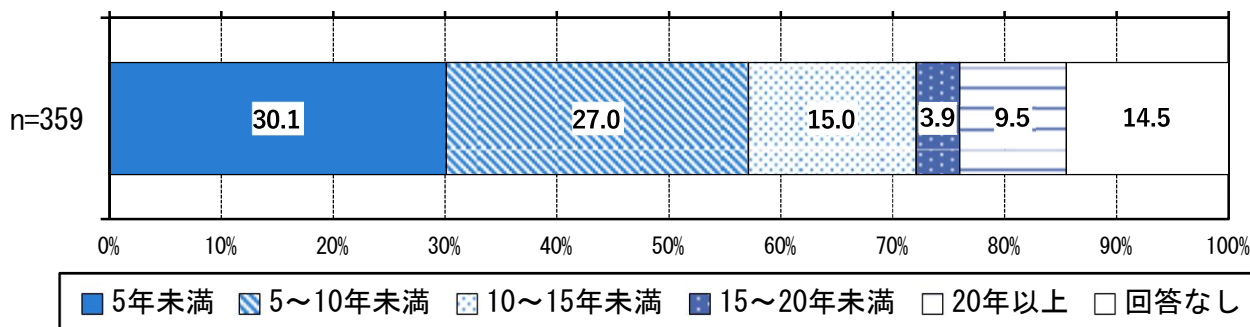


(3) サロンの活動年数

◆サロンの平均活動年数は 9.9 年

○サロンの活動年数は、平均 9.9 年で、「5 年未満」が 30.1%と最も割合が高く、次いで「5～10 年未満」が 27.0%と続いており、10 年未満が半数以上を占めています。

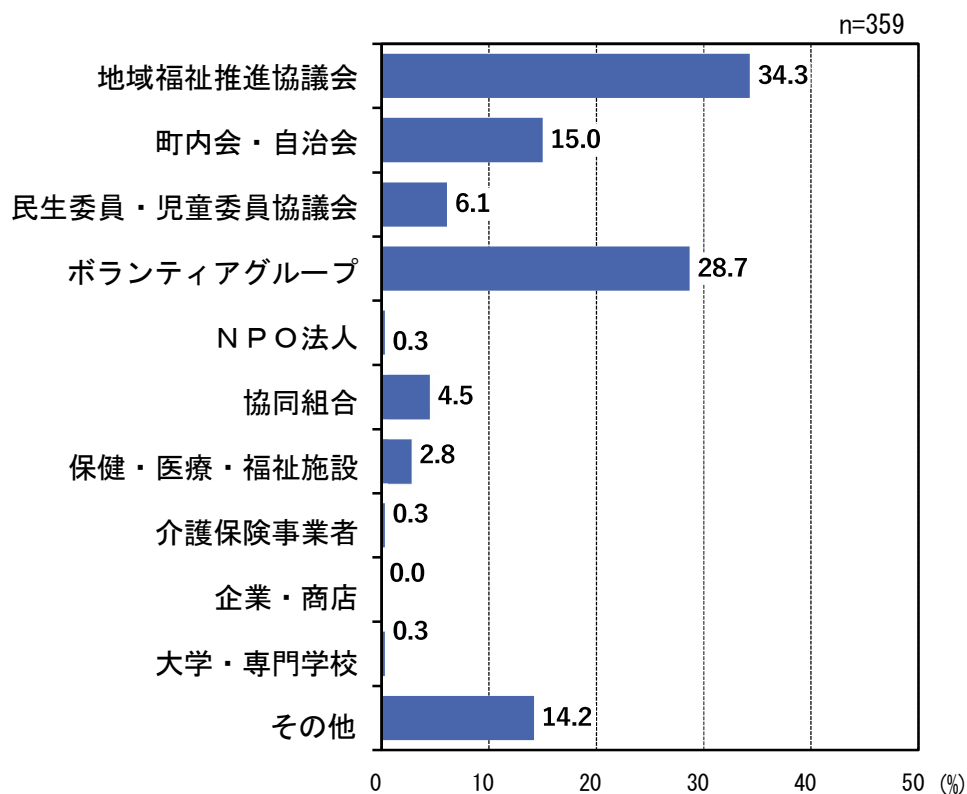
○一方で、「20 年以上」が 9.5%です。



(4) サロンの運営母体

◆サロンの運営母体は地域福祉推進協議会が 1/3

○サロンの運営母体は、「地域福祉推進協議会」が 34.3%と最も高く、次いで「ボランティアグループ」が 28.7%、「町内会・自治会」が 15.0%と続いています。

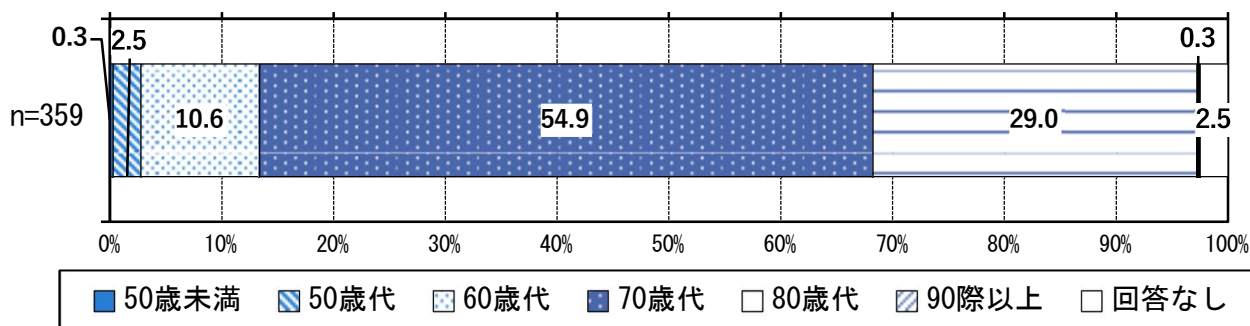


(5) 代表者の年齢

◆代表者は70歳以上が84.2%

○サロンの代表者の年齢は「70歳代」が54.9%と最も割合が高く、「80歳代」が29.0%と続いています。最年少は41歳、最高齢は90歳、平均は76.1歳でした。

○一方で、60歳未満の比率は「50歳未満」が0.3%、「50歳代」が2.5%と合わせて2.8%に留まっています。



(6) ボランティアの年代・人数

◆ボランティアの平均人数は11人。男性は3人、女性は8人

【ボランティア総数】

○ボランティアの平均は11.1人で、最小は0人、最大は60人です。

○「5～10人未満」が26.7%と最も割合が高く、「5人未満」23.1%、「10～15人未満」18.7%と続いています。

○また、ボランティアがいないサロンも1.7%あります。

【男性ボランティア】

○男性ボランティアの平均は3.2人で、最小は0人、最大46人です。

○人数別にみると、「5人未満」が39.8%と最も割合が高く、「5～10人未満」が10.9%と続いています。男性ボランティアが20人以上いるサロンは2.8%に留まっています。

○男性ボランティアがいないサロンは30.9%となっています。

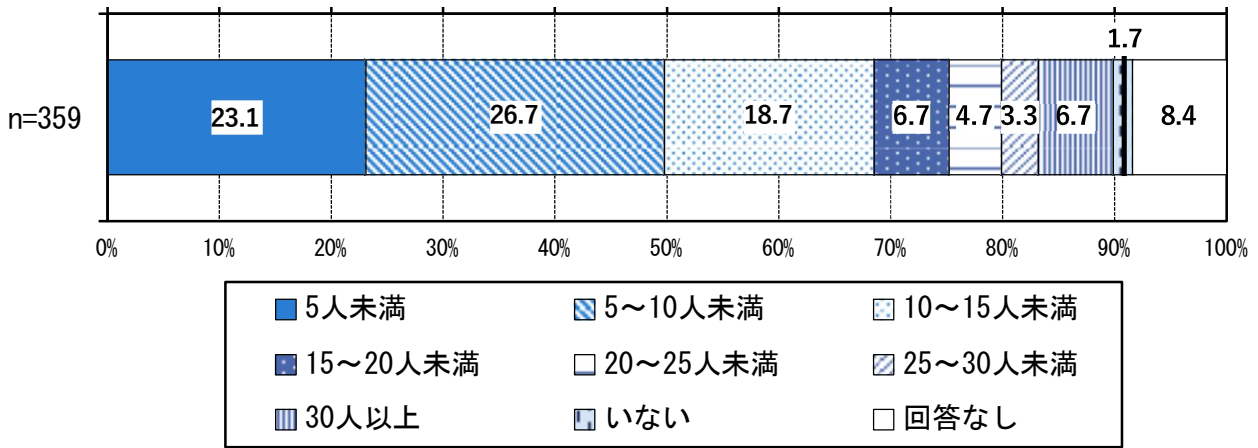
【女性ボランティア】

○女性ボランティアの平均は8.0人で、最小は0人、最大は42人です。

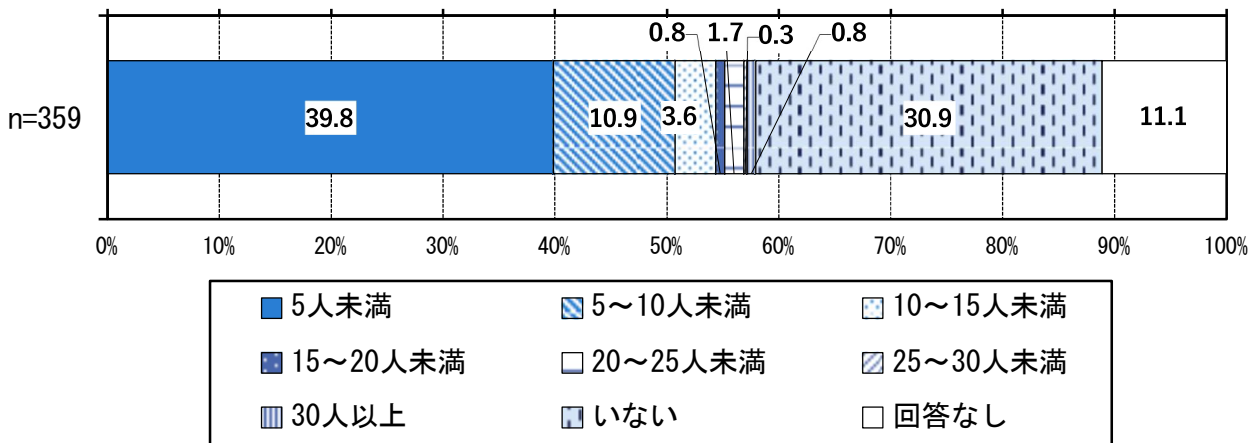
○人数別にみると、「5人未満」が32.9%と最も割合が高く、「5～10人未満」が25.3%と続いています。20人以上いるサロンは7.6%に留まっています。

○女性ボランティアがいないサロンは5.6%です。

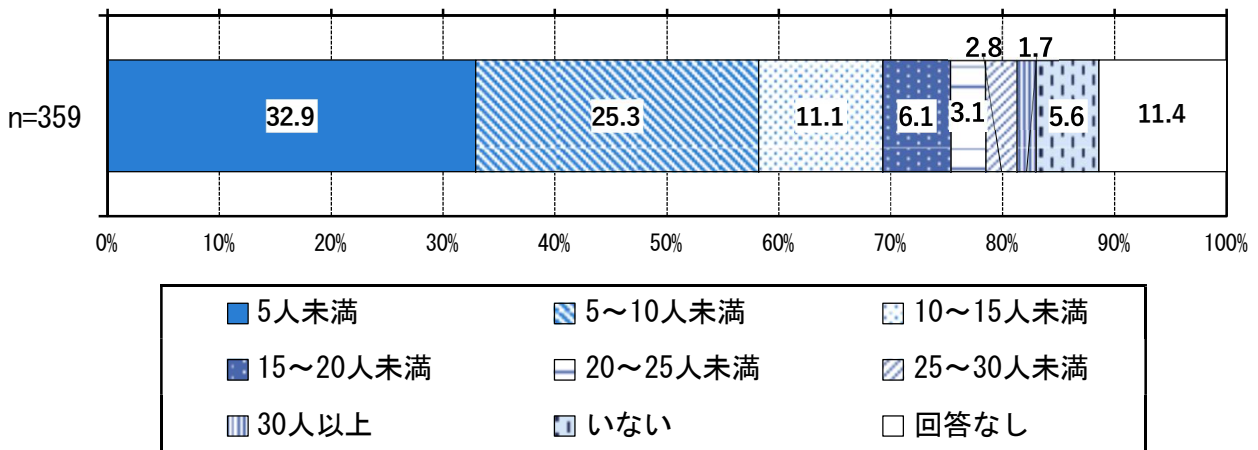
【ボランティア総数】



【男性ボランティア】



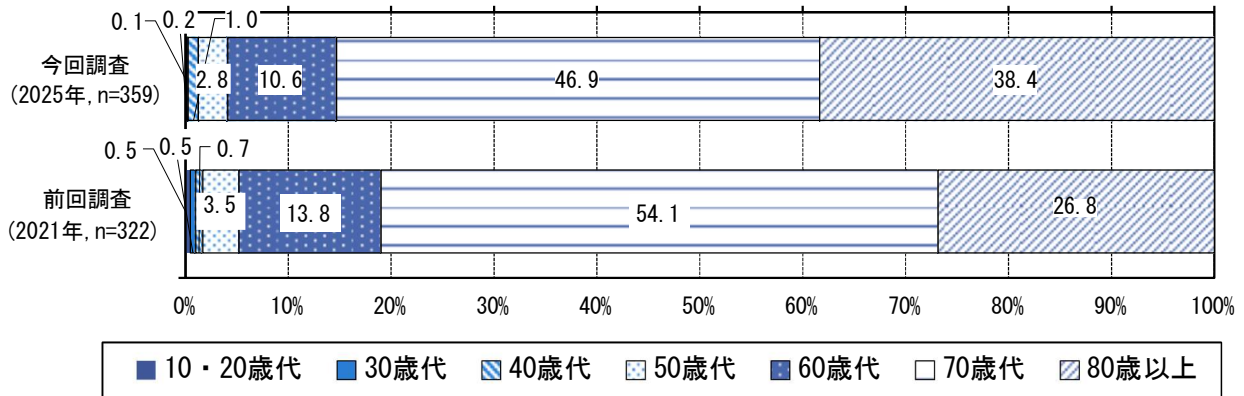
【女性ボランティア】



◆ボランティアは70歳以上が85.3%

○ボランティアの年齢構成は「70歳代」が46.9%と最も割合が高く、「80歳以上」が38.4%、「60歳代」が10.6%と続いています。

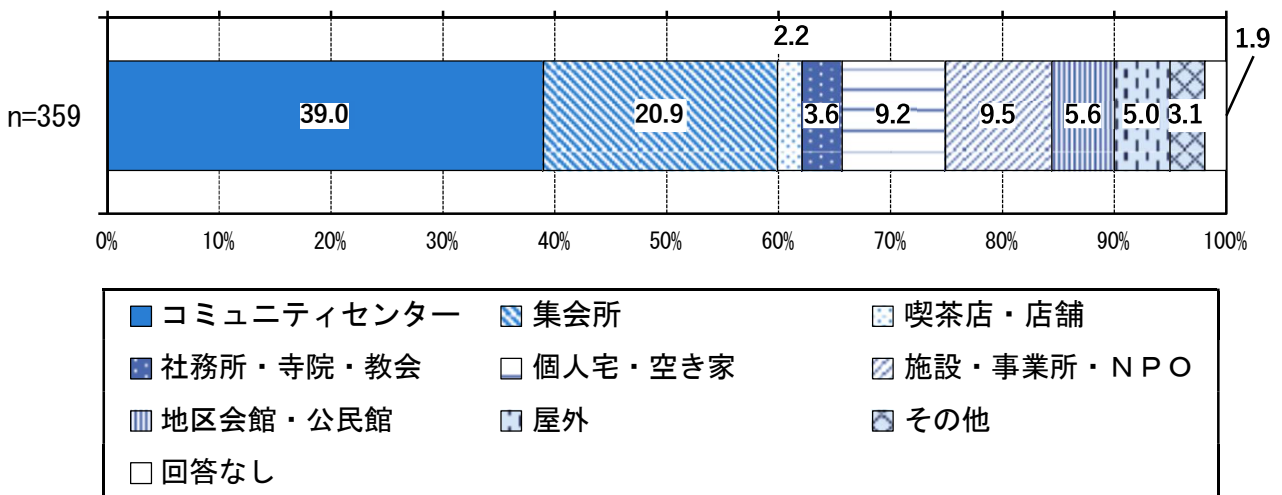
○前回調査（2021年）と比較すると、80歳以上の割合が10ポイント以上高くなり、60歳代の割合も低くなり、ボランティアの高齢化が進んでいます。



(7) サロン会場の種別

◆サロンの会場はコミュニティセンターと集会所が59.9%

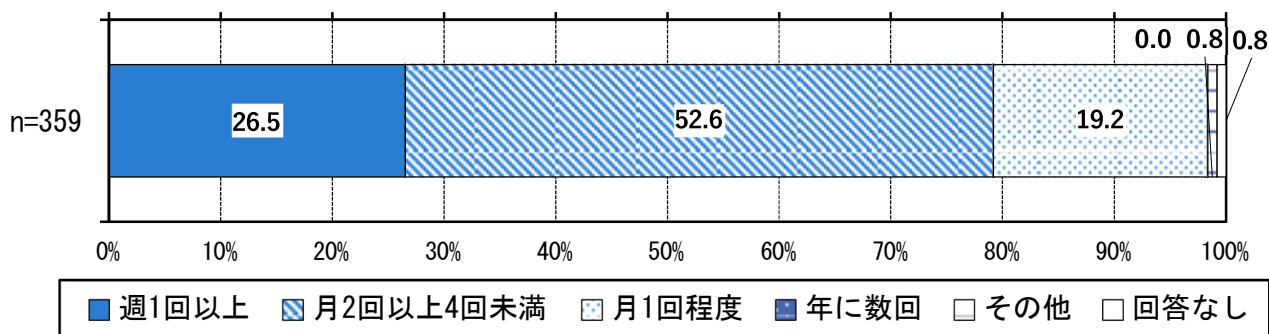
○サロンの会場種別は、「コミュニティセンター」が39.0%と最も割合が高く、「集会所」20.9%、「施設・事業所・NPO」9.5%、「個人宅・空き家」9.2%と続いています。



(8) サロンの開催頻度

◆月1回以上の開催が98.5%

○サロンの開催頻度は「月2回以上4回未満」が52.6%と半数以上を占めて、最も割合が高く、「週1回以上」が26.5%、「月1回程度」が19.2%と続いています。

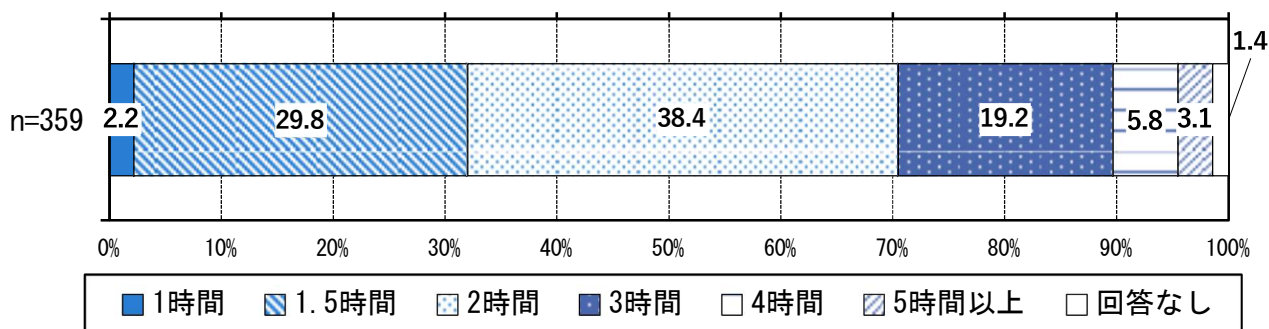


(9) サロンの開催時間

◆2時間以内が70.4%

○サロンの開催時間は、「2時間」が38.4%と最も割合が高く、「1.5時間」が29.8%、「3時間」が19.2%と続いています。2時間以内が70.4%となっています。

○一方で、「5時間以上」が3.1%あり、囲碁やマージャン、工房等の活動をされています。

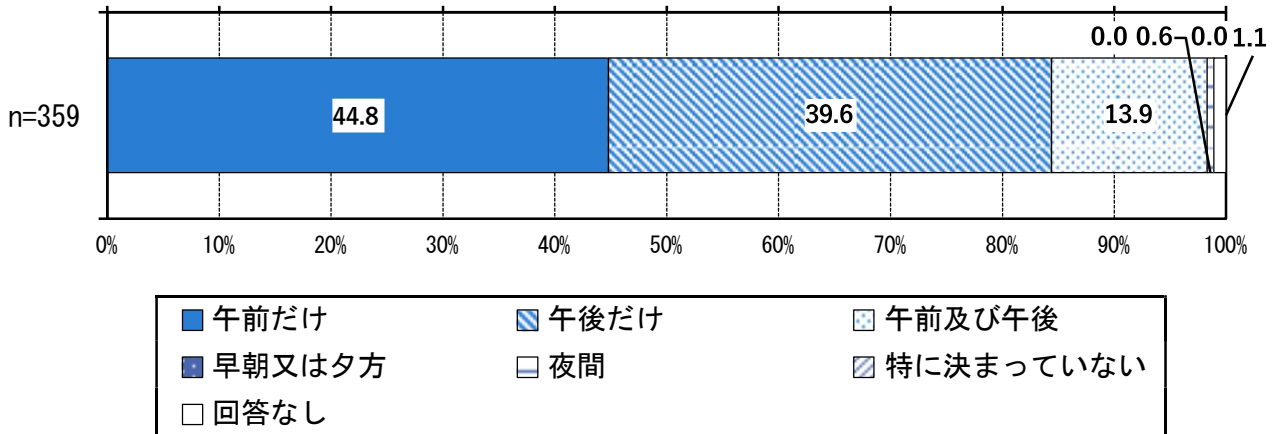


(10) 活動する時間帯

◆開催は、午前か午後の半日だけが 84.4%

○活動する時間帯は、「午前だけ」が 44.8%と最も割合が高く、「午後だけ」が 39.6%と続いており、半日程度の活動が 84.4%を占めています。「午前及び午後」の1日中は 13.9%です。

○その他の時間帯では「夜間」が 0.6%のみで、日中の活動がほとんどです。

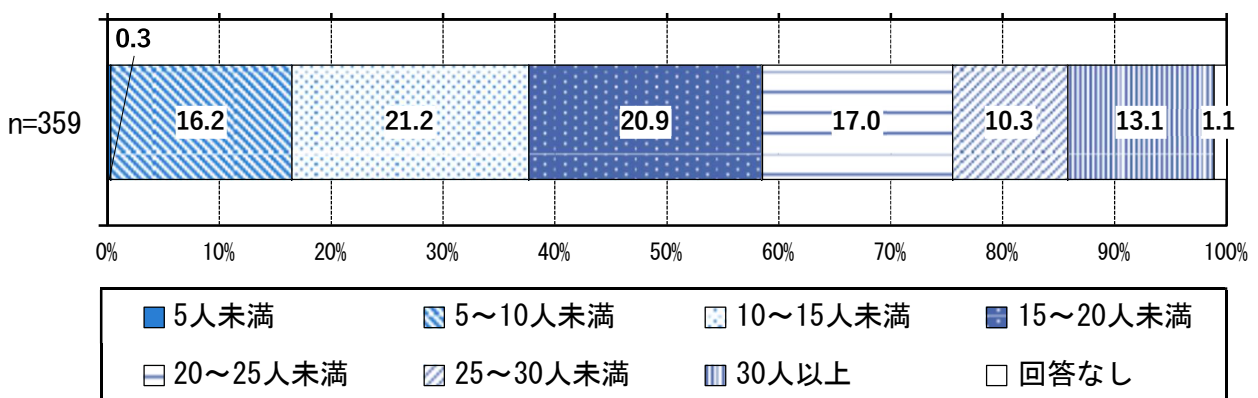


(11) 参加者数

◆1回あたりの参加者数の平均は 18 人

○1回あたりの参加者数は平均で 18 人。最低は 2 人、最高は 60 人です。

○人数別にみると、「10～15 人未満」が 21.2%と最も割合が高く、「15～20 人未満」が 20.9%、「20～25 人」が 17.0%、「5～10 人未満」が 16.2%と続いています。



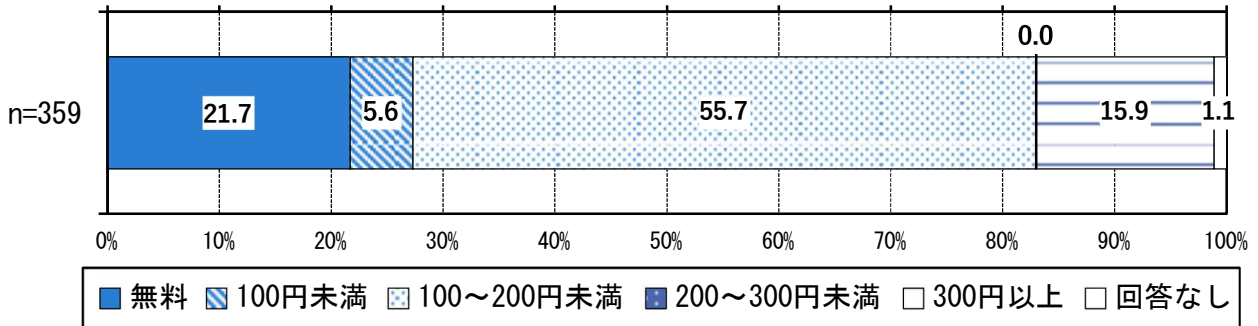
(12) 参加費

◆1回あたり参加費の平均は157円

○1回あたりの参加費は、平均で157円。最低は0円、最高は2,000円でした。

○金額別にみると、「100～200円未満」が55.7%と半数を超えて最も割合が高く、「300円以上」が15.9%と続いています。

○また、「無料」が21.7%となっています。



第2章 サロン参加者の状況

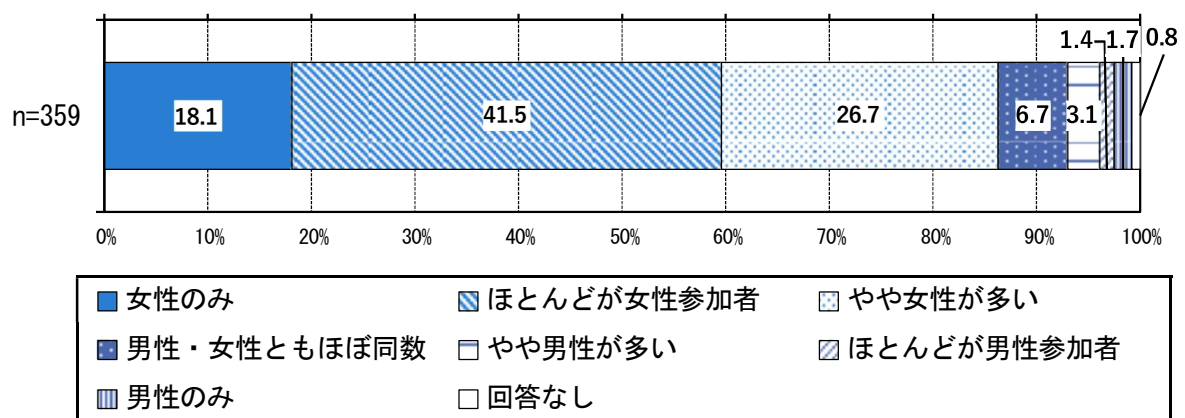
(1) 性別

問2 サロン参加者の男女比を教えてください。

◆“女性参加者が多い”は86.3%、“男性参加者が多い”は6.2%

○サロン参加者の男女比は、「女性のみ」「ほとんどが女性参加者」「やや女性が多い」を合わせた“女性参加者が多い”は86.3%となっています。

○「男性・女性ともほぼ同数」「男性のみ」「ほとんどが男性参加者」「やや男性が多い」を合わせた“男性参加者が多い”は6.2%となっています。

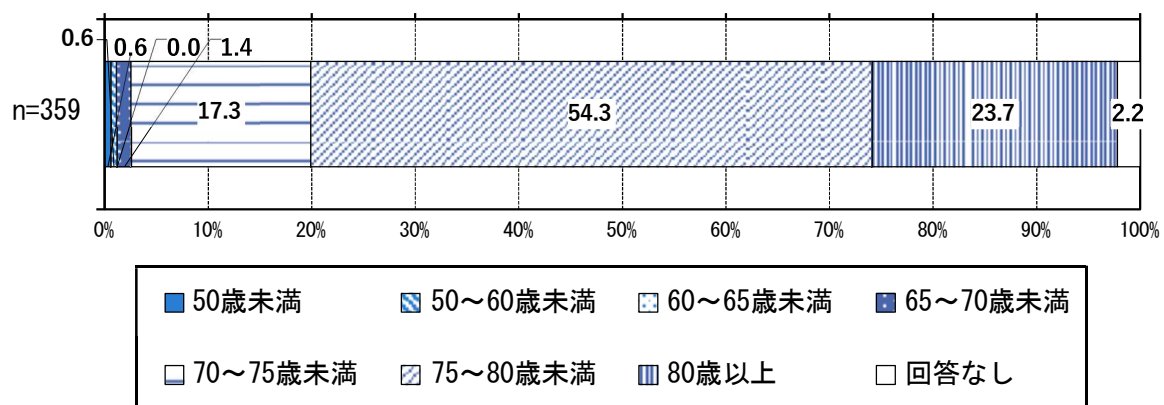


(2) 平均年齢

問3 サロン参加者の平均年齢を教えてください。

◆平均年齢75歳以上が78.0%

○参加者の平均年齢は「75～80歳未満」が54.3%と最も割合が高く、「80歳以上」が23.7%と続いており、平均年齢75歳以上が78.0%を占めています。

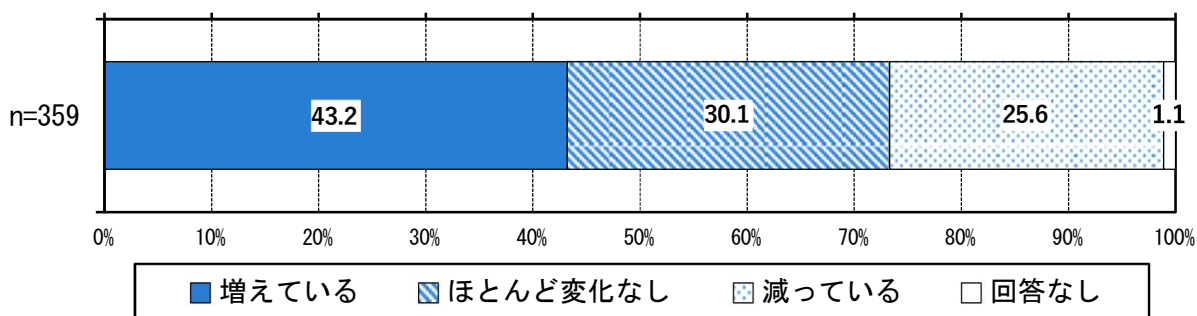


(3) 参加者数の変化

問 4 サロン開設時と比較した参加者数の変化を教えてください。

◆参加者数について増加は 43.2%、減少は 25.6%

○サロン開設時からの参加者数の変化は、「増えている」が 43.2%と最も割合が高く、「ほとんど変化なし」が 30.1%、「減っている」が 25.6%となっています。

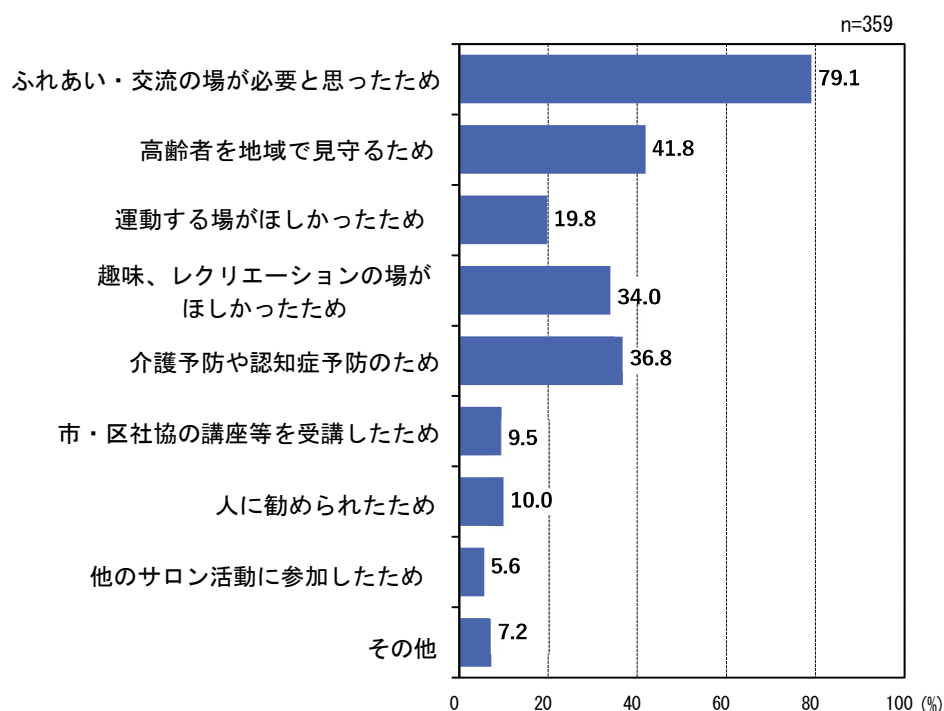


(4) サロンを始めたきっかけ

問 5 サロンをはじめたきっかけを教えてください。

◆サロンをはじめたきっかけは“ふれあい・交流の場が必要”という思いからが 79.1%

○サロンをはじめたきっかけは、「ふれあい・交流の場が必要と思ったため」が 79.1%と最も割合が高くなっています。次いで「高齢者を地域で見守るため」が 41.8%、「介護予防や認知症予防のため」が 36.8%、「趣味、レクリエーションの場がほしかったため」が 34.0%と続いています。



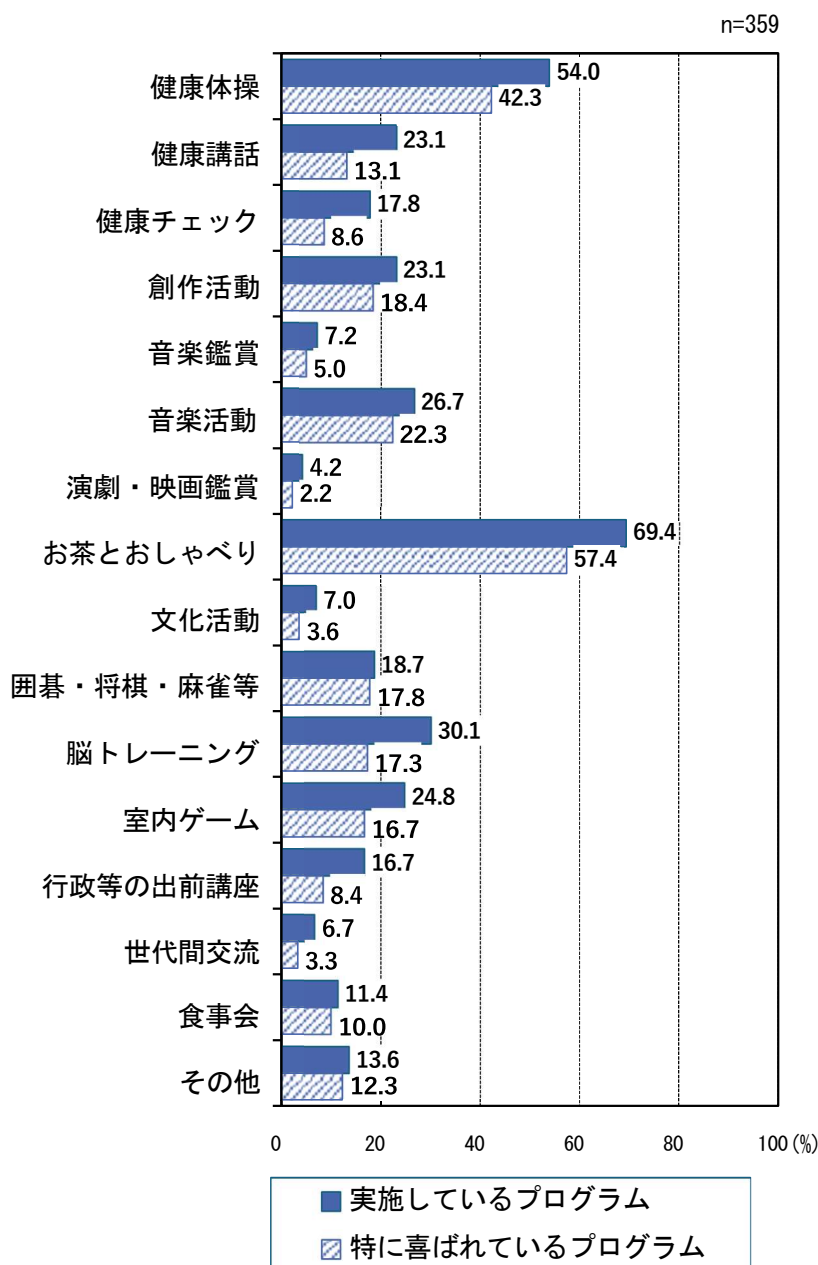
(5) サロンの内容

問 6 サロンのプログラムについて、実施する頻度の高い内容を教えてください。
とくに参加者に喜ばれているものを 3 つ選んでください。

◆「お茶とおしゃべり」が 69.4%と最も高い

○サロンで実施しているプログラムは、「お茶とおしゃべり」が 69.4%で最も割合が高く、「健康体操」が 54.0%で続いています。ほとんどのプログラムで 10%以上の回答があり、サロンで様々なプログラムが実施されていることがわかります。

○また、このうちとくに参加者に喜ばれているものも、「お茶とおしゃべり」が 57.4%で最も割合が高く、「健康体操」が 42.3%で続いています。



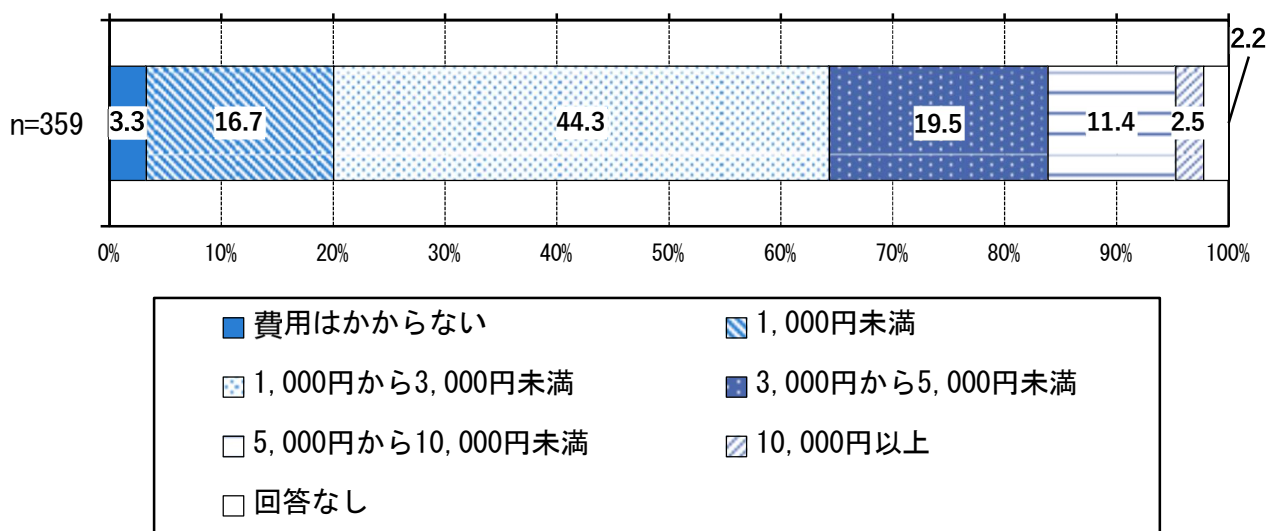
第3章 サロンの経費や助成制度

(1) 必要経費

問 7 1 回開催あたりの必要な経費について教えてください。

◆サロン活動で必要な経費「1,000円から3,000円未満」が44.3%

○サロン活動で必要な経費は、「1,000円から3,000円未満」が44.3%で最も割合が高く、「3,000円から5,000円未満」が19.5%、「1,000円未満」が16.7%が続いています。「費用はかからない」が3.3%あります。



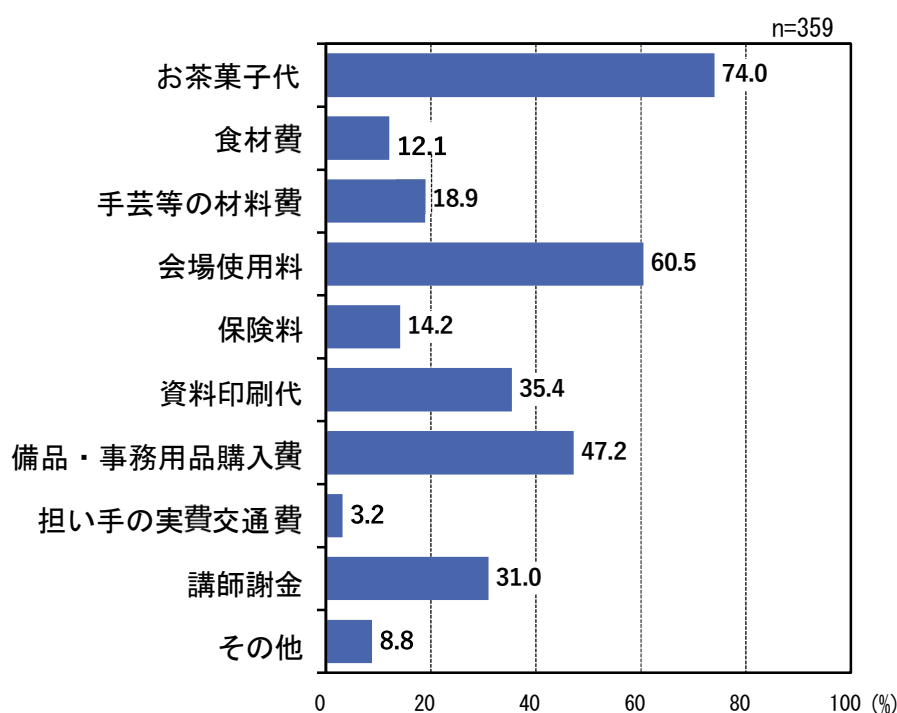
(2) 必要経費の内容

問8 費用の内容を教えてください。
最も費用のかかる内容を教えてください。

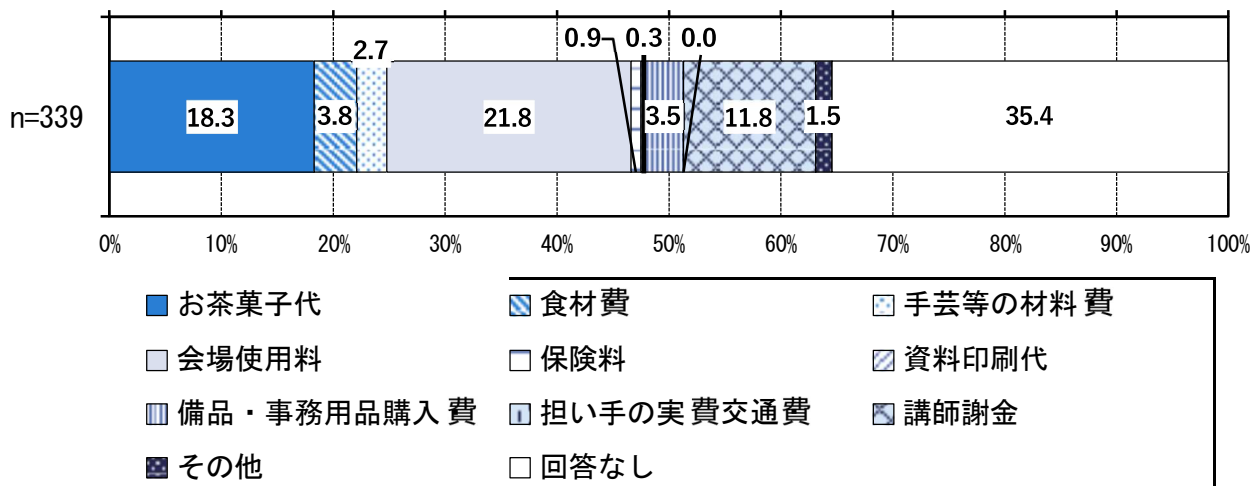
◆かかる費用はお茶菓子代と会場使用料

○前問で費用がかかると回答した方に、費用の内容を尋ねたところ、「お茶菓子代」が74.0%で最も割合が高く、「会場使用料」が60.5%、「備品・事務用品購入費」が47.2%と続いています。

○最も費用がかかるものは「会場使用料」が21.8%と最も割合が高く、「お茶菓子代」が18.3%、「講師謝金」が11.8%と続いています。



【最もかかる費用】

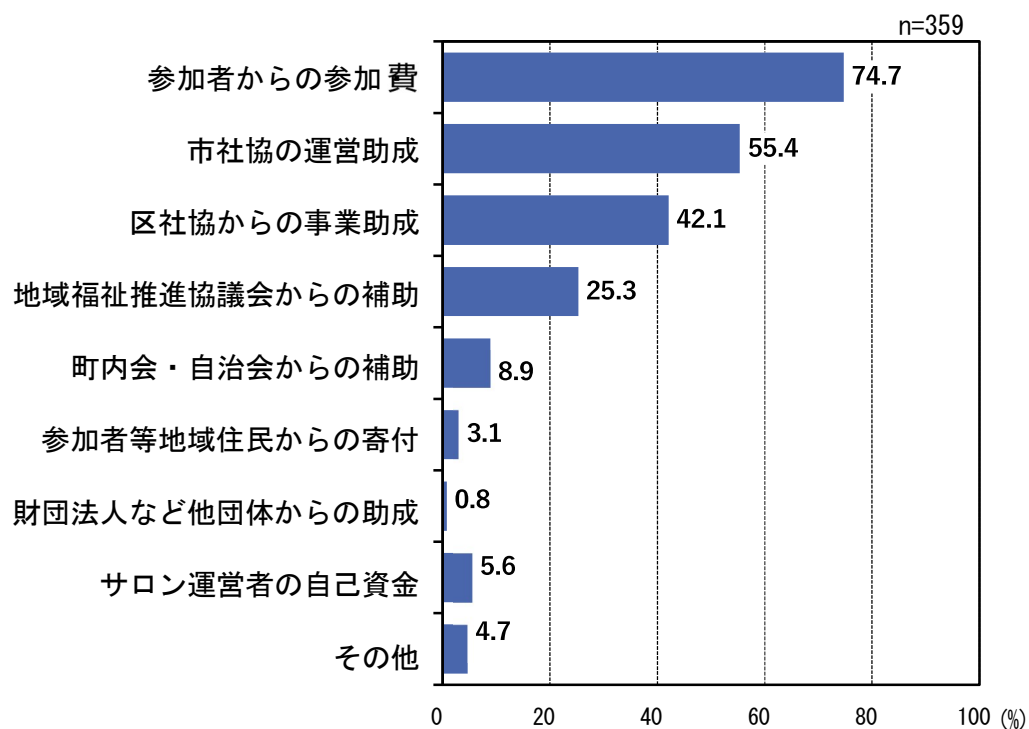


問9 サロンの運営経費の財源は何ですか。

◆サロンの運営経費の財源は「参加者からの参加費」が74.7%と最も高い

○サロンの運営経費の財源は、「参加者からの参加費」が74.7%と最も割合が高く、「市社協からの運営助成」が55.4%、「区社協からの事業助成」が42.1%、「地域福祉推進協議会からの補助」が25.3%と続いています。

○市、区の社協からの助成金が活用されていることがわかります。



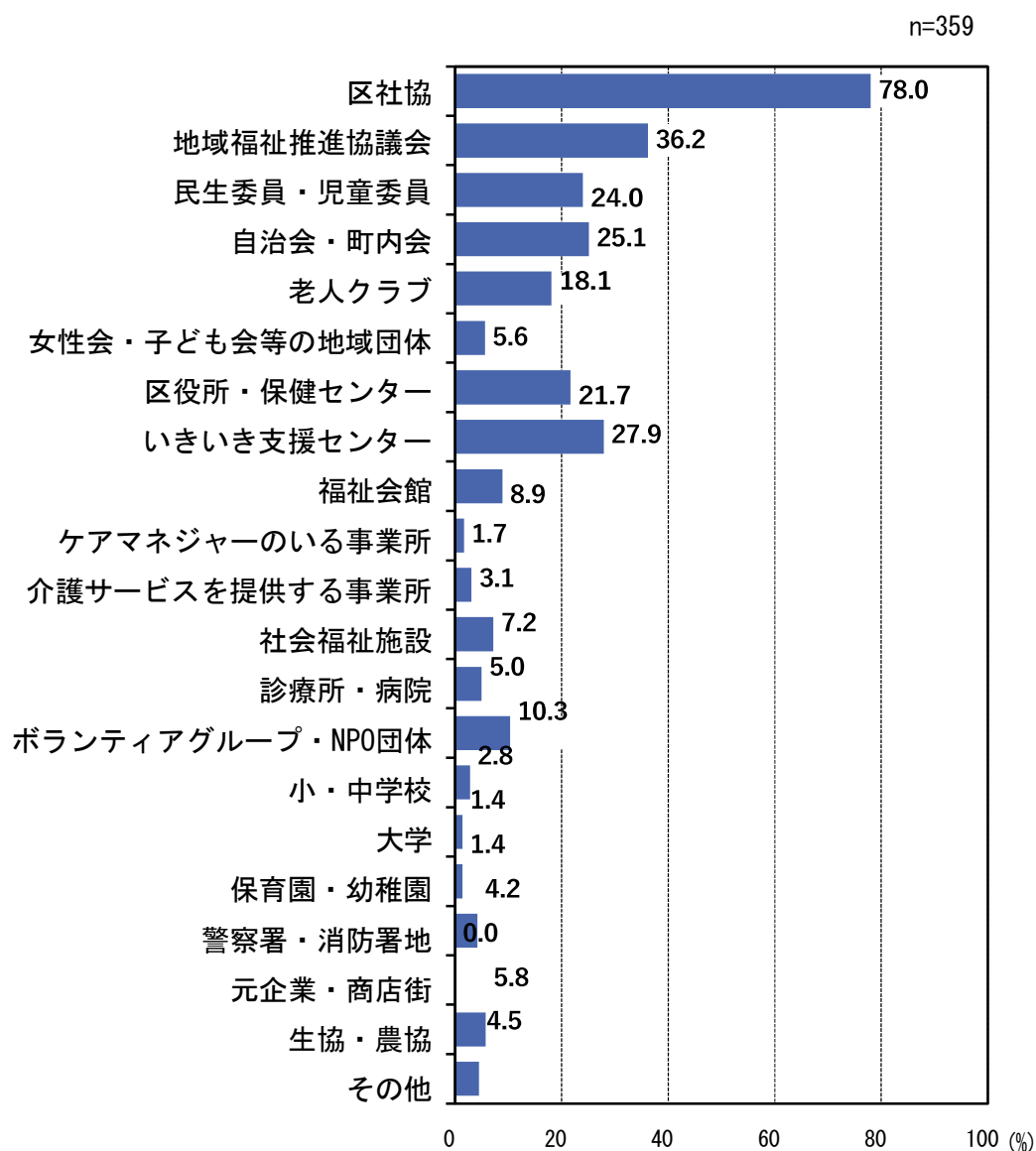
第4章 サロンの運営状況について

(1) 連携している団体や機関

問 10 日ごろから連絡や連携している団体や機関について教えてください。

◆連携している団体等は「区社協」が78.0%

○日頃から連携している団体や機関については、「区社協」が78.0%と最も割合が高く、「地域福祉推進協議会」が36.2%、「いきいき支援センター」が27.9%、「自治会・町内会」が25.1%、「民生委員・児童委員」が24.0%、「区役所・保健センター」が21.7%と続いています。社協をはじめとした公的な機関や地域組織の割合が高くなっています。



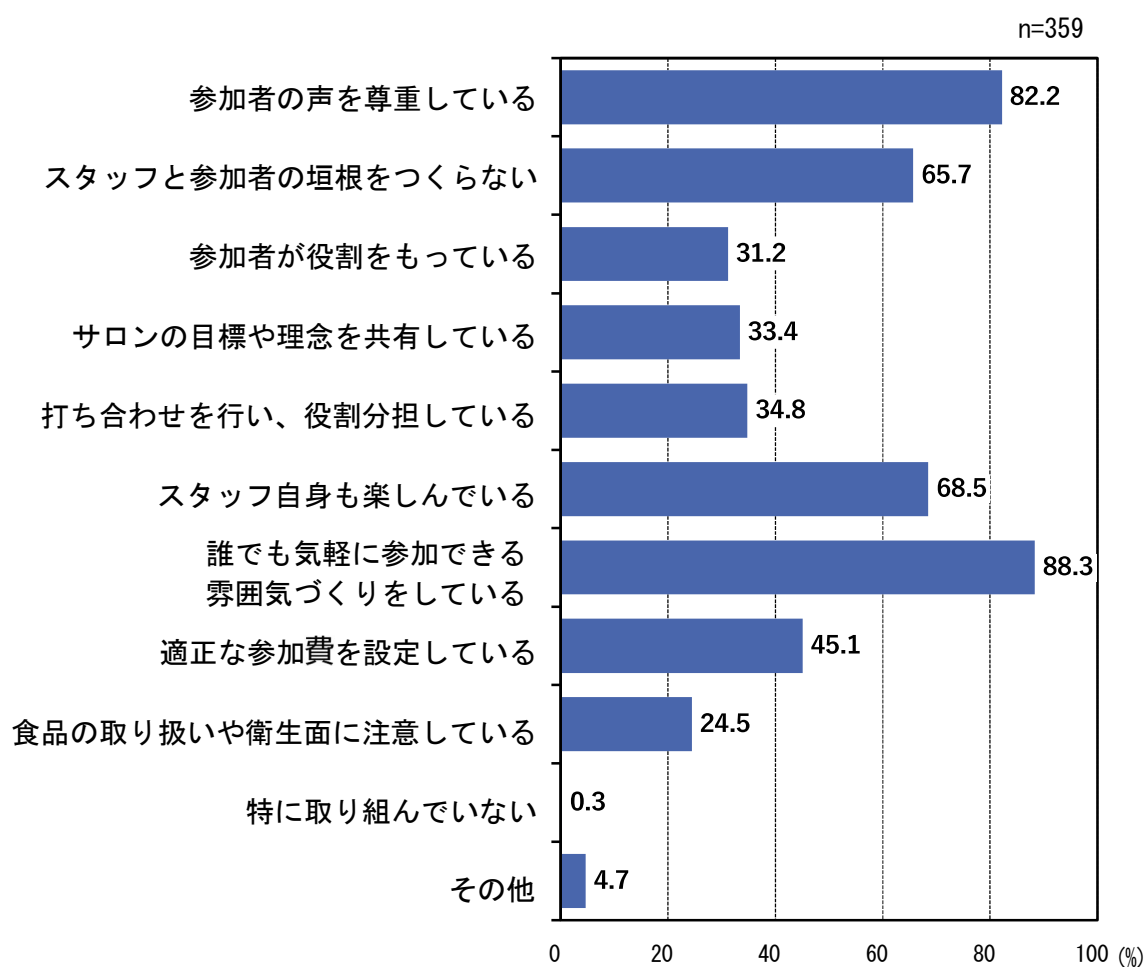
(2) 継続のために取り組んでいること

問 11 サロン活動を継続するために、心がけていることや取り組んでいることを教えてください。

◆心がけていることは誰でも参加できる雰囲気づくりと参加者の声

○サロン活動を継続するために心がけていること、取り組んでいることは、「誰でも気軽に参加できる雰囲気づくりをしている」が 88.3%と最も割合が高く、「参加者の声を尊重している」が 82.2%、「スタッフ自身も楽しんでいる」が 68.5%、「スタッフと参加者の垣根をつくらない」が 65.7%と続いています。

○参加者もスタッフも垣根をつくらないこと、楽しむこと、参加者のニーズを把握することが高くなっています。

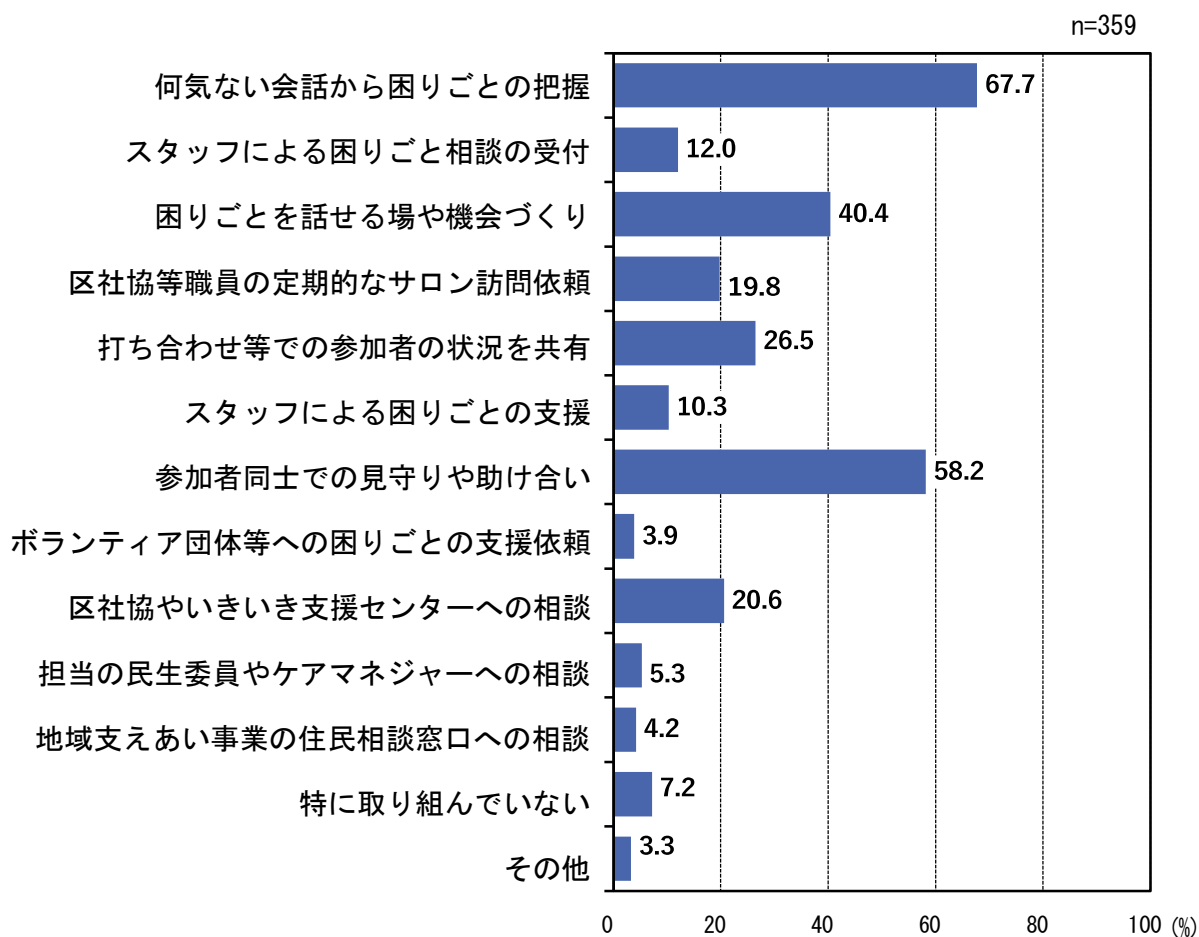


(3) 参加者の困りごと解決の取組

問 12 参加者のちょっとした困りごとの発見や解決に向けて取り組んでいることについて教えてください。

◆困りごとの発見は何気ない会話から

- 参加者の困りごとの発見や解決に取り組んでいることは、「何気ない会話から困りごとを把握」67.7%が最も割合が高く、「参加者同士で見守りや助け合い」が58.2%、「困りごとを話せる場や機会づくり」40.4%が続いており、会話等から困りごとの発見に取り組んでいることがわかります。
- また、解決に向けての取り組みは「区社協等職員の定期的なサロン訪問依頼」19.8%、「区社協やいきいき支援センターへの相談」20.6%等が高くなっています。
- 「特に取り組んでいない」も7.2%あります。



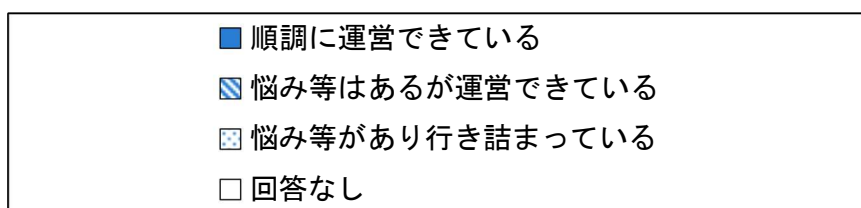
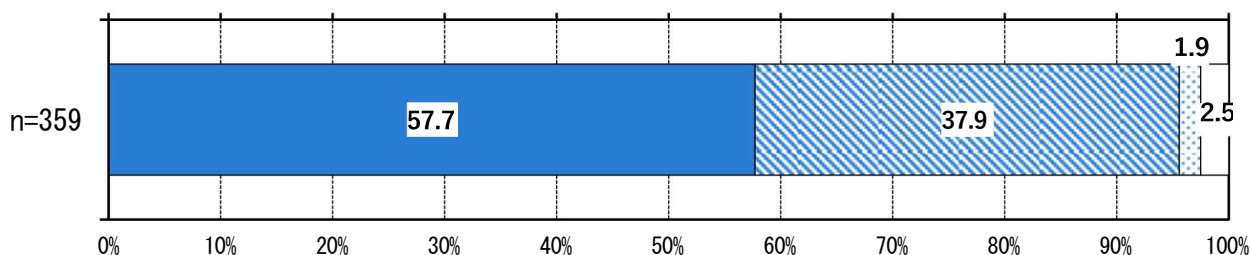
(4) サロンの運営状況

問 13 現在のサロンの運営状況について教えてください。

◆サロンの運営に悩みがあるのは 39.8%

○現在のサロンの運営状況は、「順調に運営できている」が 57.7%で最も割合が高くなっています。

○「悩みはあるが運営できている」が 37.9%、「悩みがあり行き詰っている」が 1.9%となっています。

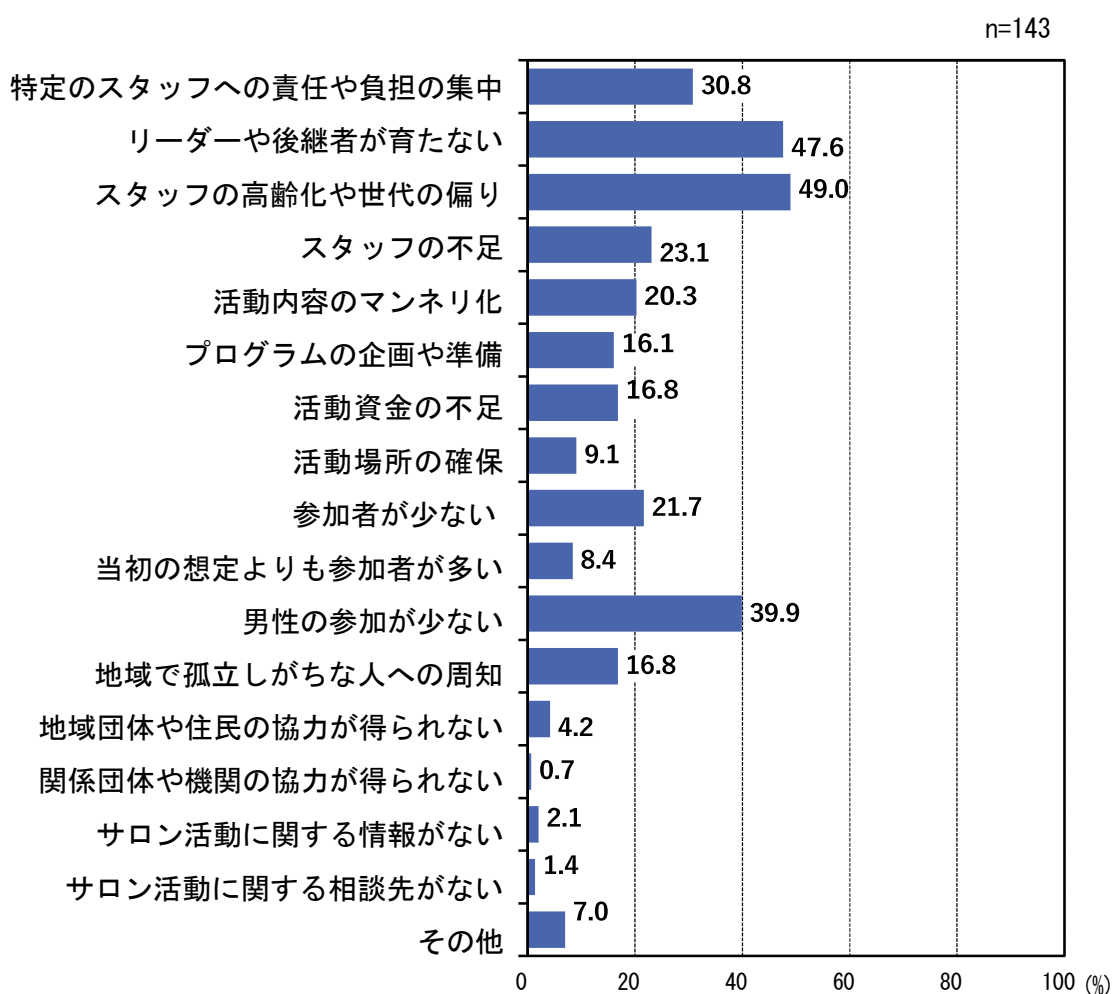


(5) サロン活動上の悩み

問 14 サロンの活動上の悩みや困っていることについて教えてください。

◆サロン活動の困りごとはスタッフの高齢化と後継者不足

○前問で「悩みがある」と回答した人に悩みの内容を尋ねたところ、「スタッフの高齢化や世代の偏り」が 49.0%と最も割合が高く、「リーダーや後継者が育たない」が 47.6%となっています。

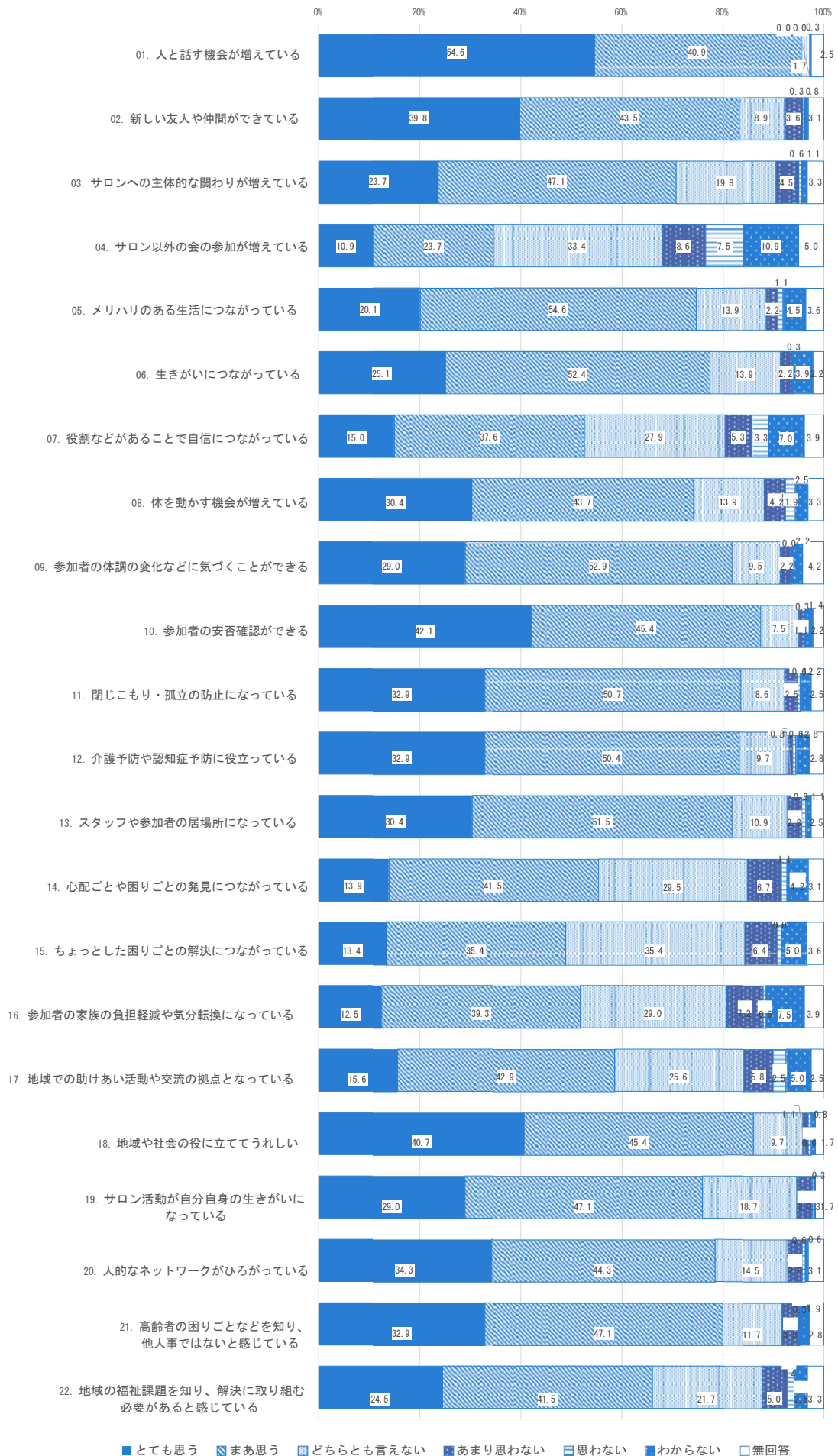


第5章 サロン活動の効果

問 15 サロン活動を通じてあなたが感じている①参加者への効果（1～8）、②サロンの効果（9～17）、③あなた自身の思い（18～22）について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

◆サロン活動の効果は、人と話す機会の増加

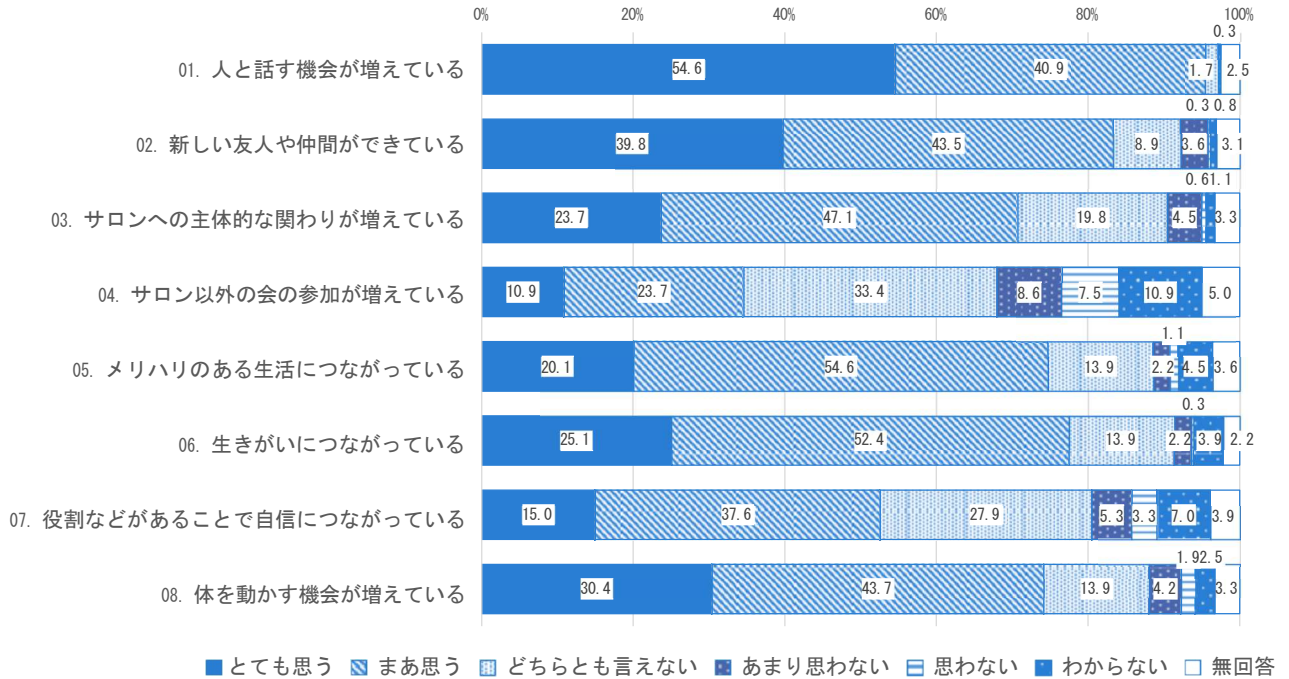
- サロン活動を通じて感じていることは、「とても思う」と「まあ思う」を合わせた“そう思う”を見ると、「01. 人と話す機会が増えている」が 95.5%で最も割合が高く、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“そう思わない”は回答がない。
- “そう思う”は「10. 参加者の安否確認ができる」(87.5%)、「18. 地域や社会の役に立ててうれしい」(86.1%)、「11. 閉じこもり・孤立の防止になっている」(83.6%)、「02. 新しい友人や仲間ができていく」(83.3%)、「12. 介護予防や認知症予防に役立っている」(83.3%)、「09. 参加者の体調の変化などに気づくことができる」(81.9%)、「13. スタッフや参加者の居場所になっている」(81.9%)、「21. 高齢者の困りごとなどを知り、他人事ではないと感じている」(80.0%)が80%を超えて高くなっている。サロン活動を通じて、様々な効果を感じている人が多い。
- “そう思わない”は「04. サロン以外の会の参加が増えている」(16.1%)が10%を超えて最も割合が高くなっている。このほかの項目はすべて10%未満となっている。



①参加者への効果

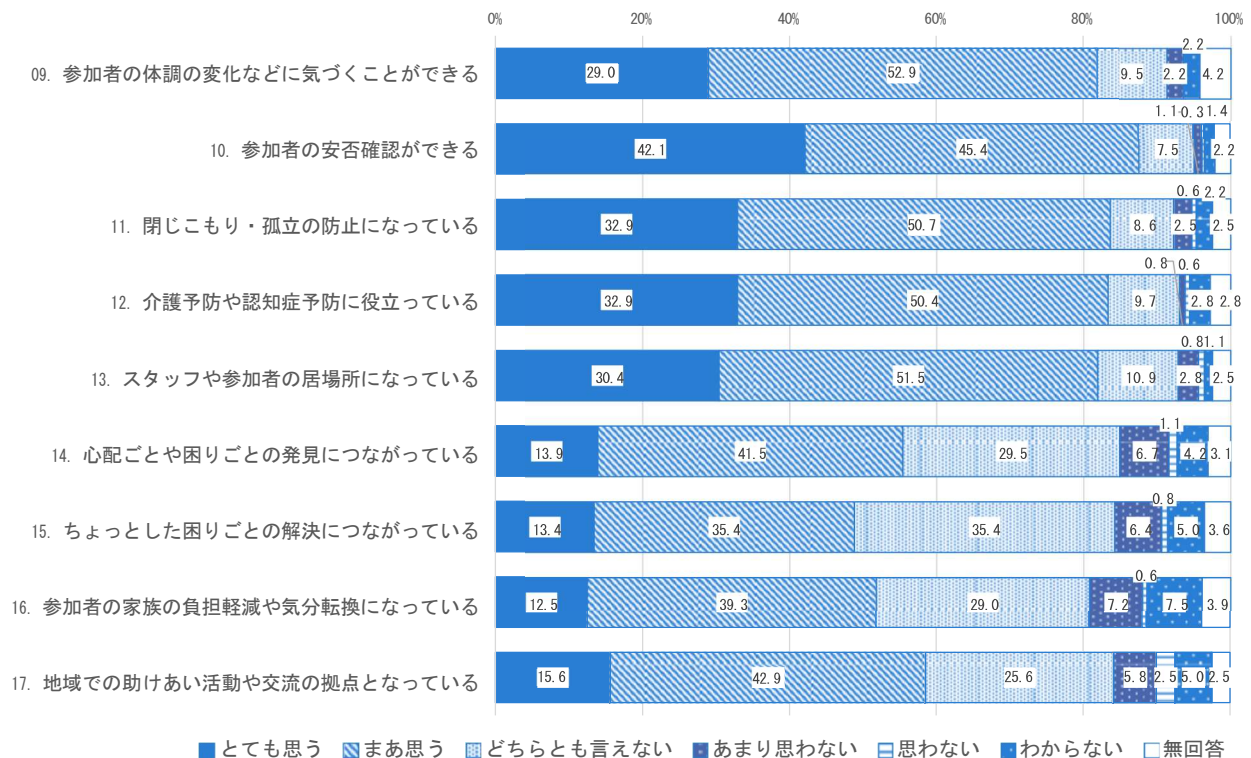
○参加者への効果をみると、“そう思う”の回答は「01. 人と話す機会が増えている」が 95.5%と最も高く、「02. 新しい友人や仲間ができています」83.3%が続いており、8 項目中 7 項目は半数以上の人が回答している。

○一方で、「04. サロン以外の会の参加が増えている」は“そう思う”が 34.6%とかなり低い。



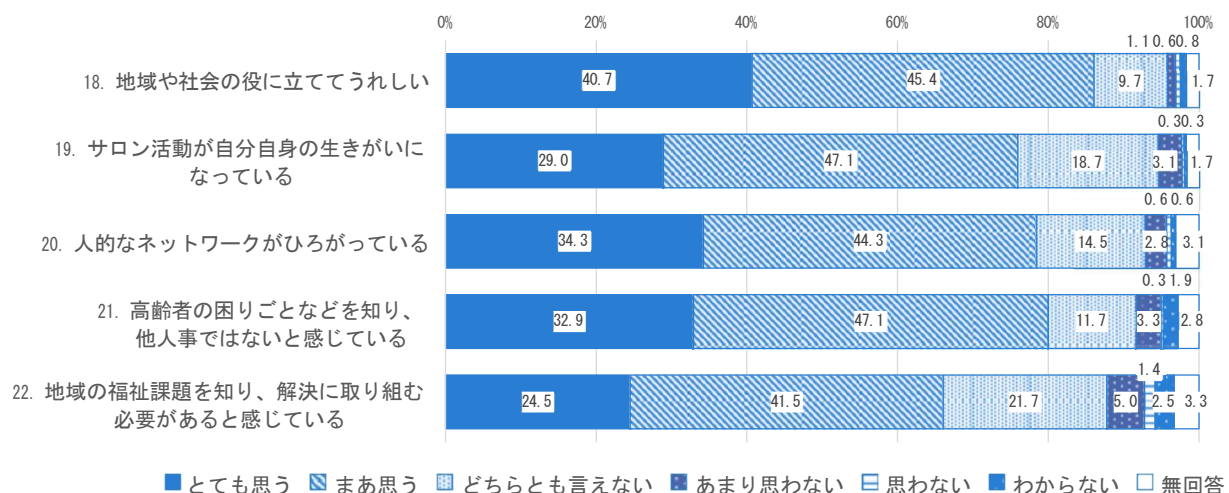
②サロンの効果

○サロンの効果をみると、“そう思う”の回答は「10. 参加者の安否確認ができる」が 87.5%と最も高く、「11. 閉じこもり・孤立の防止になっている」「12. 介護予防や認知症予防に役立っている」「09. 参加者の体調の変化などに気づくことができる」「13. スタッフや参加者の居場所になっている」は 80%以上となっており、様々な効果が実感されている。



③あなた自身の思い

○あなた自身の思いをみると、“そう思う”の回答は「18. 地域や社会の役に立ててうれしい」が 86.1%と最も高く、5 項目共に 60%以上の回答があり、様々な意義を感じている人が多い。



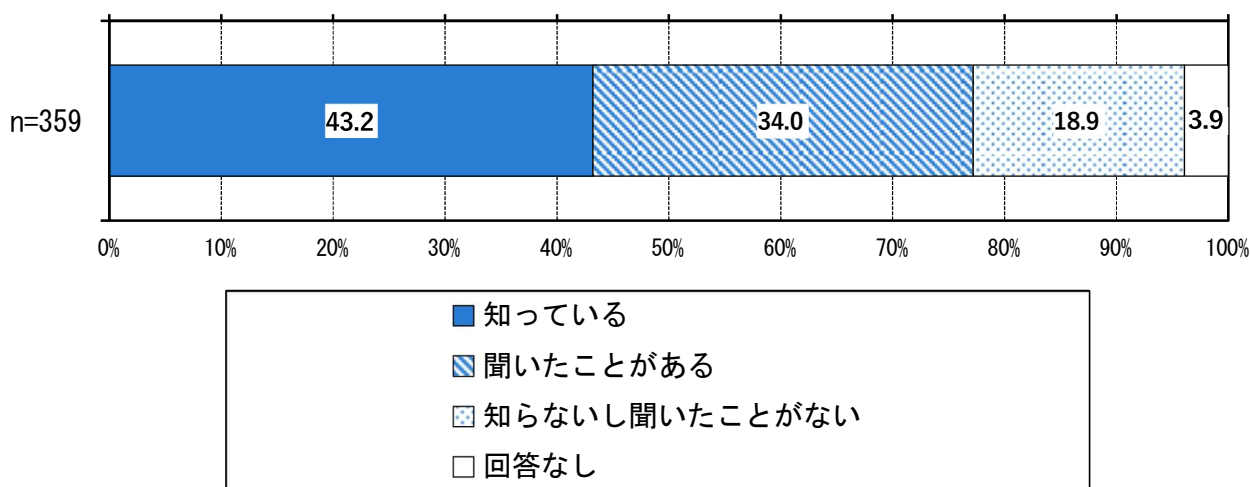
第6章 地域共生社会について

問 16 地域共生社会について知っていますか。

◆地域共生社会の認知度は 43.2%

○「地域共生社会」の言葉の認知度は、「知っている」が 43.2%と最も割合が高く、「聞いたことがある」が 34.0%となっている。

○一方、「知らないし、聞いたことがない」は 18.9%である。



問 17 サロン参加者が「支え手」となるよう、サロンとして取り組んでいることがありましたら、ご記入ください。

○参加者が「支え手」となるような取組として以下のような内容があげられています。

- ・参加者同士のお話や交流を促す。
- ・声かけや誘い合って参加する。
- ・得意なことを活かして、講師や教え合うことをする。
- ・展示会や大会を行う等サロン活動への参加の目的や意欲を高める。
- ・参加者ができることをする、片付けをするなど運営を助けてもらう。
- ・病気や障害のことなど身近な困りごと話す、聞く等をする。

など

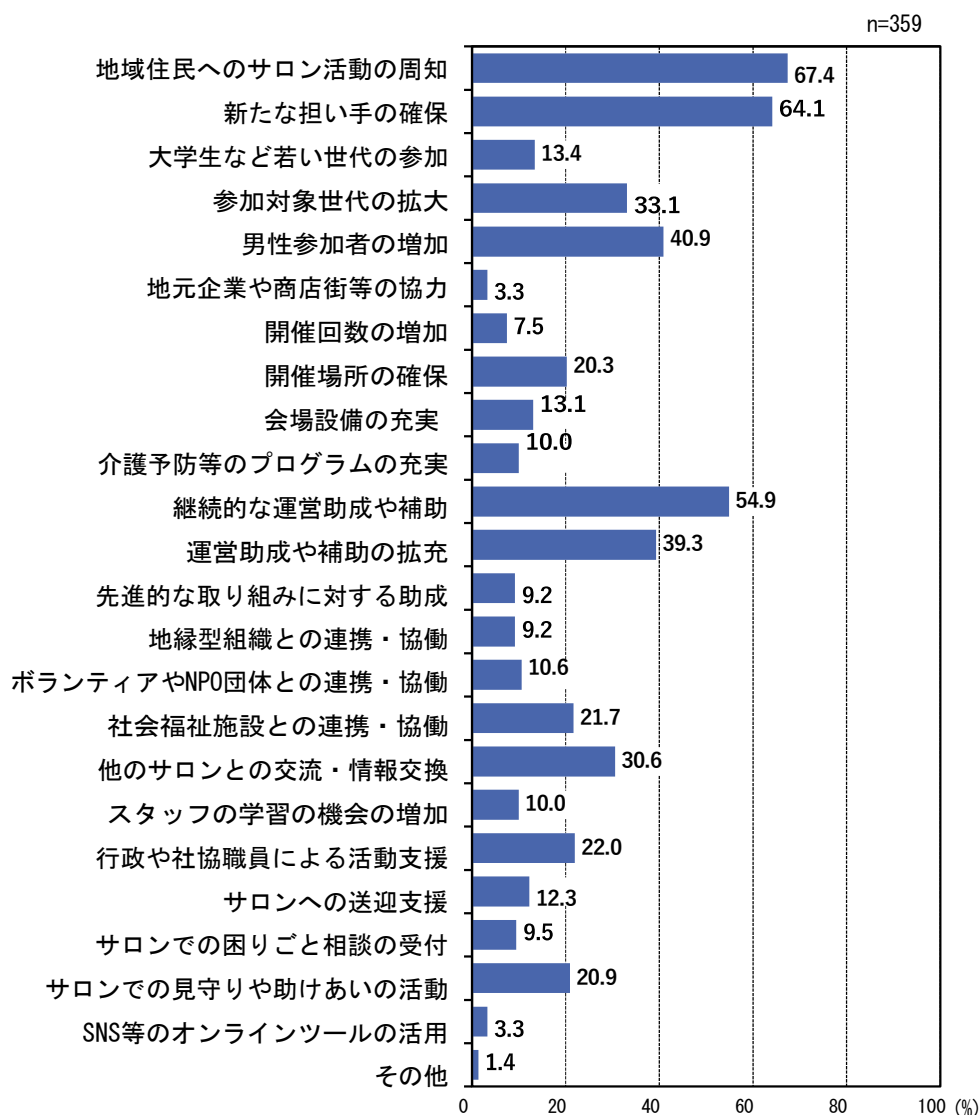
第7章 求められるサロン活動の支援策について

問 18 今後、サロン活動がより一層発展するために必要だと思うことを教えてください。

◆サロン活動が発展するためには周知と担い手の確保

○サロン活動が発展するために必要なことは「地域住民へのサロン活動の周知」が 67.4%と最も割合が高く、「新たな担い手の確保」が 64.1%、「継続的な運営助成や補助」が 54.9%と半数を超えて高くなっています。サロン活動の周知、担い手の確保、経済的な支援が求められています。

○その他には、「男性参加者の増加」「参加対象世代の拡大」「運営助成や補助の拡充」「他のサロンとの交流・情報交換」等が高くなっています。



サロン運営に関する意見

問 19 サロンを運営する中で、日ごろ感じていることがあればご自由にお書きください。

264 件の意見が出されており、主な意見を以下にまとめました。

サロンについて	<ul style="list-style-type: none"> ・運営ボランティアを確保するのが困難 ・工夫しながら行っている <p style="text-align: right;">など</p>
運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・運営者が高齢化している ・新しい担い手がない ・トラブル対応ができていない ・課題解決をしているサロンを教えてほしい ・いつまで継続できるか ・経費がかかり大変である ・助成金の使用に制限がある <p style="text-align: right;">など</p>
開催場所、会場について	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保が困難 ・エレベータを設置してほしい <p style="text-align: right;">など</p>
開催回数・頻度について	<ul style="list-style-type: none"> ・回数を増やしたいが難しい <p style="text-align: right;">など</p>
参加者について	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が固定化している ・新しい参加者がいない ・参加者が少なくなってきた ・参加者にも役割を決めて運営できるとよい ・男性の参加者が少ない ・参加者を増やしたい <p style="text-align: right;">など</p>
移動手段について	<ul style="list-style-type: none"> ・参加のための移動手段が必要 <p style="text-align: right;">など</p>
協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学区の役員の無理解、無関心がある ・地域サロンとの連携が必要 ・老人会と連携したい <p style="text-align: right;">など</p>
行政への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・会場確保の支援が必要 ・プログラムの充実のための支援がほしい ・道具などを置かせてほしい ・行政が運営を支援してほしい ・申請書類が難しい ・運営の経済的な支援をしてほしい <p style="text-align: right;">など</p>

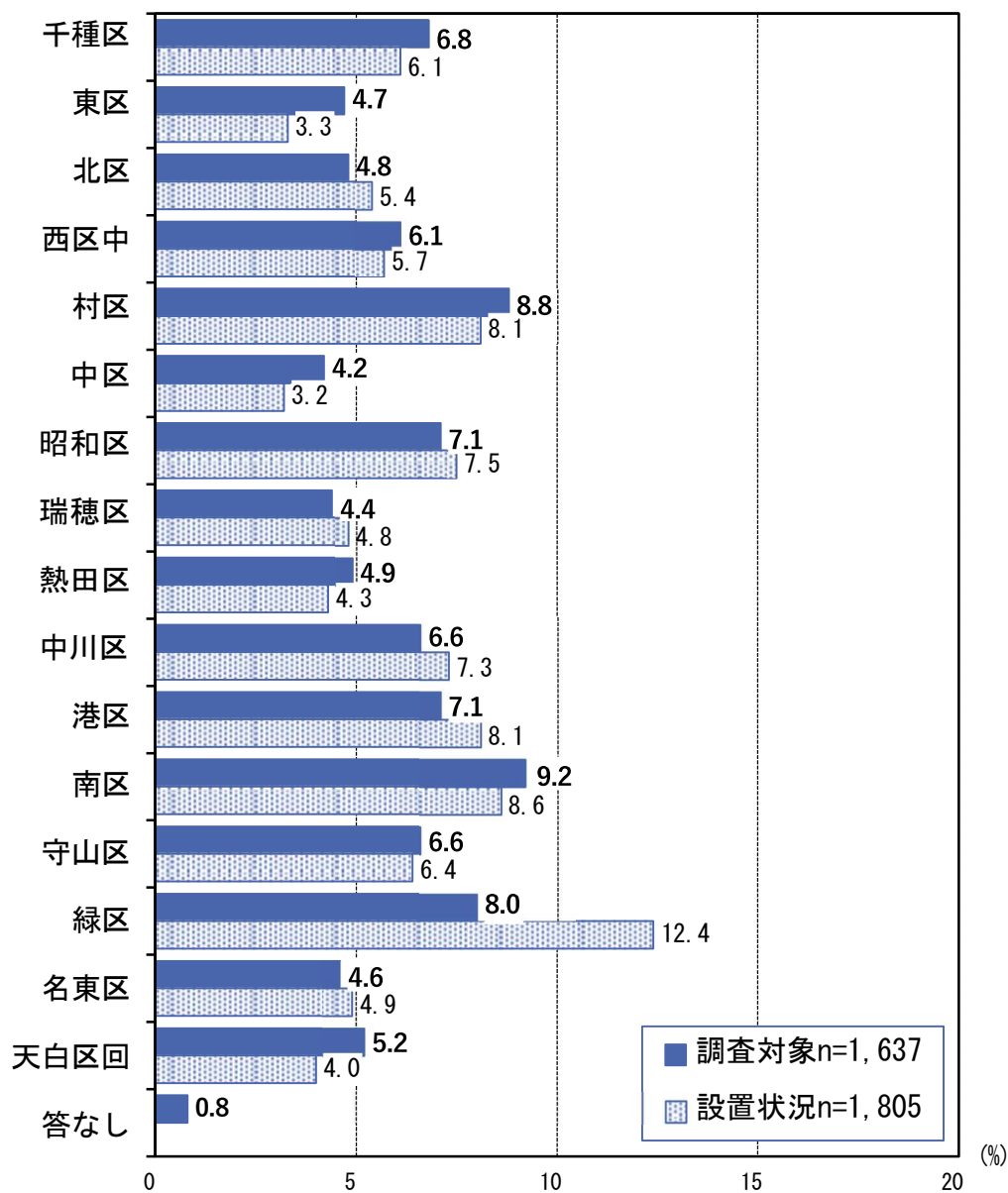
第3部 サロン参加者アンケート

第1章 サロン参加者

(1) サロンの開催地区

○参加しているサロンの開催地区は、「南区」が9.2%と最も割合が高く、「中村区」8.8%、「緑区」8.0%と続いています。

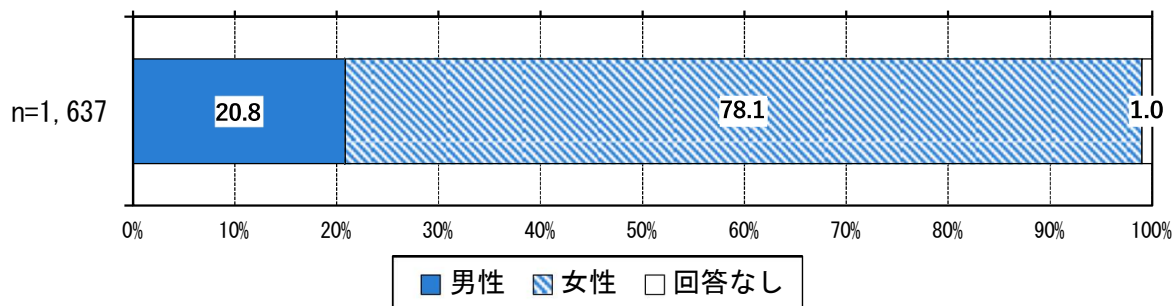
○今回の調査対象と設置状況を比較すると、緑区は調査対象の比率がやや低くなっています。



(2) 性別

◆参加者の性別は 78.1%が女性

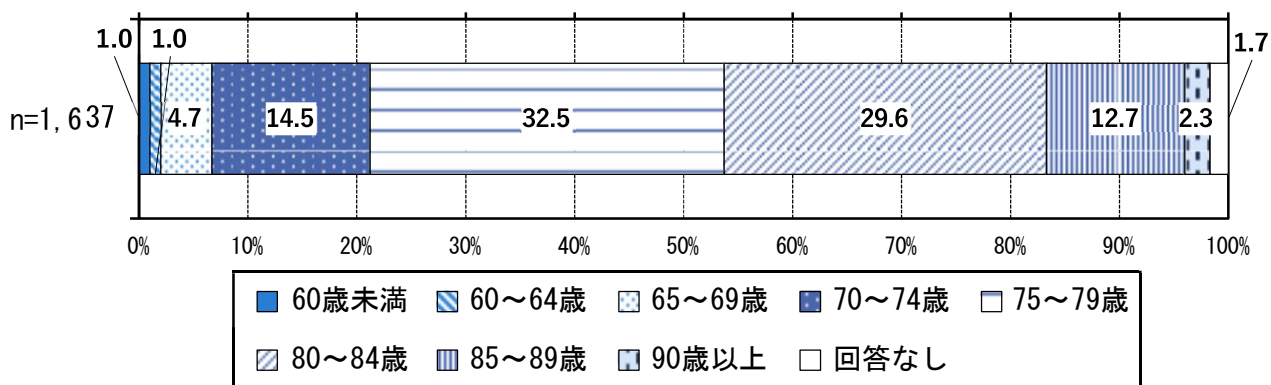
○サロン参加者の性別は、「女性」が 78.1%と「男性」20.8%に比べてかなり割合が高くなっています。



(3) 年齢

◆参加者の年齢は 70 歳以上が 91.6%

○参加者の年齢は「75～79 歳」が 32.5%と最も割合が高く、「80～84 歳」が 29.6%、「70～74 歳」が 14.5%、「85～84 歳」が 12.7%と続いています。70 歳以上が 91.6%を占めています。

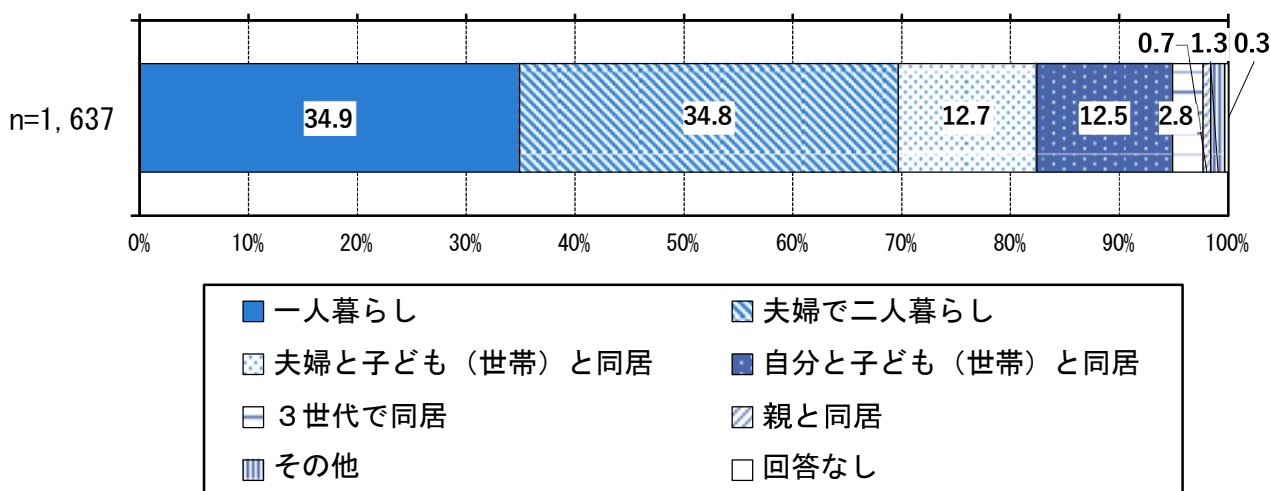


(4) 家族構成

◆一人暮らしが 34.9%、夫婦二人暮らしが 34.8%

○参加者の家族構成は「一人暮らし」が34.9%と最も割合が高く、「夫婦で二人暮らし」が34.8%と高くなっています。

○子ども世帯と同居しているのは 28.0%です。



(5) 介護認定区分

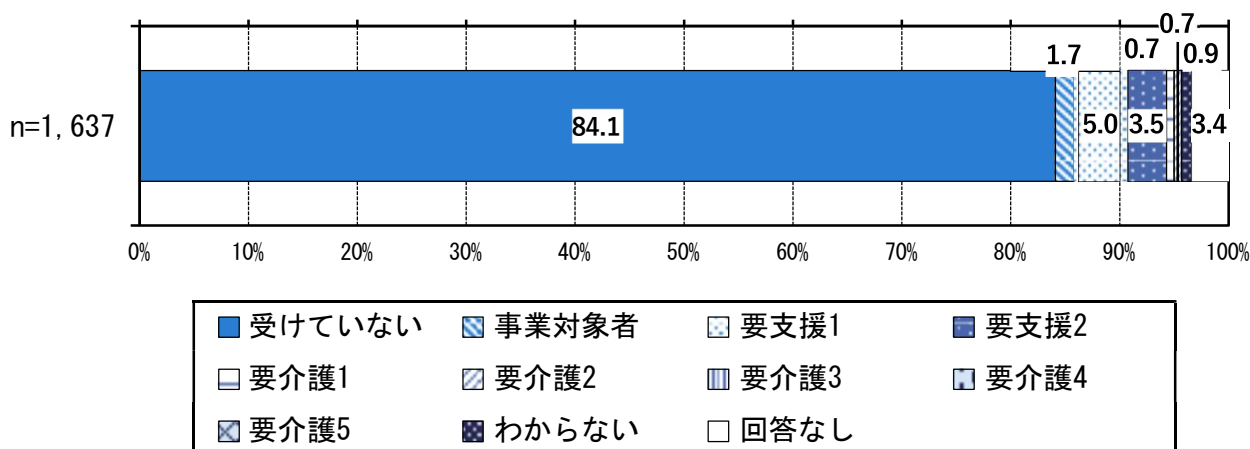
◆要介護認定区分は、「受けていない」が 84.1%

○要介護認定区分は、「受けていない」が 84.1%と最も割合が高くなっています。

○「要支援 1」「要支援 2」は合わせて 8.5%、「要介護 1」「要介護 2」は合わせて 1.4%です。

○要介護 3 以上の重度の方はいませんでした。

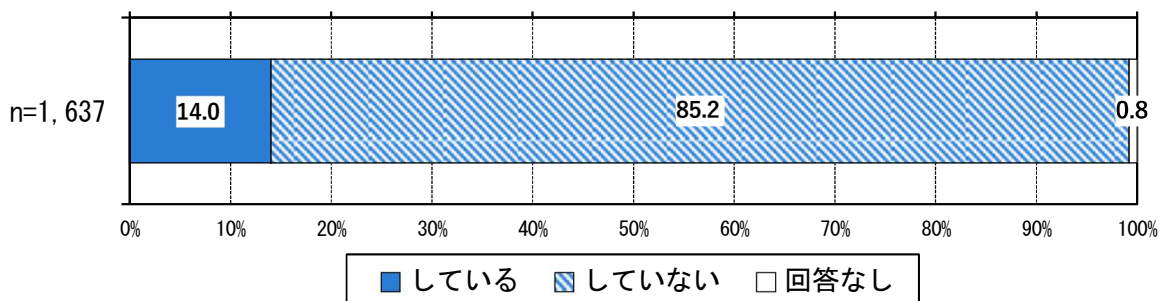
○サロンの参加者は比較的元気な高齢者が多いことがわかります。



(6) 仕事

◆仕事をしている人は14.0%

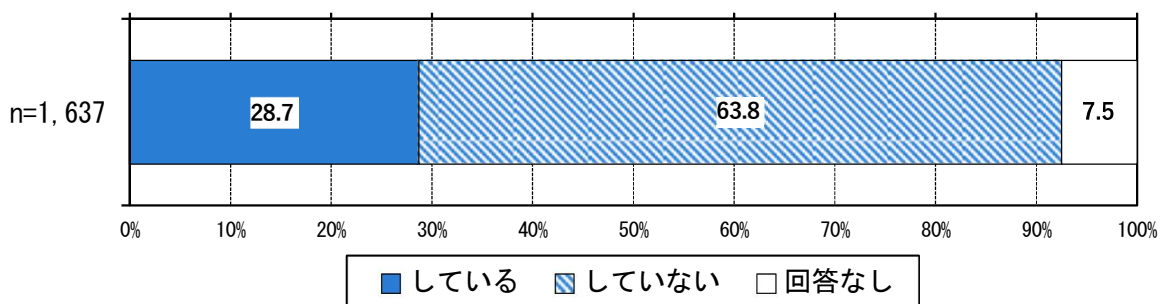
○仕事については、「していない」が85.2%で最も割合が高く、「している」は14.0%となっています。



(7) SNSの使用状況

◆SNSを使用している人は28.7%

○SNSの使用状況は、「している」が28.7%、「していない」が63.8%となっています。

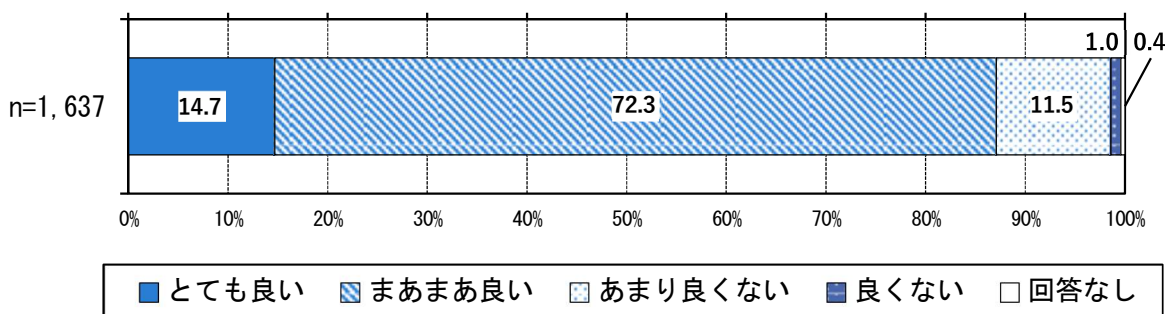


(8) 現在の健康状態

◆健康状態が良い人は87.0%

○参加者の健康状態は、「まあまあ良い」が72.3%と最も割合が高く、「とても良い」14.7%と合わせた“良い”は87.0%を占めています。

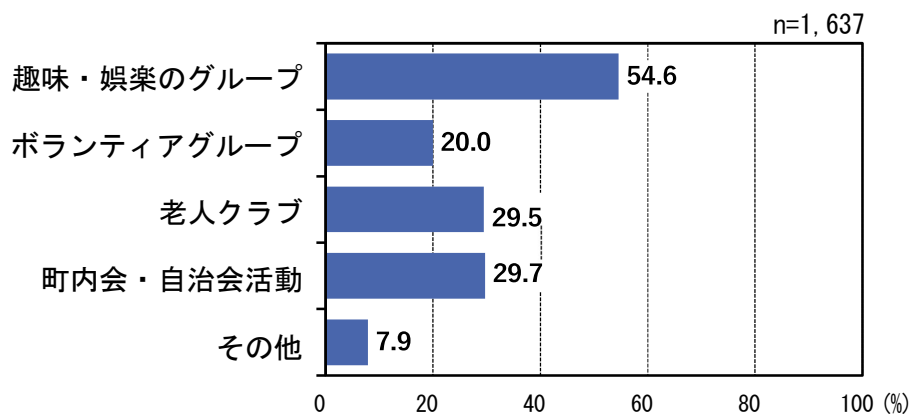
○「あまり良くない」が11.5%、「良くない」が1.0%で合わせた“良くない”は12.5%となっています。



(9) 参加している活動

◆サロン以外にしている活動は 54.6%が趣味・娯楽のグループ

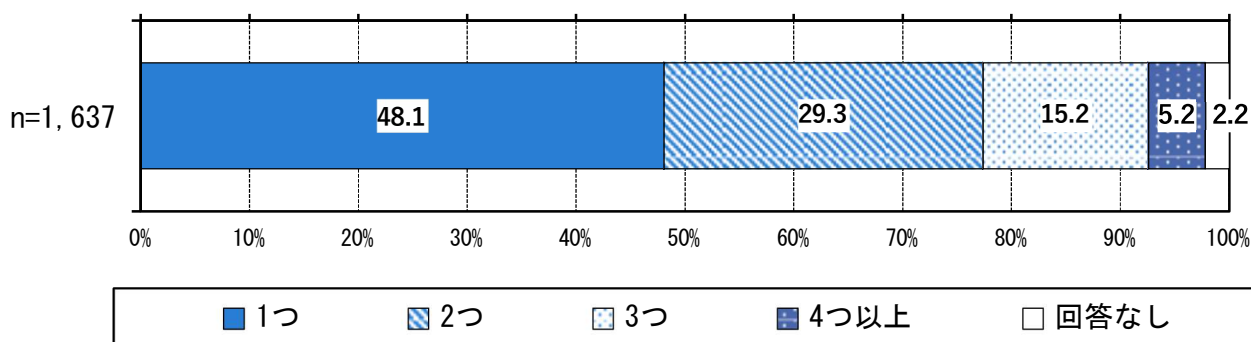
○サロン活動以外に参加している活動は、「趣味・娯楽のグループ」が 54.6%で半数以上を占めており、「町内会・自治会活動」が 29.7%、「老人クラブ」が 29.5%といった地域の活動が続いています。



(10) 参加しているサロンの数

◆参加しているサロンの数は複数が 49.7%

○参加しているサロンの数は、「1つ」が48.1%と最も割合が高くなっていますが、「2つ以上」が49.7%とほぼ半数を占めています。複数の活動を活発にしている様子が見えます。



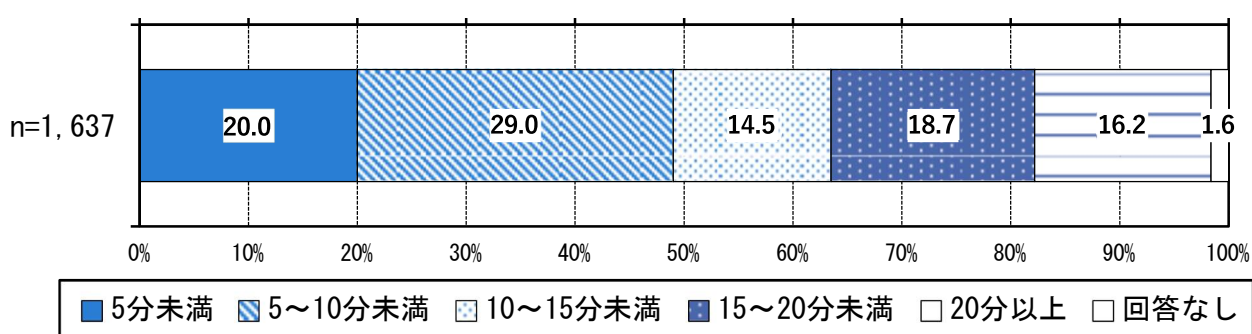
第2章 参加しているサロンの状況

(1) サロンまでの移動時間

問2 自宅からサロン会場まで、徒歩による片道の移動時間を教えてください。

◆ ほぼ半数が徒歩 10 分以内の移動時間

○自宅からサロンまでの片道の移動時間は、「5～10分未満」が 29.0%と最も割合が高くなっており、「5分未満」20.0%を合わせると 49.0%、ほぼ半数が徒歩 10 分以内の移動時間となっています。



(2) サロンまでの移動手段

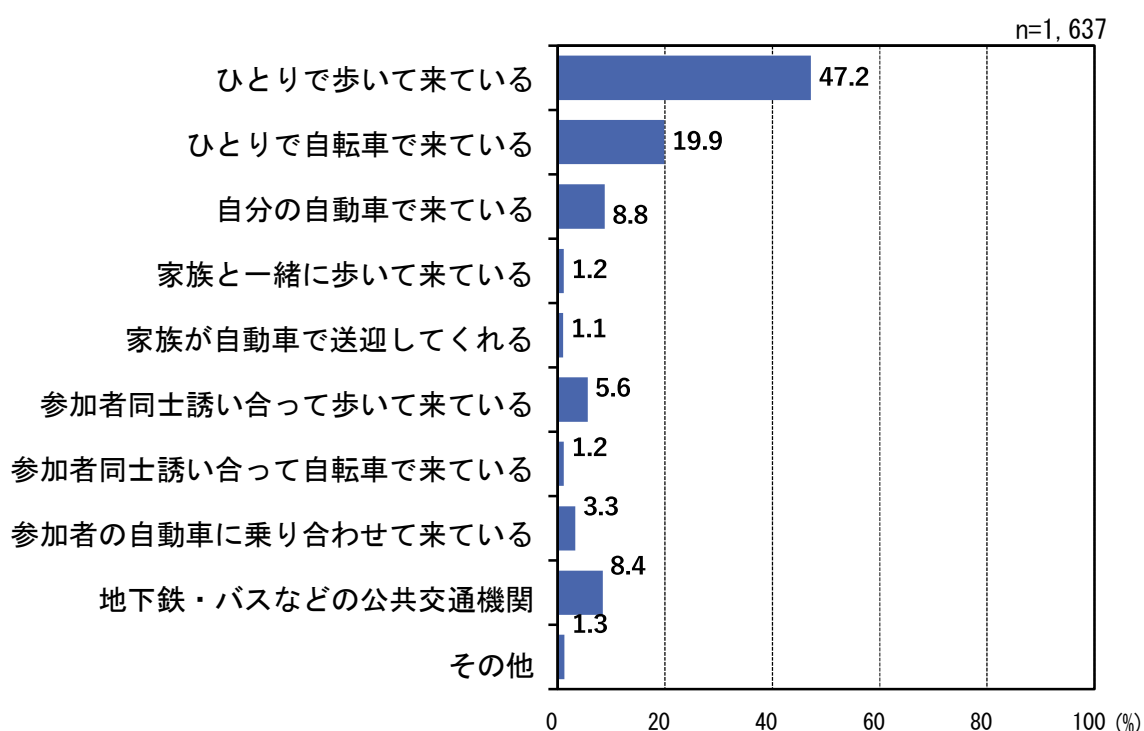
問 3 サロン会場までの1番多い移動手段を教えてください。

◆サロンまでひとりで歩いて来ている人が47.2%

○サロンまでの移動手段は、「ひとりで歩いて来ている」が47.2%と最も割合が高くなっています。

○「ひとりで歩いて来ている」に加えて、「家族と一緒に歩いて来ている」(1.2%)、「参加者同士誘い合って歩いて来ている」が5.6%で“歩いて来ている”は54.0%と半数を超えています。

○家族や参加者に同乗させてもらっている人は4.4%です。



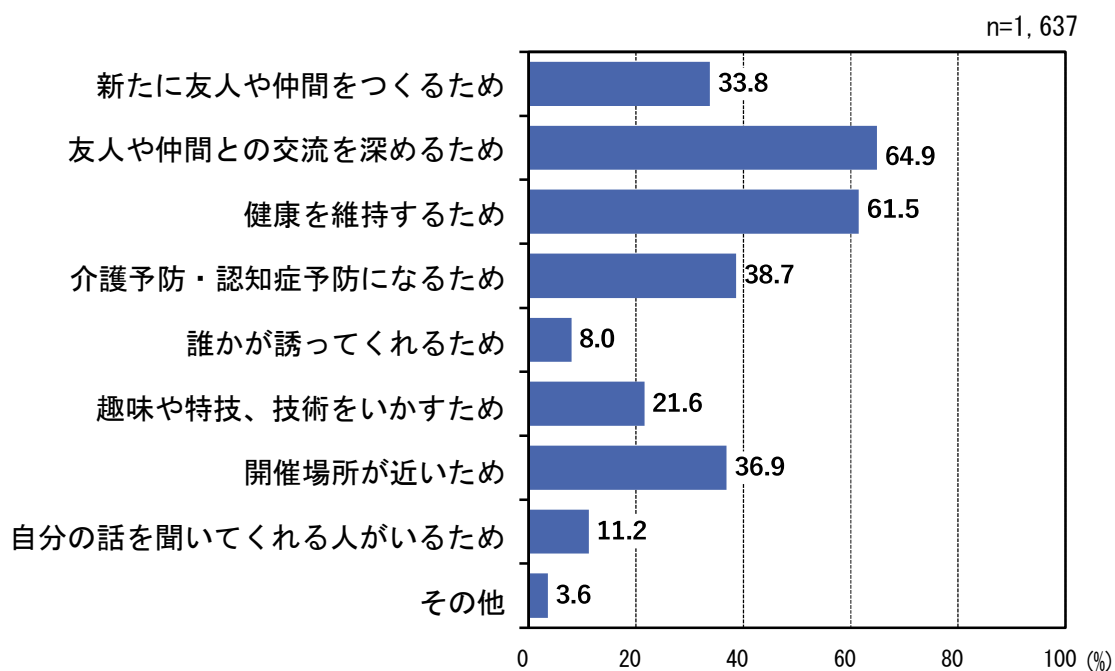
(3) サロンに参加する理由

問 4 あなたがサロンに参加する理由を教えてください。

◆サロンに参加する理由は、友人との交流と健康維持が多い

○サロンに参加する理由は、「友人や仲間との交流を深めるため」が 64.9%と最も割合が高く、「健康を維持するため」61.5%が続いています。

○人との交流や健康維持が理由としてあげられています。



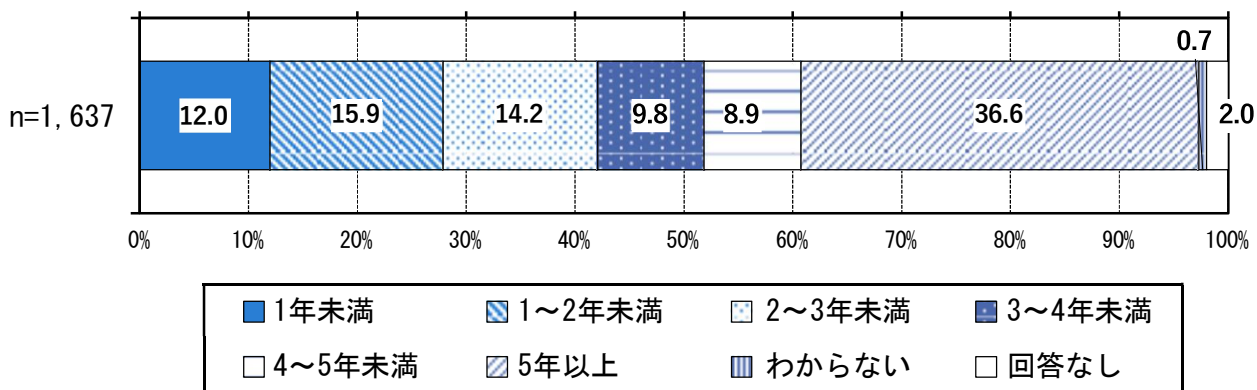
(4) サロンの経験年数

問 5 サロンに参加し始めてから何年経過したか教えてください。

◆サロンの経験年数は 5 年以上が 36.6%

○サロンの経験年数は、「5 年以上」が 36.6%と最も割合が高くなっています。

○年数ごとそれぞれ 10%前後となっています。



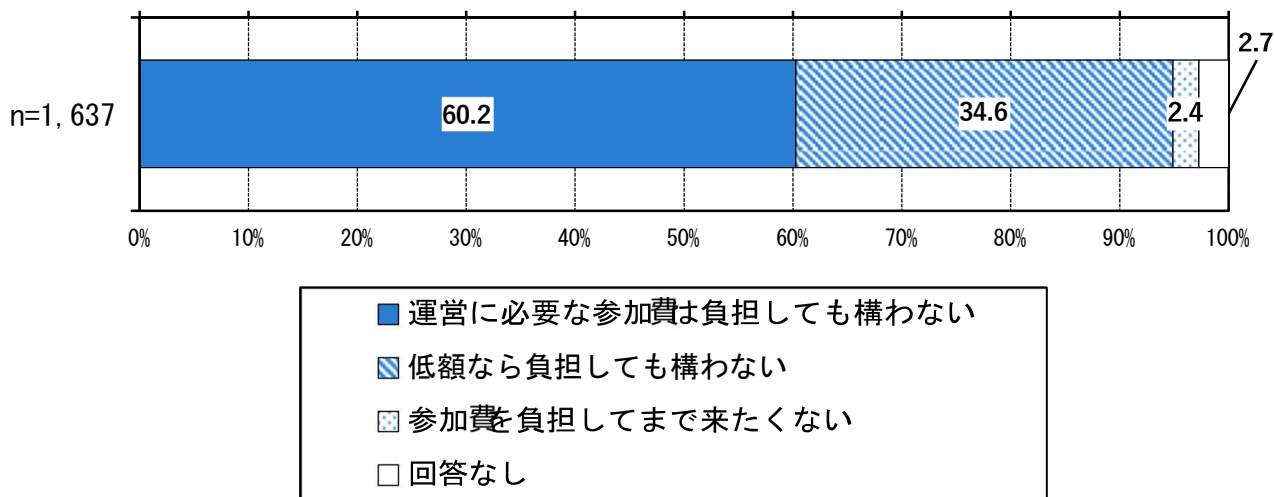
(5) サロンの参加費について

問 6 サロン参加費(会 費)について、あなたの考えに 1 番近いものを教えてください。

◆サロンの参加費については応分の負担が 60.2%

○サロンの参加費についての考えは、「運営に必要な参加費は負担しても構わない」が 60.2%で最も割合が高く、「低額なら負担しても構わない」が 34.6%で続いています。金額の多寡はありますが、「負担しても構わない」とする意見が多くを占めています。

○一方「参加費を負担してまで来たくない」は 2.4%となっています。



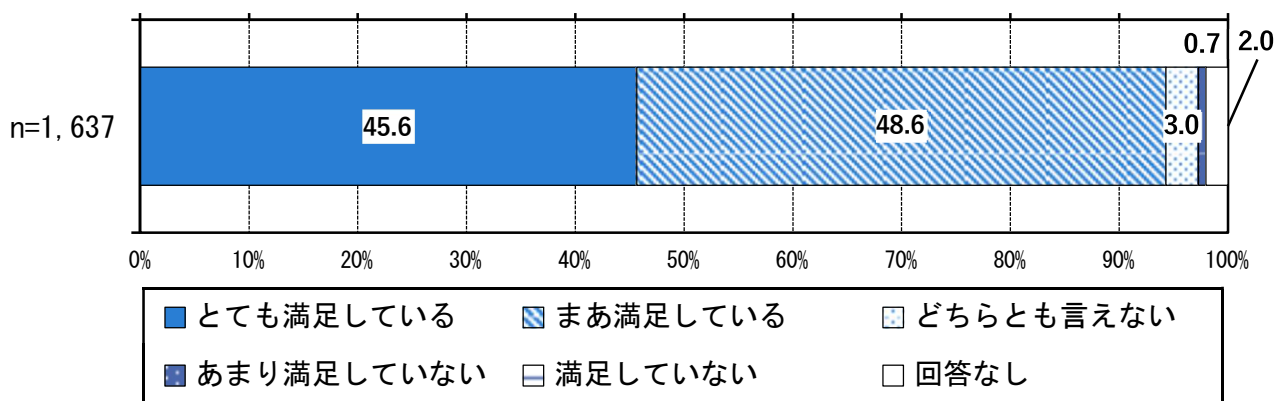
(6) サロンの満足度

問 7 サロンに対する満足度について、あなたの考えに 1 番近いものを教えてください。

◆サロンに“満足”は 94.2%

○サロンに対する満足度は「とても満足している」45.6%、「まあ満足している」48.6%を合わせた“満足”は 94.2%を占めています。

○「満足していない」の回答はなく、「あまり満足していない」が 0.7%とわずかながらあります。

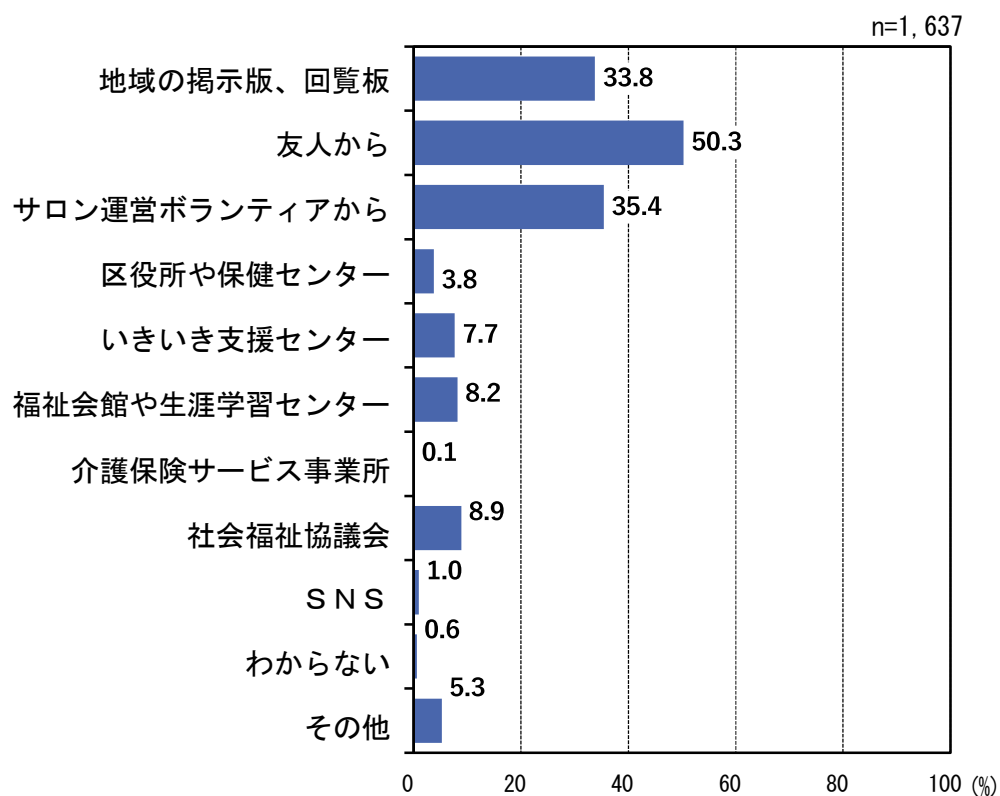


(7) サロンに関する情報入手方法

問8 サロンの情報をどのように入手しているか教えてください。

◆サロン情報の入手方法は口コミが半数

- サロン情報の入手方法は、「友人から」が 50.3%と半数を占め、口コミが有力な情報源であることがわかります。
- 「サロン運営ボランティアから」が 35.4%、「地域の掲示板、回覧板」が 33.8%と口コミや身近な情報源からの情報入手がほとんどであることがわかります。

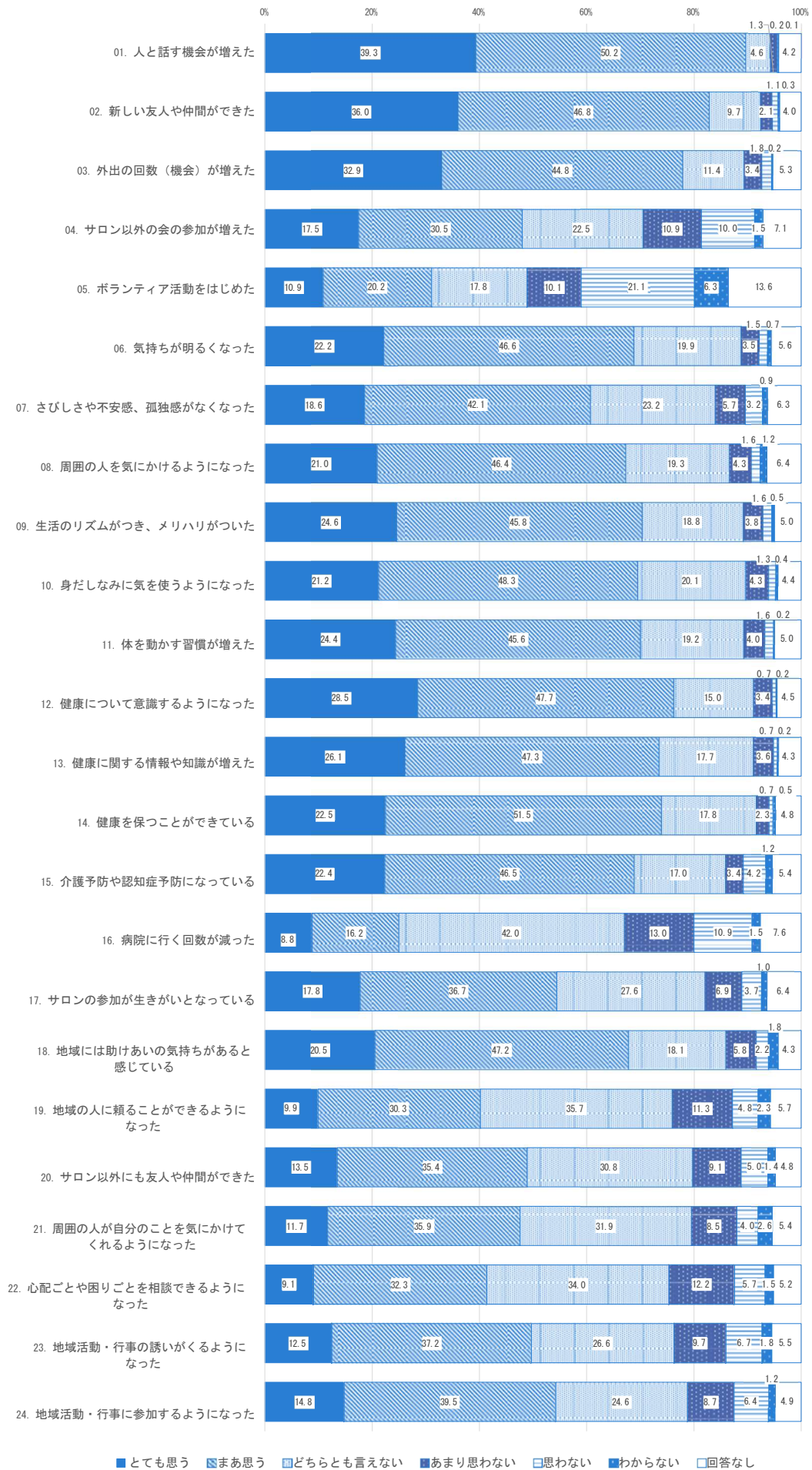


第3章 サロン参加の効果

問 9 サロンへの参加を通じて感じている①自分自身の変化と②地域とのつながりについて、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

◆サロン参加の効果は人と話す機会の増加と新しい交友関係

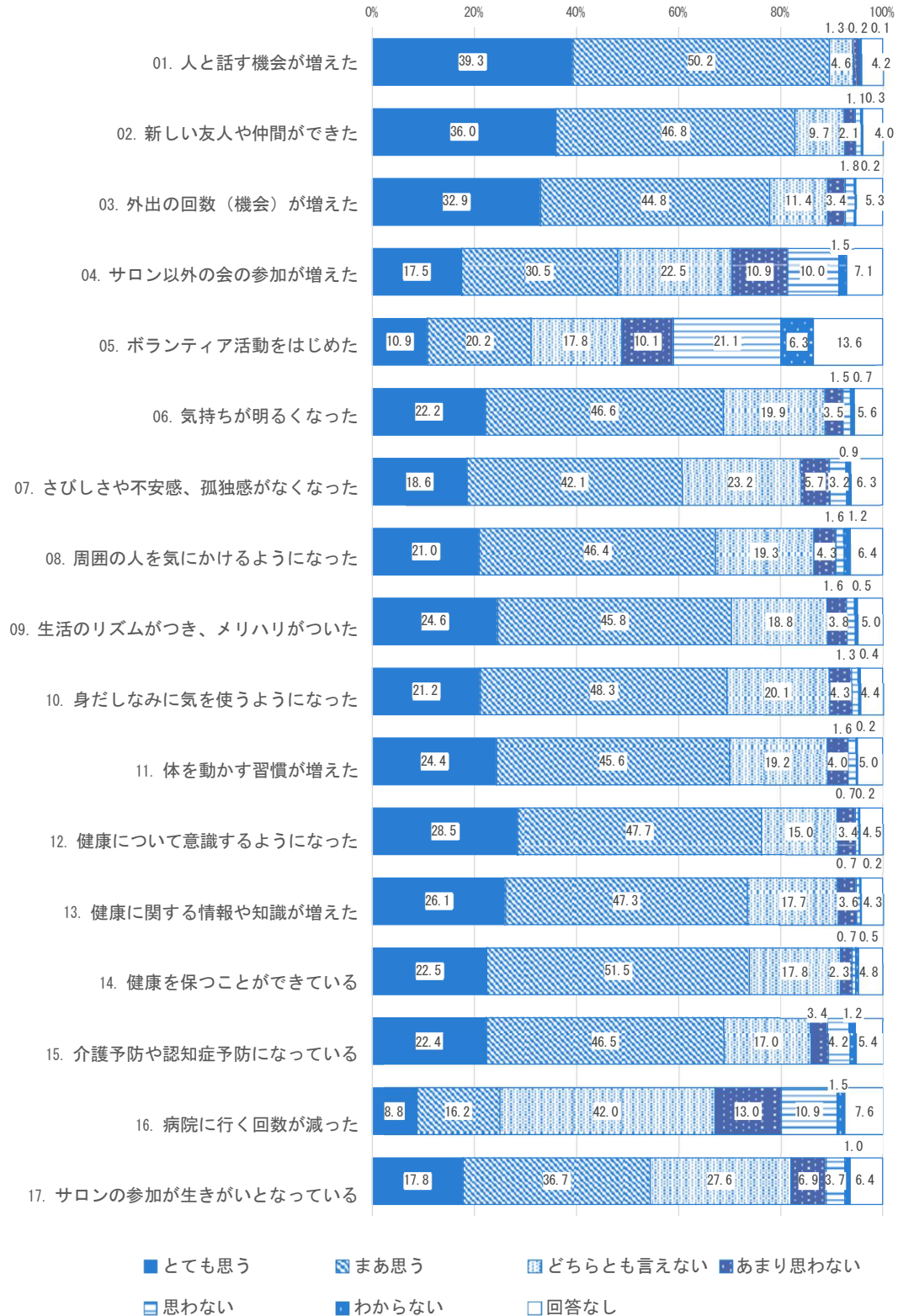
- サロン参加の効果は、「01. 人と話す機会が増えた」が「とても思う」39.3%、「まあ思う」50.2%を合わせた“そう思う”が89.5%と最も割合が高く、「02. 新しい友人や仲間ができた」は82.8%と続いています。
- 「とても思う」「まあ思う」を合わせた“そう思う”は、「03. 外出の回数（機会）が増えた」（77.7%）、「02. 健康について意識するようになった」（76.2%）、「04. 健康を保つことができる」（74.0%）、「03. 健康に関する情報や知識が増えた」（73.4%）、「09. 生活のリズムが付き、メリハリがついた」（70.4%）、「11. 体を動かす習慣が増えた」（70.0%）が70%を超えて高くなっています。
- 一方、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“そう思わない”が高い項目は「05. ボランティア活動をはじめた」31.2%、「16. 病院に行く回数が減った」（23.9%）、「04. サロン以外の会の参加が増えた」（20.9%）が続いています。



①自分自身の変化

○自分自身の変化で、“そう思う”が高い項目は、「01.人と話す機会が増えた」89.5%が最も高く、「02.新しい友人や仲間ができた」82.8%が続いており、17項目中14項目が60%を超えて様々な変化を感じている人が多い。

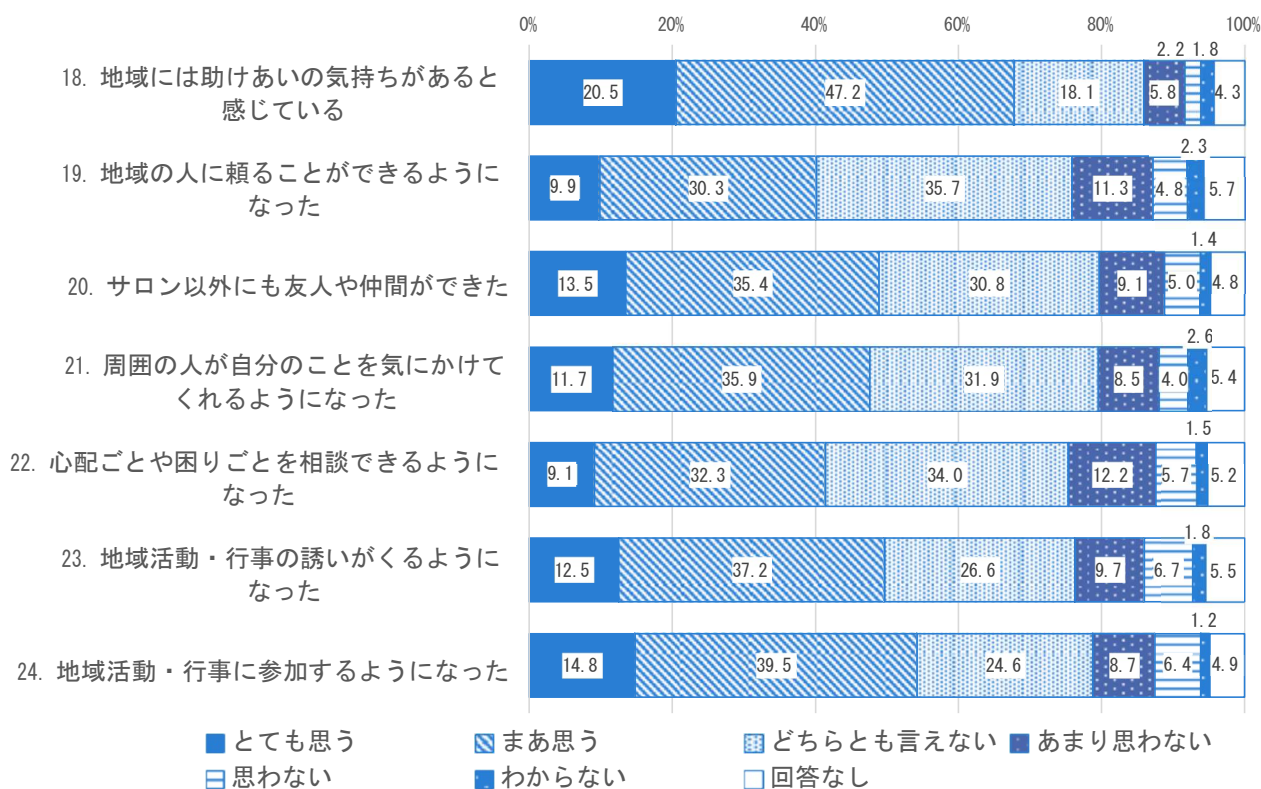
○一方、「16.病院に行く回数が減った」はどちらともいえないが42.0%と最も高く、効果を実感できている比率がかなり低い。



②地域とのつながり

○参加者自身の思いで、“そう思う”が高い項目は「18. 地域には助けあいの気持ちがあると感じている」が 67.7%と最も高く、「24. 地域活動・行事に参加するようになった」54.3%となっている。

○一方、サロン以外の友人等ができた、心配ごとが相談できるようになった、周囲が気にかけてくれるようになった、地域行事の誘いが来るようになった、地域の人を頼れるようになったなどは“そう思う”が半数に満たない。



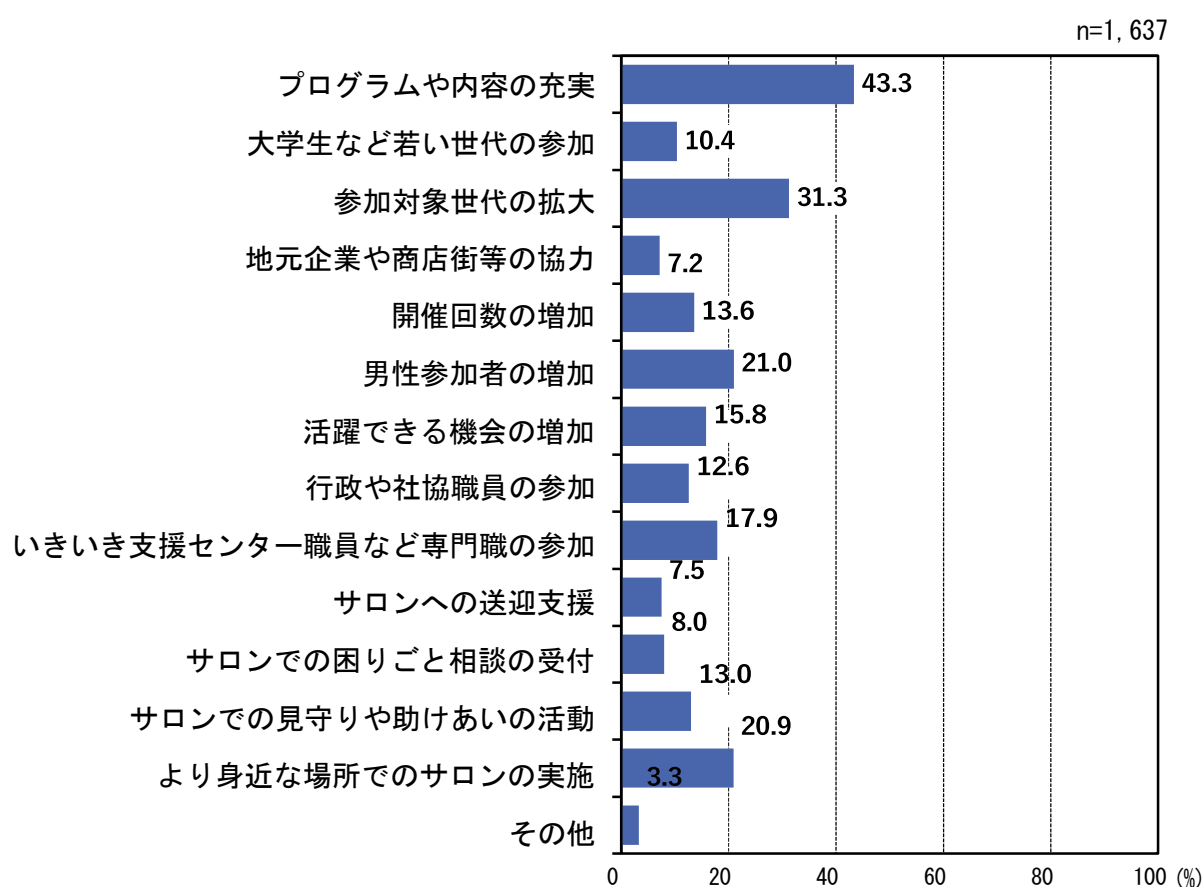
第4章 日常の行動や感じていること

(1) サロン活動を充実するために必要なこと

問 10 今後、サロン活動をより一層充実するために 必要だと思うことを教えてください。

◆サロン活動充実にはプログラムの充実と参加者の世代拡大

○サロン活動を充実するために必要なことは「プログラムや内容の充実」が 43.3%と最も割合が高く、「参加対象世代の拡大」が 31.3%が続いています。



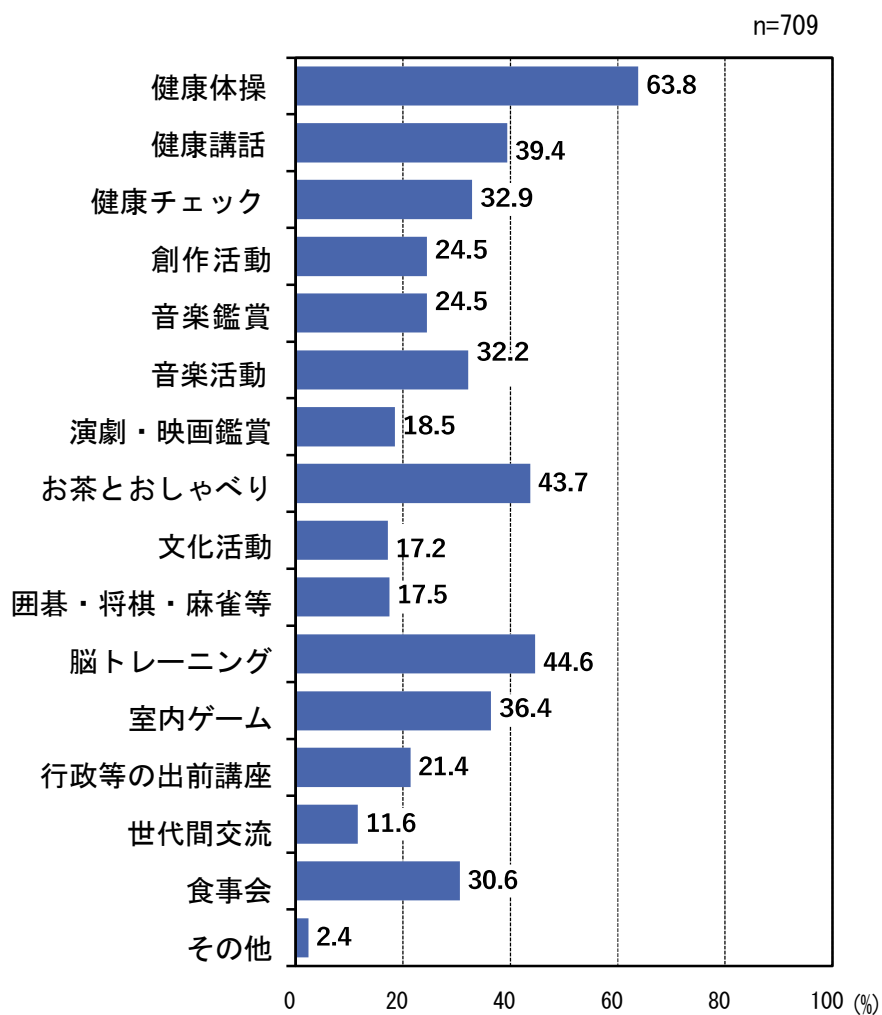
(2) 充実してほしいプログラム

問 11 どのようなプログラムや内容が良いと思われるか教えてください。

◆充実してほしいプログラムは健康体操と脳トレ、お茶とおしゃべり

○充実してほしいプログラムとして、「健康体操」が 63.8%で最も割合が高く、「脳トレーニング」が 44.6%、「お茶とおしゃべり」43.7%が続いています。

○ほとんどの項目で 10%以上の回答があり、多様な活動が求められています。



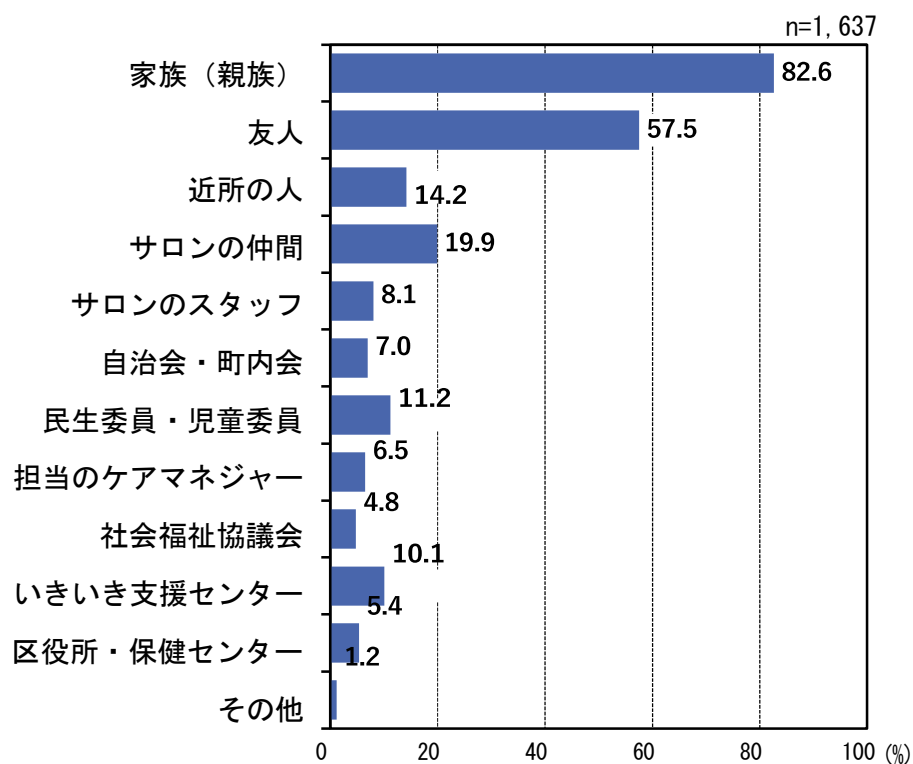
(3) 相談相手

問 12 日頃、困りごとがあった時に誰に相談するか教えてください。

◆相談相手としてサロンの仲間が 19.9%、サロンスタッフは 8.1%

○参加者の困りごとの相談相手は、「家族（親族）」が 82.6%と最も割合が高く、「友人」57.5%と続いています。

○「サロンの仲間」が 19.9%、「サロンのスタッフ」が 8.1%であり、サロンのつながりが身近な頼れる存在として認識されています。



(4) 日頃感じていること

問 13 サロンに参加する中で、日ごろ感じていることがあればご自由にお書きください。

664 件の意見が出されており、主な意見を以下にまとめました。

サロンについて (12 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しく過ごせる場 ・ 役員の方はじめ、参加している皆さんとても明るく親切で楽しいサロン ・ サロンをやめる話が出ているので、他に行けるところがほしい など
サロンへの要望 (19 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長く続けてほしい。 ・ より良い方向に向けていけるとよい ・ 人数が増えるとよい ・ もっと安い料金でやってほしい など
サロンに関する PR (12 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと知ってもらえる機会が必要 ・ わかりやすく知らせてほしい など
運営について (24 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営をする人の負担が大きい ・ 役員のなり手がいない ・ 補助金を増やしてほしい など
開催場所、会場について (30 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所が少ない ・ もう少し広いとよい ・ 場所の確保が大変 ・ 使用料が高い など
開催回数・頻度について (14 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回数を増やしてほしい など
参加者について (57 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が少ない ・ 参加者が固定化して先細りが心配 ・ 高齢の方の参加が減っている ・ 男性/女性の参加が少ない ・ 若い人に参加してほしい ・ ひきこもりの人を参加させたい ・ 参加者が増えた など
プログラムについて (53 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムの内容を増やしてほしい ・ 楽しく参加している ・ マンネリ化していて残念である など
行政への要望 (6 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具を置かせてほしい ・ 参加者の送迎を支援してほしい ・ 出前講座で支援してほしい など

第3編 今回調査のまとめ

(1) サロンの実施体制の状況

2015年度～2025年度に実施したサロン実態把握調査の結果からサロンの実施状況、実施体制に関する経年変化をまとめました。

長く活動しているサロンがある一方で、活動年数が短いサロンの割合が低くなっていることから、新しくできるサロンが減っている、少なくなっている様子がうかがえます。

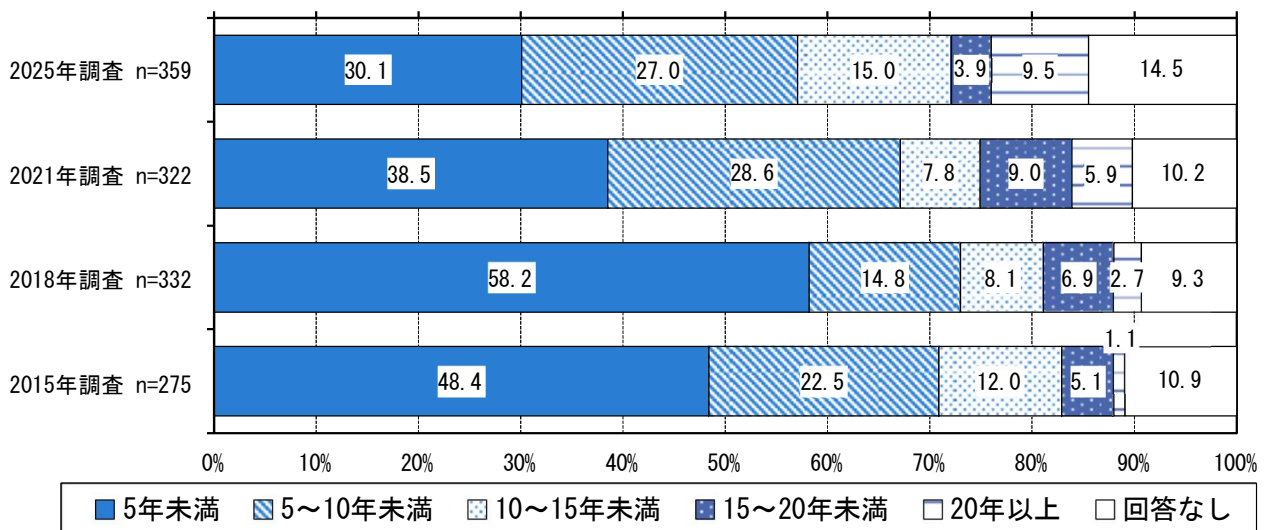
また、サロンの代表者の年齢が上がっていることから、代表者の世代交代が課題になっていることが明らかです。

ボランティアの人数や参加者の状況については、新型コロナウイルス感染拡大期には、参加者が少なくなった状況がありましたが、2025年にはコロナ禍以前の状況に戻っています。このため、2015年と2025年では人数に大きな差がない状況にあります。

①活動年数

活動年数をみると、2015年、2018年は「5年未満」が半数程度を占めている、2021年、2025年は「5年未満」がかなり低く、「5～10年」「20年以上」は比率が高くなっています。

継続して続くサロンが多くなっていることがうかがえますが、一方で「5年未満」の新しいサロンが少なくなっています。

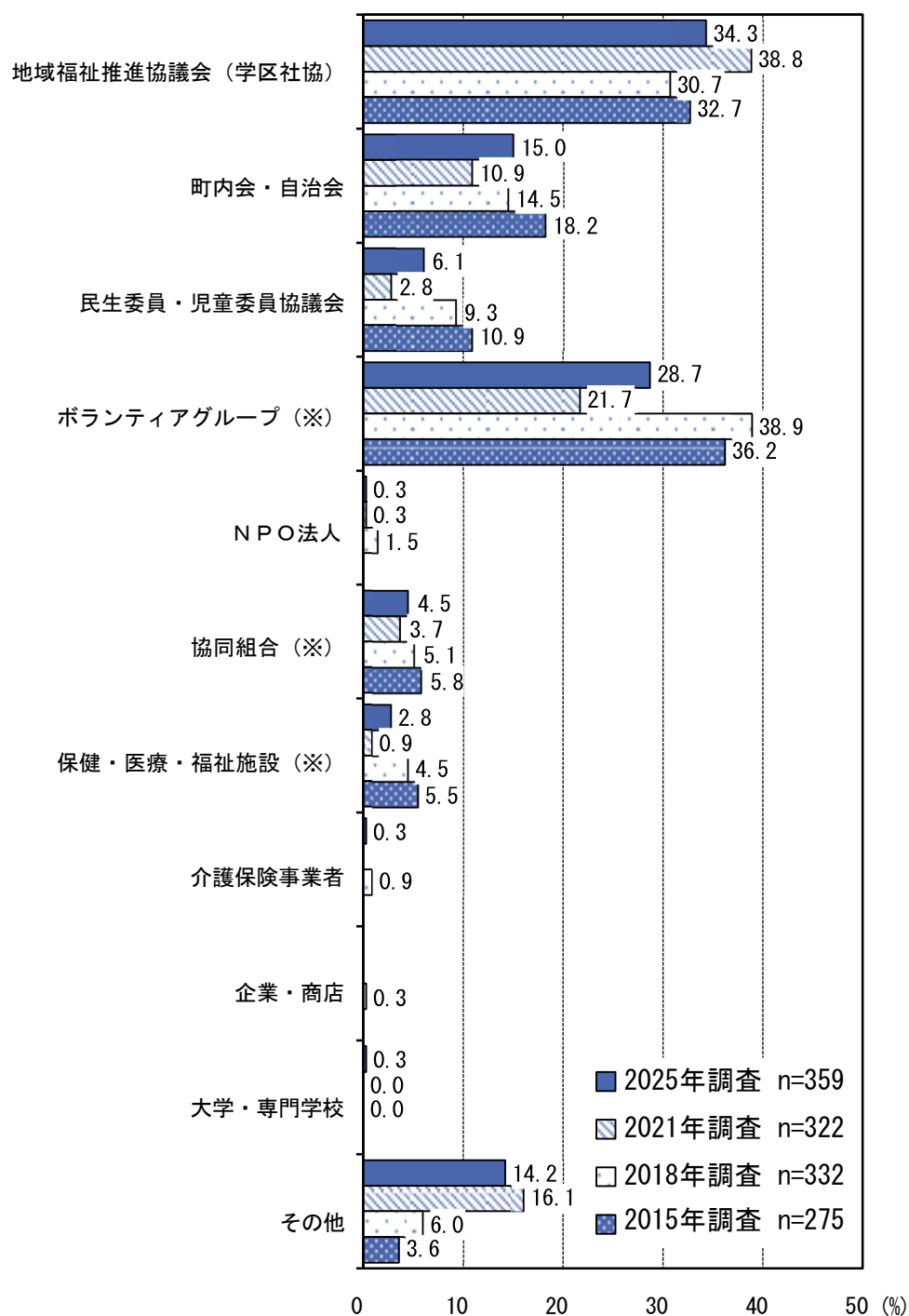


②運営母体

運営母体は、選択肢が異なります（※）。2015年、2018年には、「ボランティアグループ（NPO法人や個人等を含む）」が最も高くなっています。2025年は「地域福祉推進協議会（学区社協）」が最も高く、経年でみても高い傾向にあります。

「町内会・自治会」は減少傾向でしたが、2025年にはやや高くなっています。

2021年、2025年は「その他」の割合が高くなっており、多様な運営主体が増えていることがうかがえます。



※2015年・2018年は「ボランティアグループ」は「ボランティア・NPO法人」、「協同組合」は「協同組合・企業・商店」となっている。また「個人・住民」が「ボランティア」に、「老人会」は「町内会・自治会」に追加している。

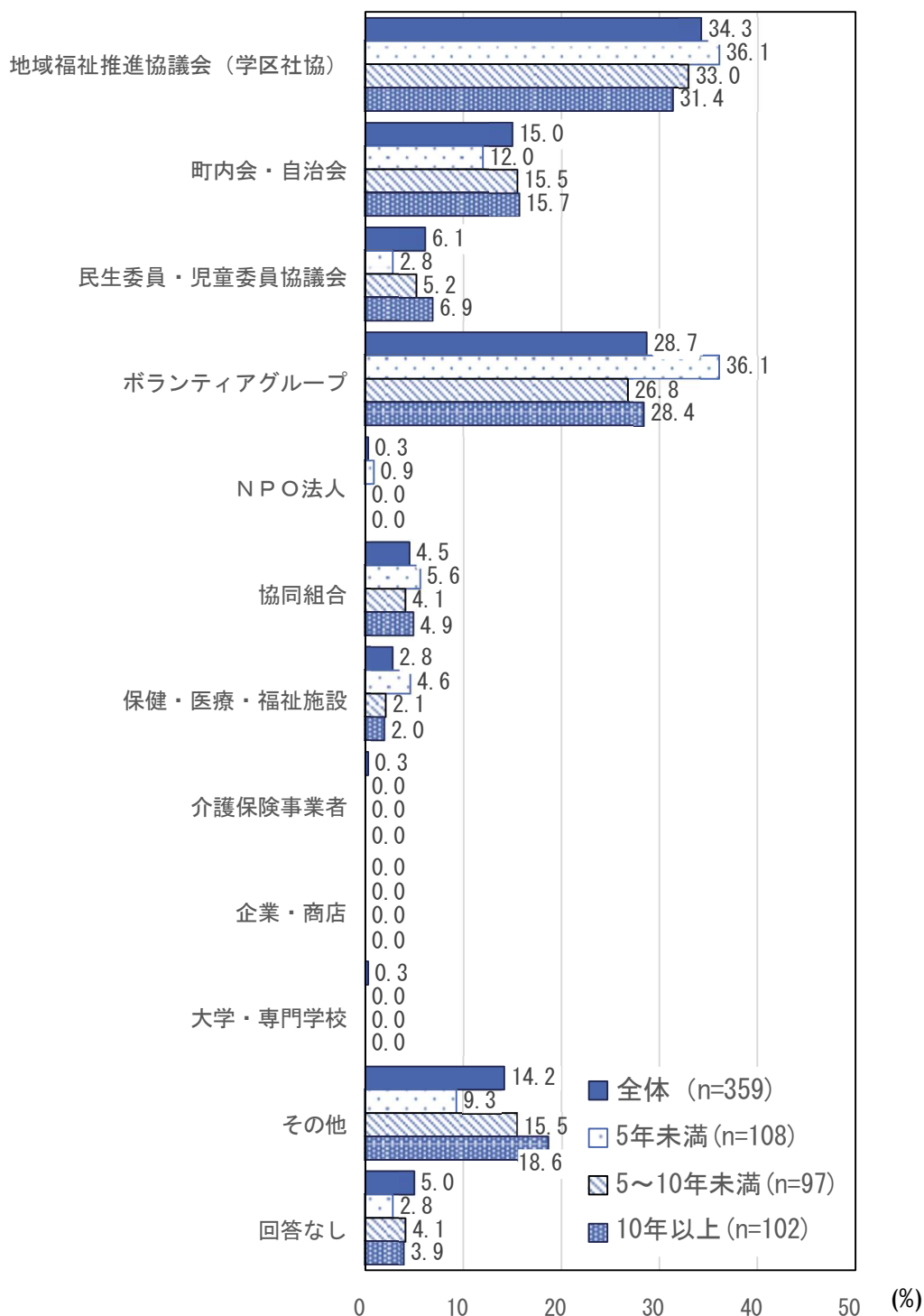
2018年には「ボランティアグループ」は「ボランティアグループ・地域住民有志」、「保健・医療・福祉施設」は「保健・医療・福祉施設・介護保険事業者」の選択肢となっている。

サロンの活動年数別にサロンの実施体制をみると、活動年数に関わらず「地域福祉推進協議会（学区社協）」が最も高くなっています。

ただし5年未満では「ボランティアグループ」も同率で最も高く、他の活動年数と比べても高くなっています。

「地域福祉推進協議会（学区社協）」「保健・医療・福祉施設」は活動年数が長いほど、割合が低くなり、「民生委員・児童委員協議会」は活動年数が長いほど、割合が高くなっています。

図表 活動年数別「サロンの実施体制」



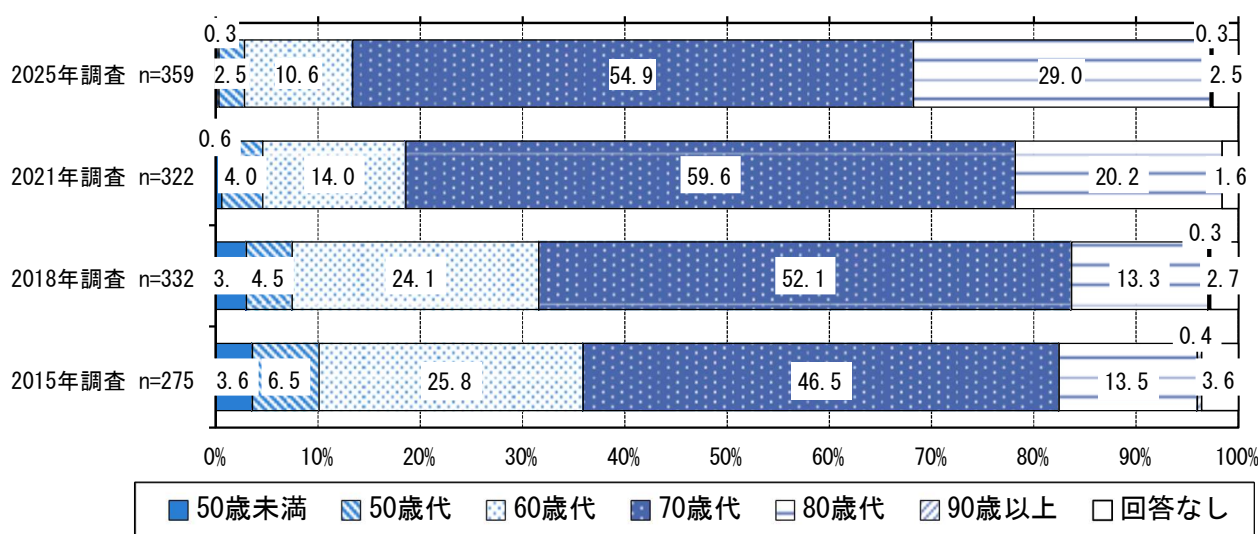
③代表者の年齢

代表者の年齢は、2015年から2025年にかけて、60歳以下の比率は減少し続けており、「70歳代」が最も高く、70歳以上の比率が高くなっています。特に「80歳代」は2025年には29.0%とかなり高くなっています。

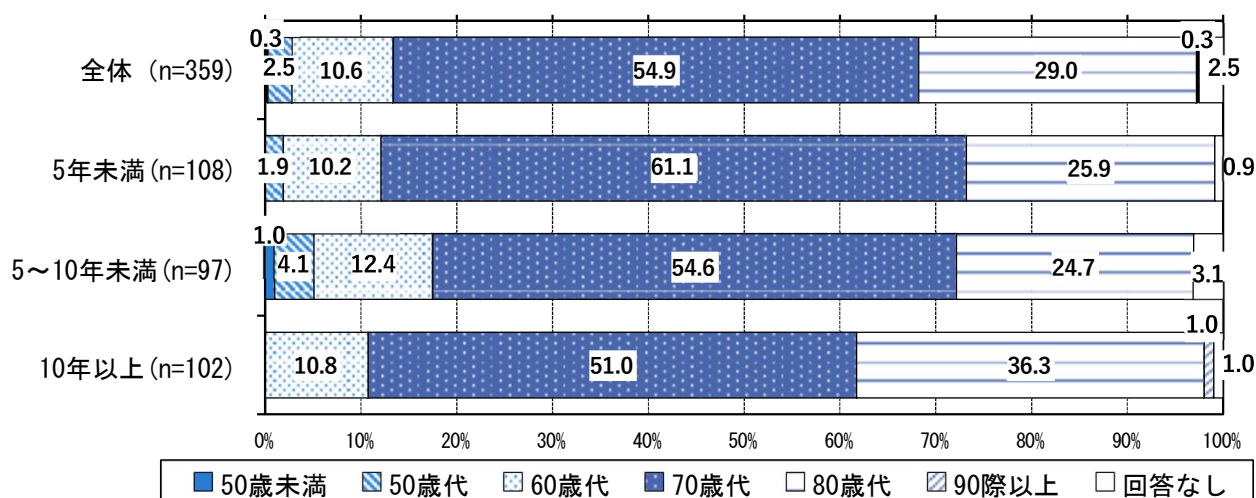
活動年数別に代表者の年齢をみると、いずれの年数も70歳代が最も多く、半数以上を占めています。特に、5年未満は70歳代が61.1%と最も高い状況です。10年以上は80歳代が36.3%と1/3以上を占めて最も高くなっています。

活動年数が長くなるほど80歳以上の比率が高くなり、世代交代が難しいサロンも多くなっていることがうかがえます。

図表 経年変化「代表者の年齢」



図表 活動年数別「代表者の年齢」



④ ボランティアの人数

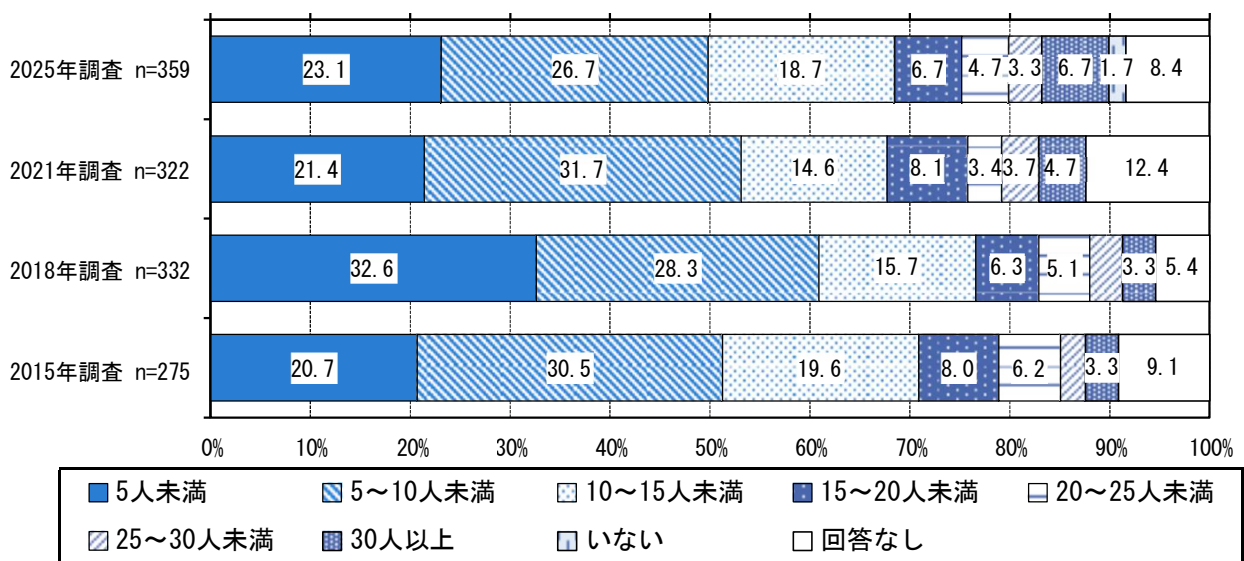
ボランティアの人数は、2018 年には「5 人未満」の比率がかなり高くなっていましたが、2021 年、2025 年には 2015 年時点の人数とほとんど変わらない状況があります。

2025 年には、「いない」の選択肢を新たに設けました。ボランティアが「いない」サロンが 1.7%とわずかですがありました。

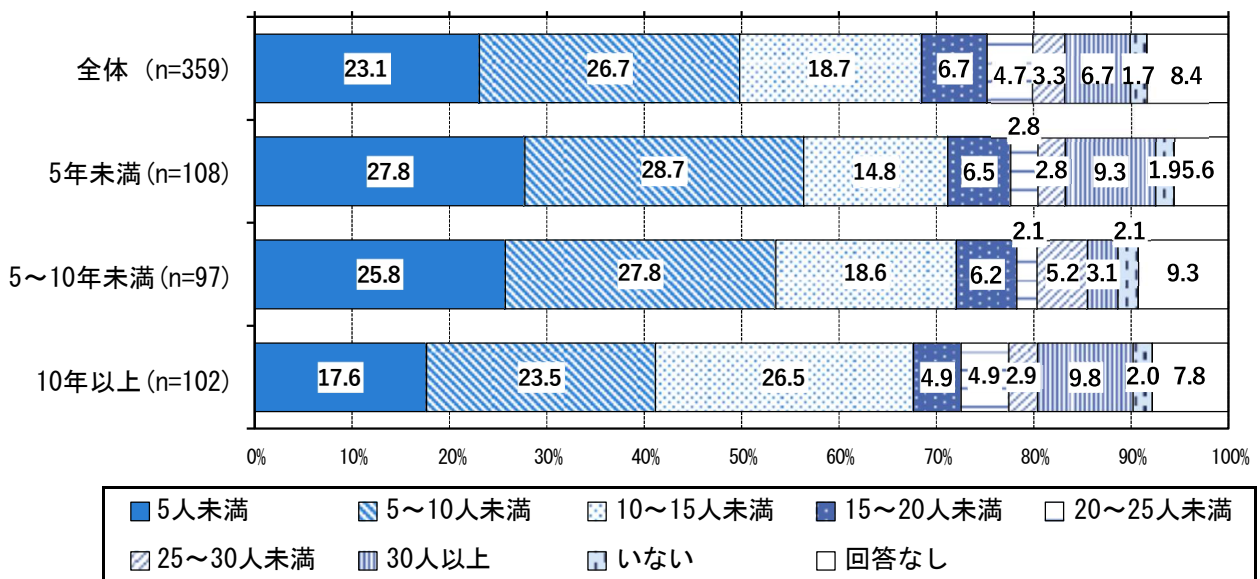
活動年数別のボランティアの人数は、活動年数が 5 年未満、5～10 年未満は「5～10 人未満」が最も高く、10 年未満が半数以上を占めています。10 年以上は「10～15 人未満」が最も高なっています。

活動年数が長くなるほど、ボランティアの人数も多い状況がうかがえます。

図表 経年変化「ボランティアの人数」



図表 活動年数別「ボランティアの人数」



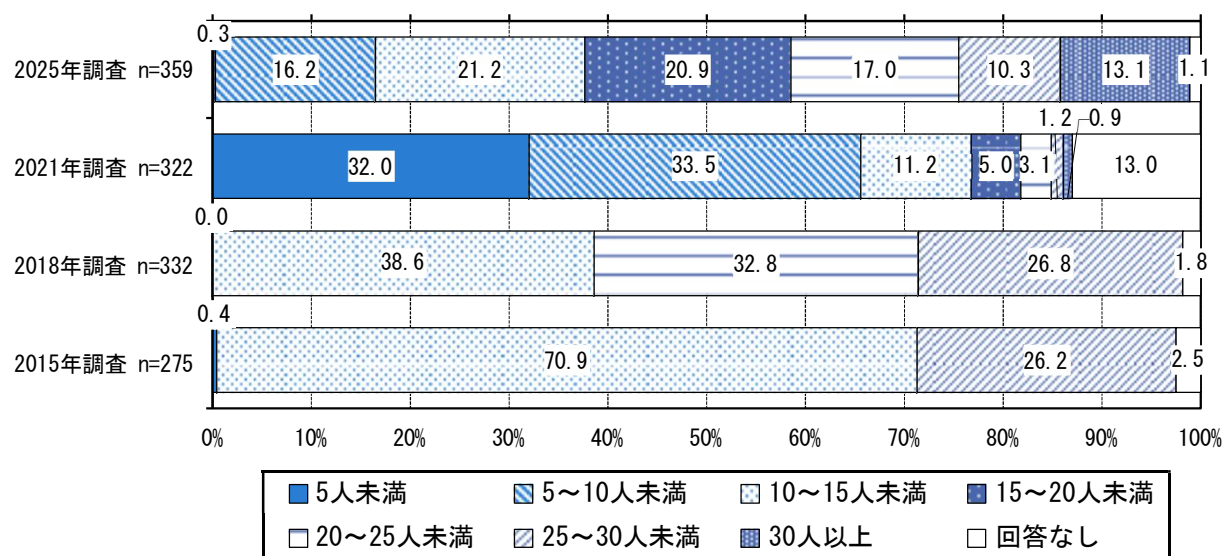
⑤参加者の状況

参加者の人数は、選択肢が異なる（※）ため、5人、15人、25人と区切ってみると、2015年、2018年、2025年の人数はほとんど変わらない状況があります。

2021年は新型コロナウイルス感染拡大期での調査であったため、感染対策をしながらの参加者数であり、少人数での対応となっているサロンが多い状況です。

コロナ禍を経て2025年にコロナ禍以前の状況に戻っていることがうかがえます。活動年数別の参加者の人数は、5年以上では20人以上の比率が高くなっています。活動年数と参加者の人数は比例してはいない状況です。

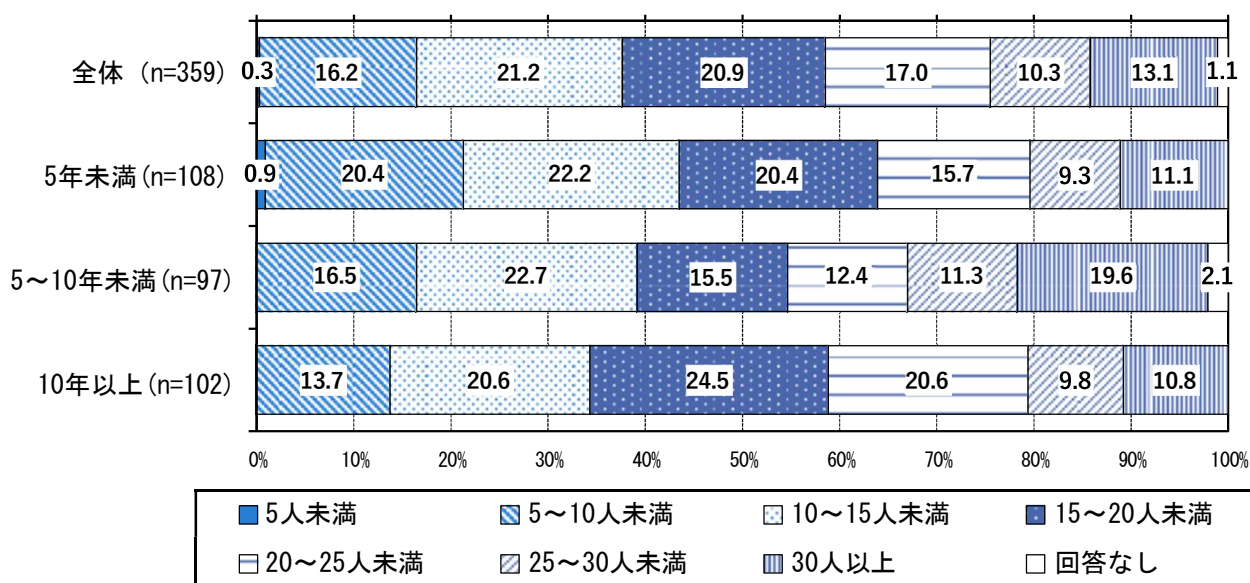
図表 経年変化「参加者の人数」



※2015年は「5~25人」「25人以上」の選択肢

※2018年は「5~15人未満」「15~25人未満」「25人以上」の選択肢

図表 活動年数別「参加者の人数」



(2) サロン活動の経済状況

サロン活動の経費の状況については、財源は活動年数に関わらず参加者の負担や社会福祉協議会からの助成が主となっています。

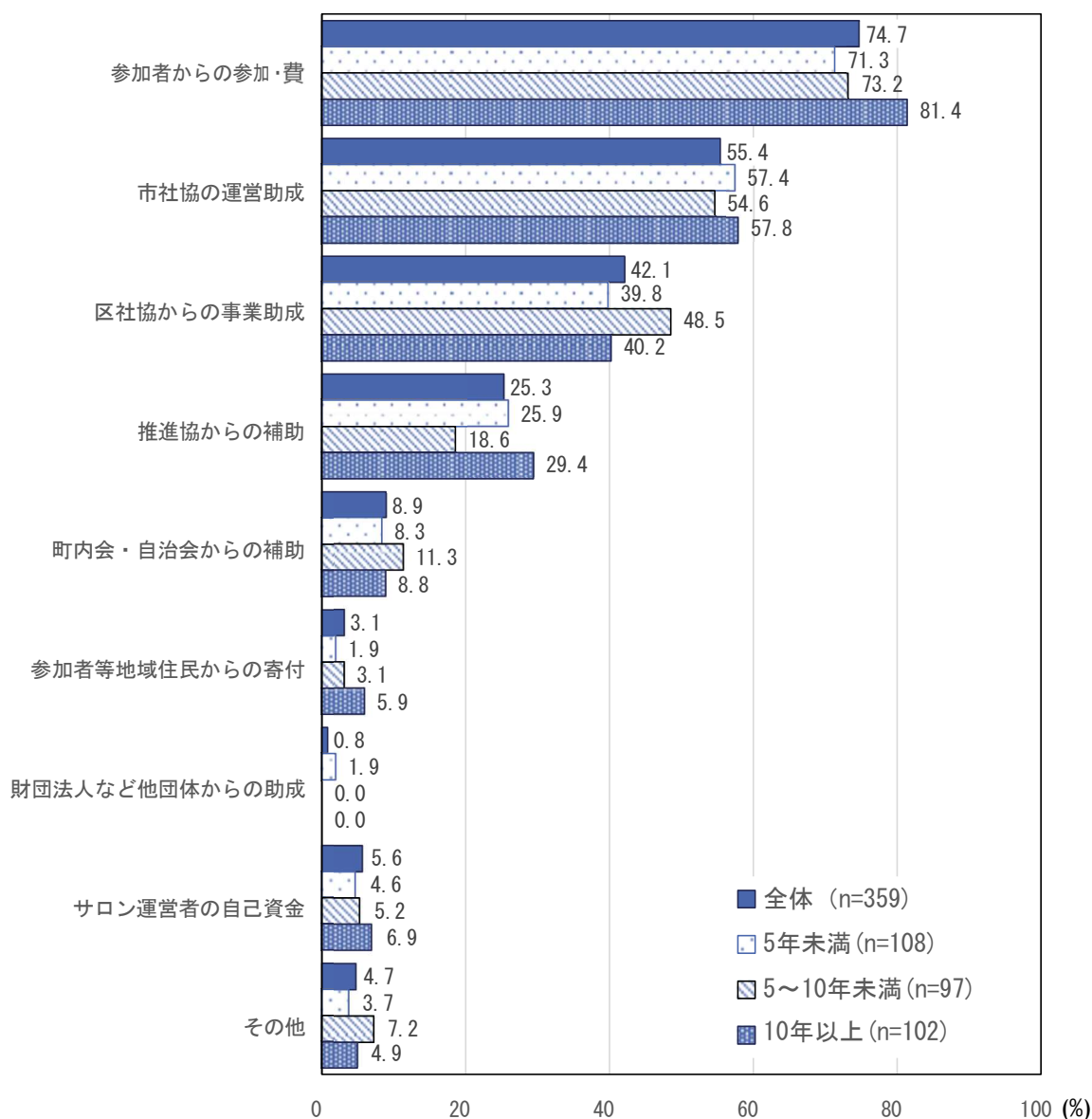
経年変化をみると新型コロナウイルス感染拡大期には、経費がよりかかったりした状況がありました。2025年にはコロナ禍以前の状況に戻っています。このため、2015年と2025年では人数と同様に経費に大きな差がない状況にあります。

①財源

サロンの財源については、活動年数に関わらず、「参加者からの参加費」が最も高くなっており、70%を超える状況で、10年以上では81.4%と最も高くなっています。

市社協、区社協、地域福祉推進協議会（学区社協）からの事業助成も活動年数に関わらず、助成を受けていることがわかります。

図表 活動年数別「財源の状況」



②必要な経費

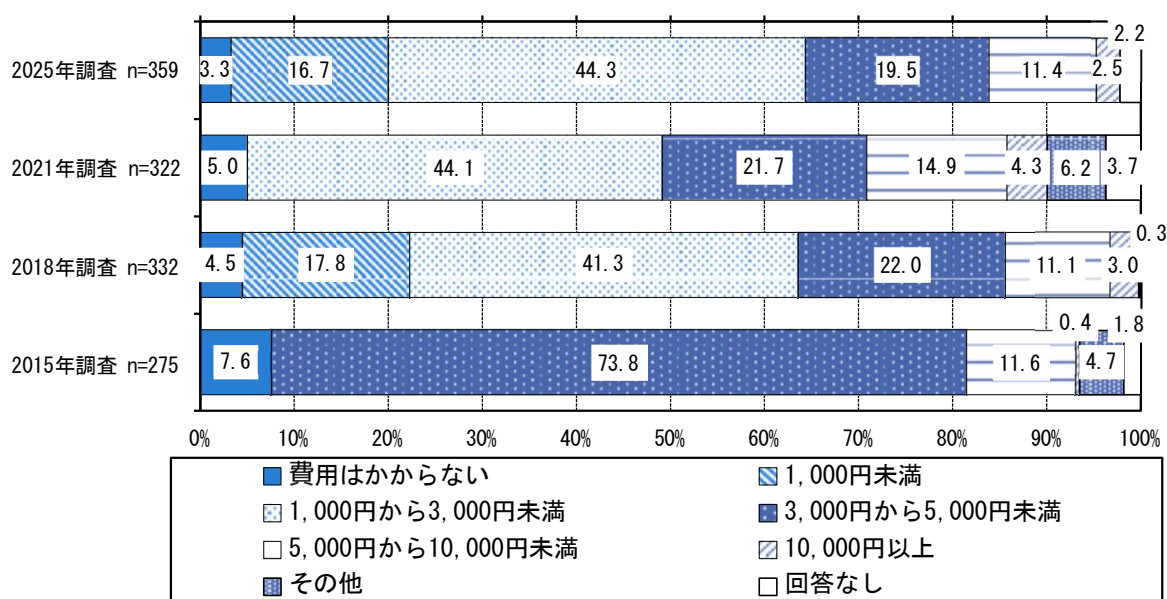
必要な経費について経年変化をみると、2015年、2018年、2025年は選択肢が異なる状況があります（※）が、ほぼ同程度で推移していることがうかがえます。

2021年のコロナ禍では、必要経費がやや高くなっている状況がありましたが、2025年には以前と同様の水準になっていると考えられます。

活動年数別の必要な経費の状況を見ると、「費用はかからない」は活動年数が長くなるほど低くなり、活動を続けていくためには、一定の必要経費を確保しながら実施することが必要となっています。しかしながら、1回あたりの経費の金額は「1,000円から3,000円未満」が年数に関わらず最も高く、半数程度を占めています。

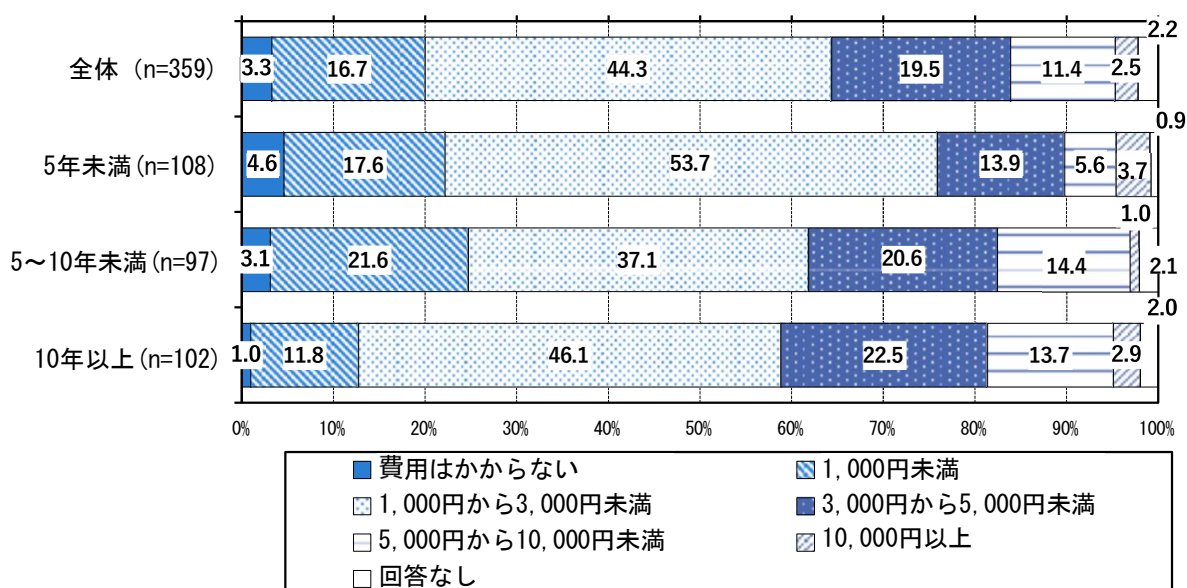
活動年数が5年以上のサロンでは3,000円から10,000円の比率が同程度となっています。

図表 経年変化「必要な経費」



※2015年の選択肢は、5,000円未満、5,000円～15,000円未満、15,000円以上となっている。

図表 活動年数別「必要な経費」

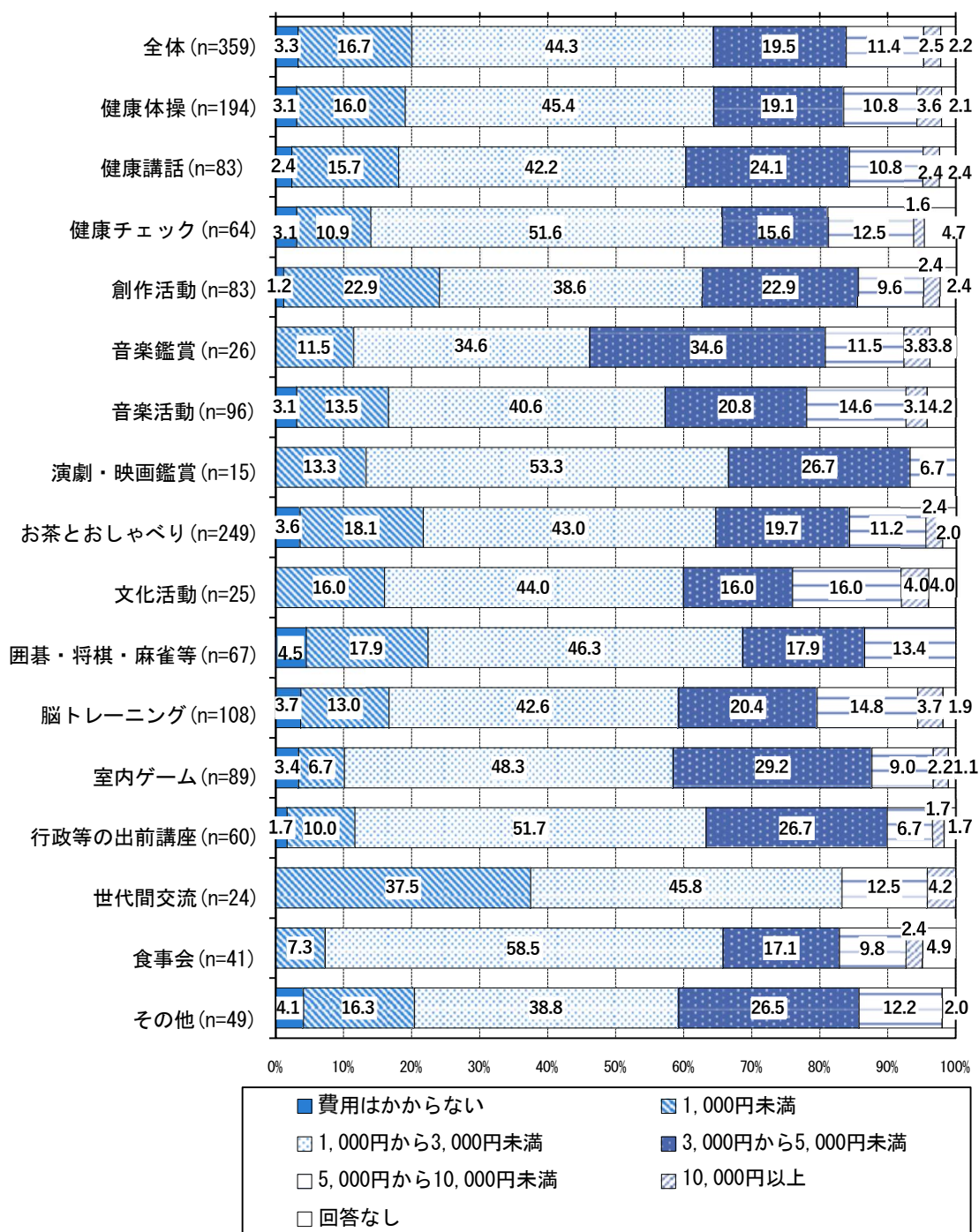


活動内容別にみると、いずれの活動も「1,000円から3,000円未満」が半数程度を占めて最も高くなっています。

費額が「1,000円未満」（「費用はかからない」+「1,000円未満」）の活動は、世代間交流が37.5%と最も高く、創作活動が24.1%、囲碁・将棋・麻雀等が22.4%、お茶とおしゃべりが21.7%と20%を超えています。

また、「5,000円以上」（「5,000円から10,000円未満」+「10,000円以上」）の高額がかかる活動は、文化活動が20.0%と最も高く、脳トレーニングが18.5%、音楽活動が17.7%と続いており、音楽鑑賞や演劇・映画鑑賞、文化活動、世代間交流、食事会では「費用はかからない」が0件、0%となっています。

図表 活動内容別「必要な経費」



③1 回あたりの参加費

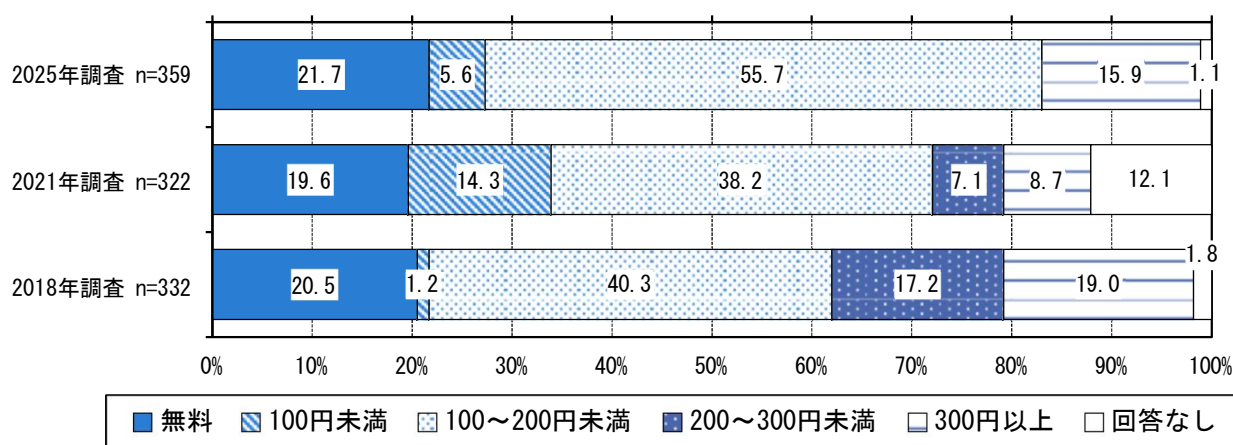
1 回あたりの参加費の経年変化をみると、設問を設けた 2018 年は「200～300 円未満」が 17.2% を占めていましたが、2025 年には 0% となっています。

「100～200 円未満」はいずれの調査でも最も高くなっていますが、その割合は大きく変化しており、2018 年から 2025 年にかけて 200 円未満の割合が高くなる傾向となっています。

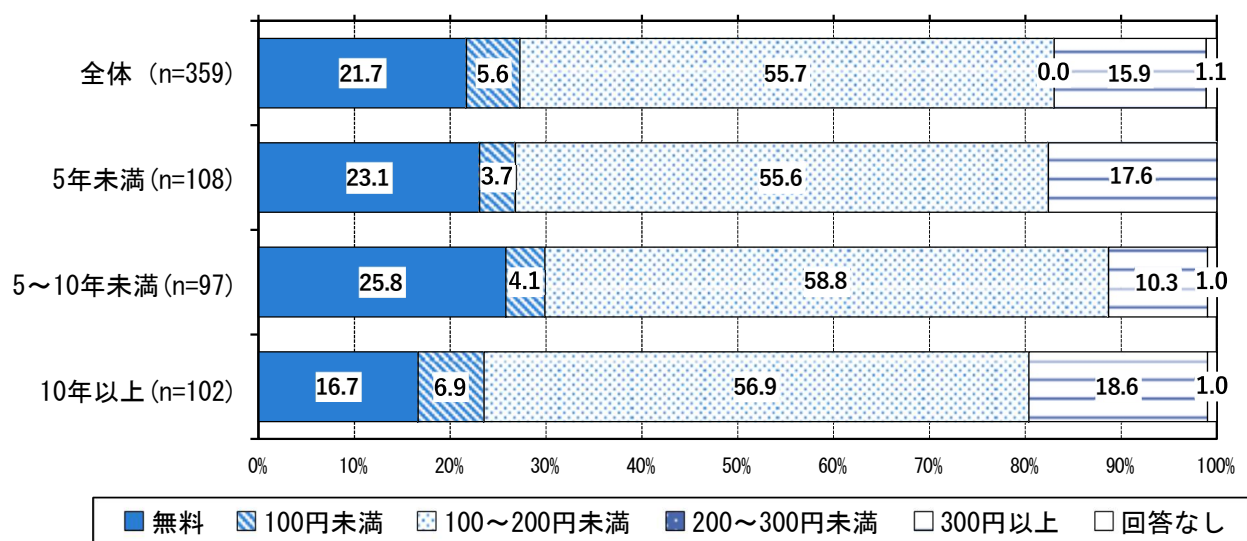
活動年数別にみると、活動年数に関わらず「100～200 円未満」が最も高く、半数以上を占めています。

「無料」は 10 年未満では 25% 程度を占めていますが、10 年以上ではかなり低くなっており、長く続けていくためには、一定の参加費を確保することも必要なことがうかがえます。

図表 経年変化「1 回あたりの参加費」



図表 活動年数別「1 回あたりの参加費」

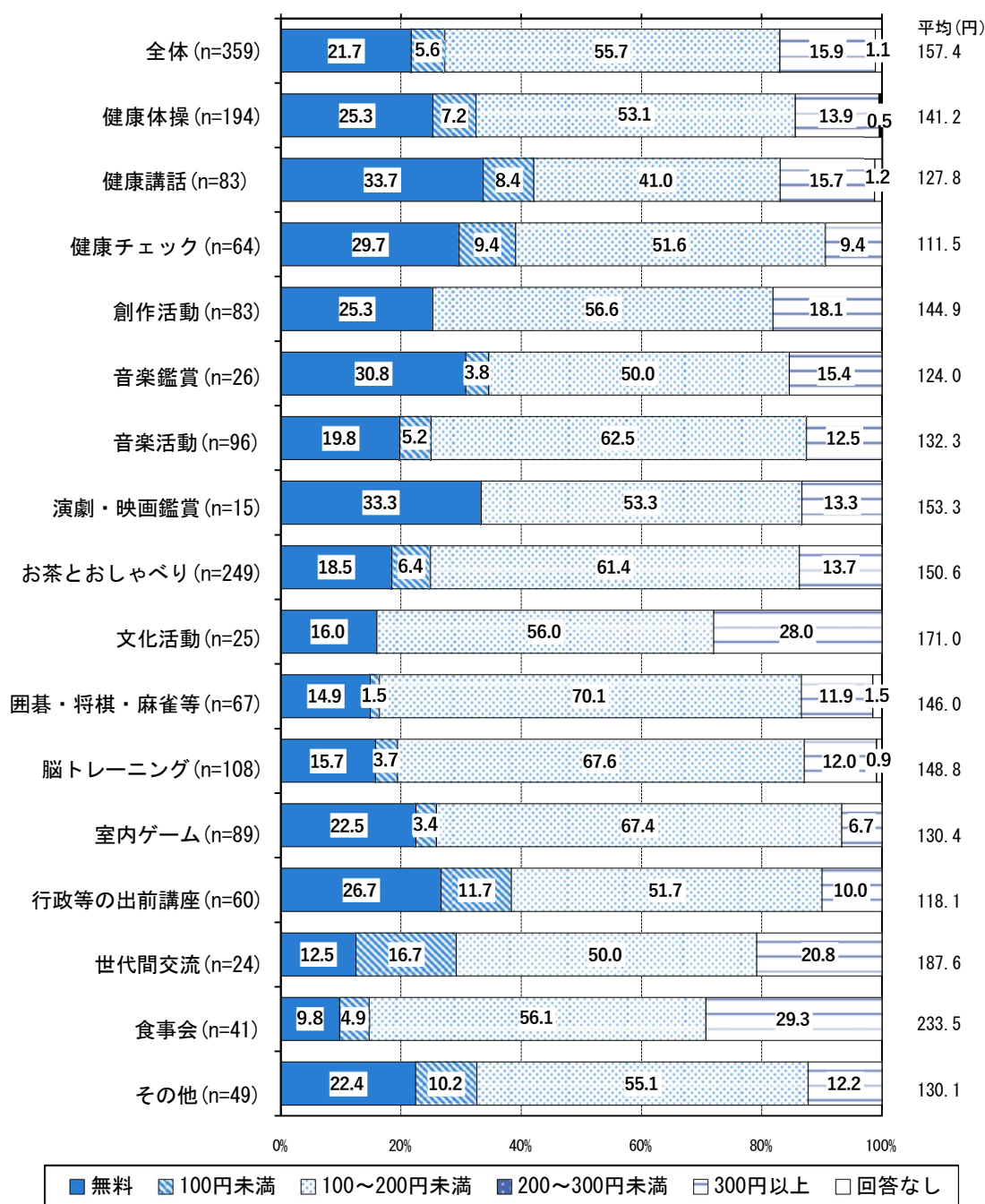


活動内容別にみると、健康講話を除くすべての活動で「100 円～200 円未満」が 50%以上を占めて最も高くなっています。

参加費が“100 円未満”（「無料」+「100 円未満」）の活動は、健康講話が 42.1%と最も高く、健康チェックが 39.1%、行政等の出前講座が 38.4%と続いており、音楽鑑賞、演劇・映画鑑賞、健康体操が 30%を超えて続いています。

また、「300 円以上」は、食事会が 29.3%、文化活動が 28.0%、世代間交流が 20.8%と 20%を超えて高くなっています。

図表 活動内容別「1 回あたりの参加費」

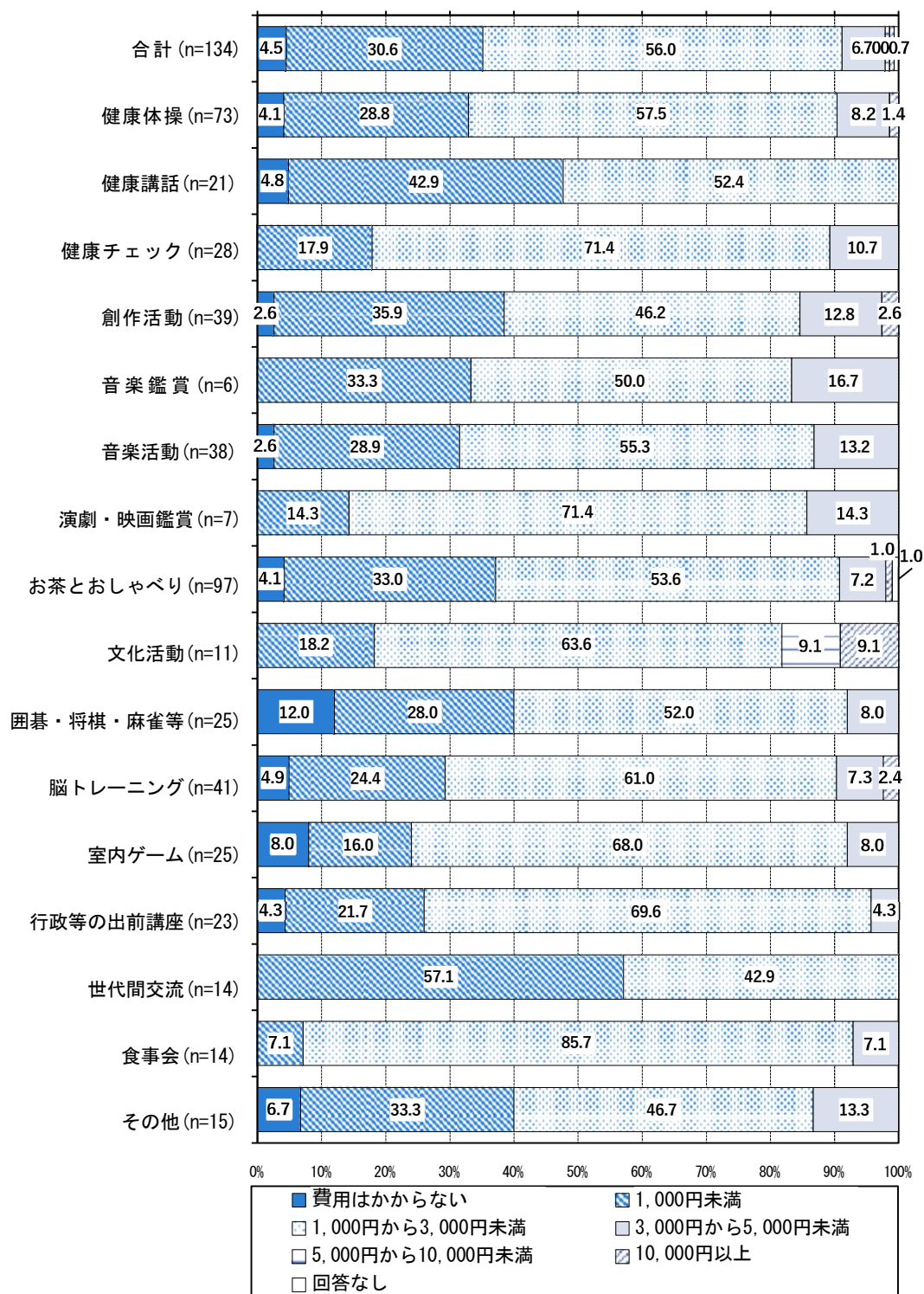


④サロンの規模別・活動内容別の経費

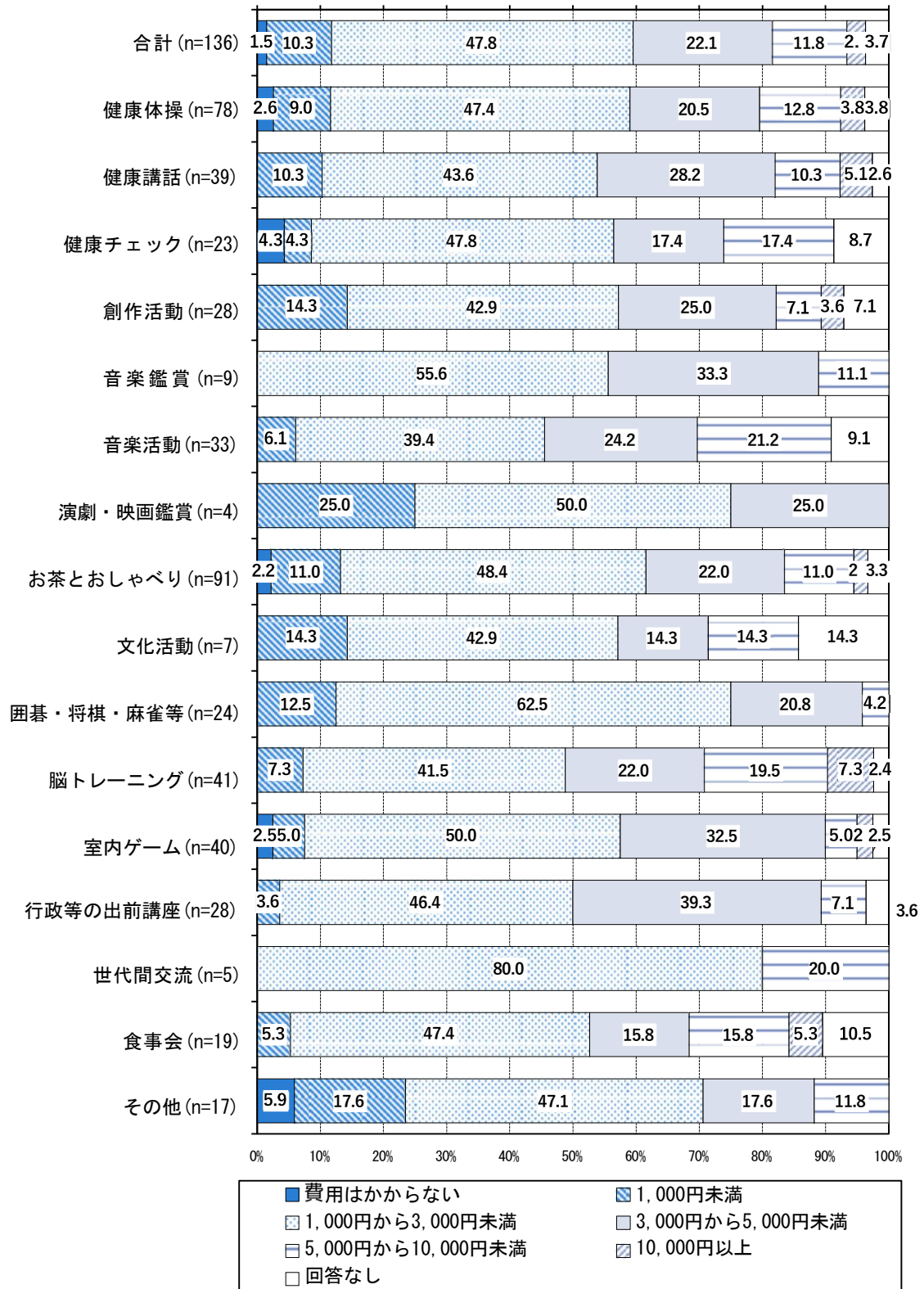
サロンの参加者数により、「5人以上15人未満」を小規模サロン(134サロン)、「15人以上25人未満」を中規模サロン(136サロン)、「25人以上」を大規模サロン(84サロン)として分類しました。

サロンの規模別、活動内容別に必要な経費と、1回あたりの参加費のクロス集計を行いました。大きな差があるように見えますが、活動内容ごとのサンプル数が少ないことに留意してください。

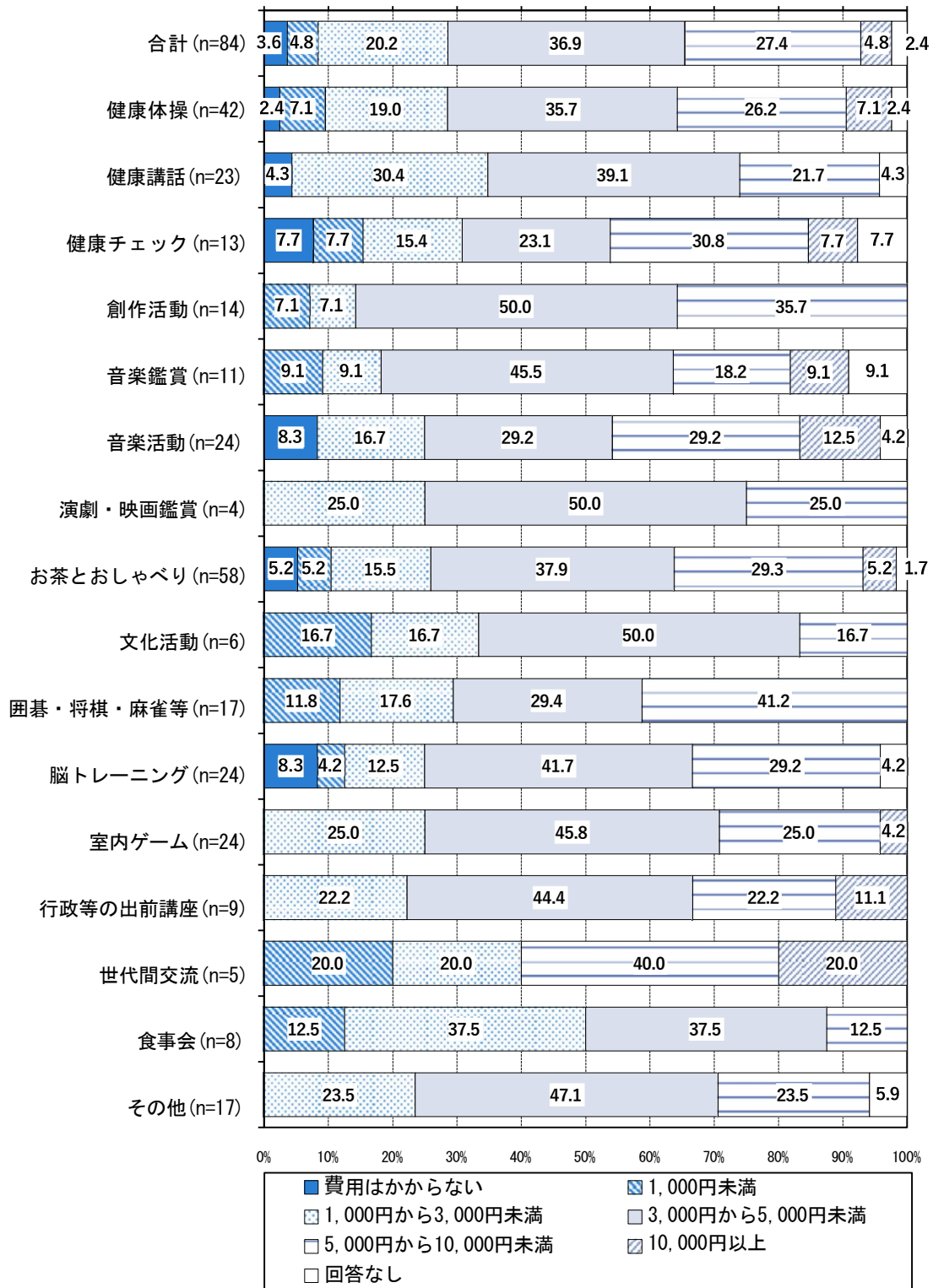
図表 小規模サロンの活動内容別「必要な経費」



図表 中規模サロンの活動内容別「必要な経費」

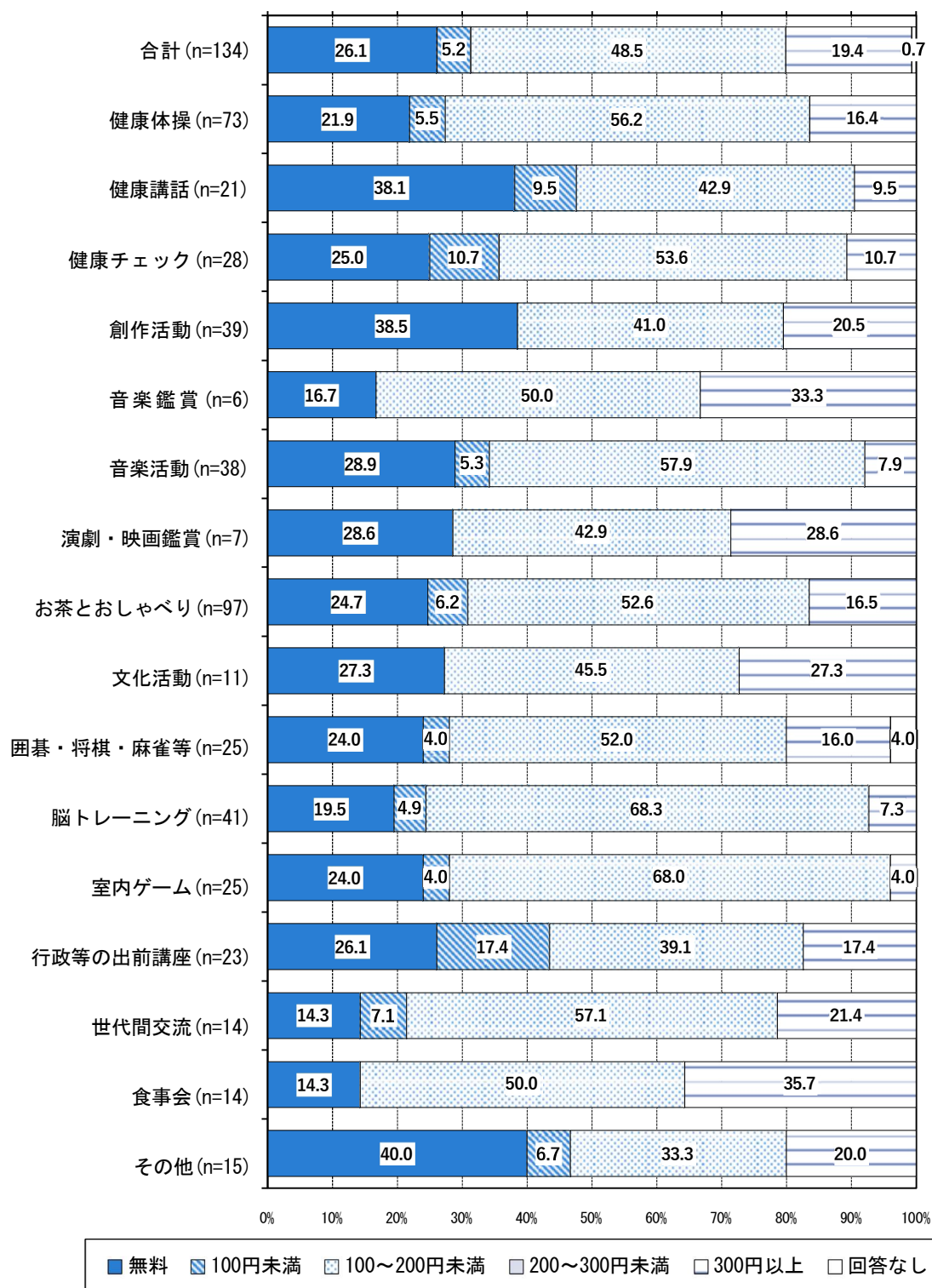


図表 大規模サロンの活動内容別「必要な経費」

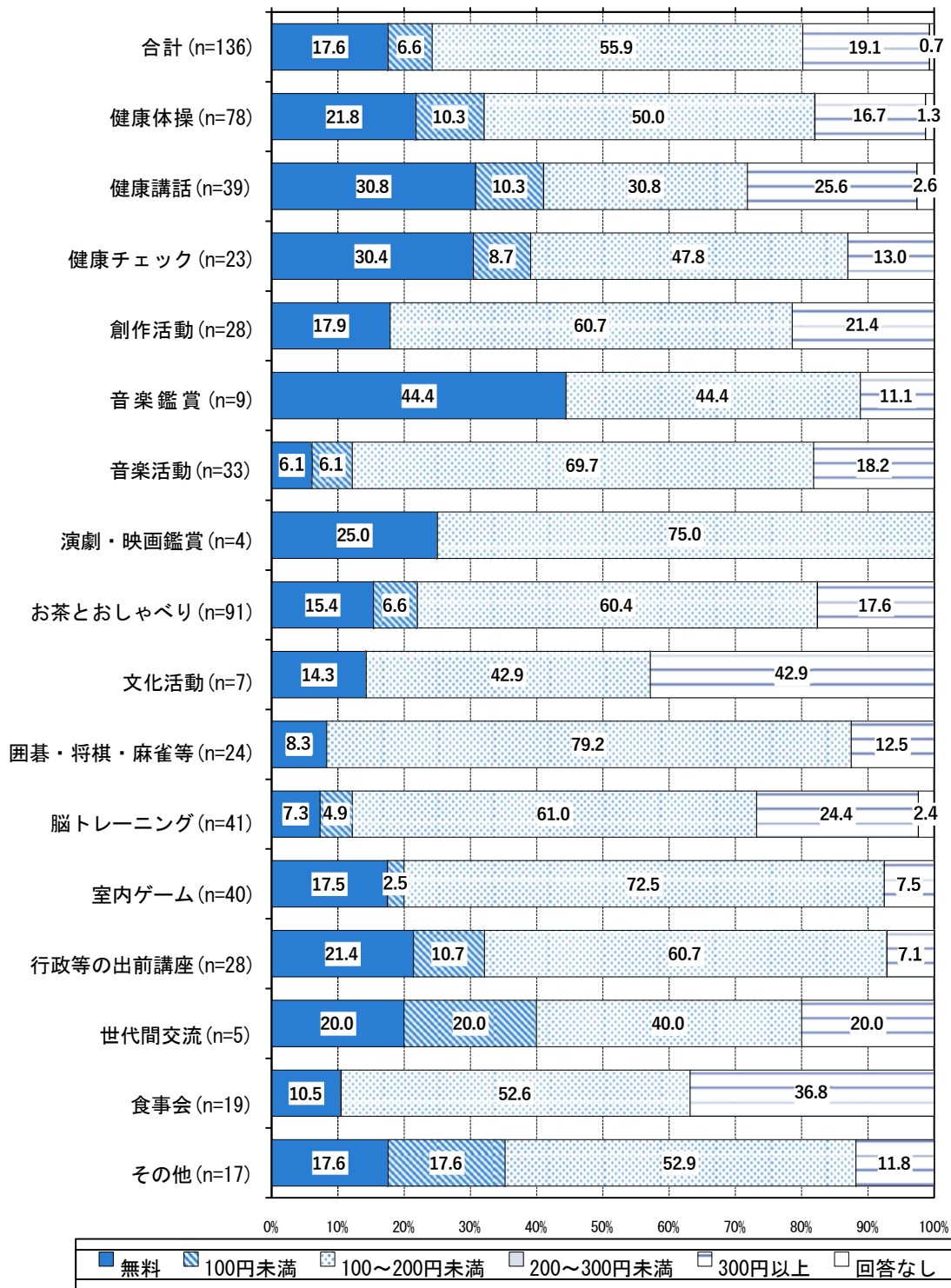


⑤サロンの規模別・活動内容別の1回あたりの参加費

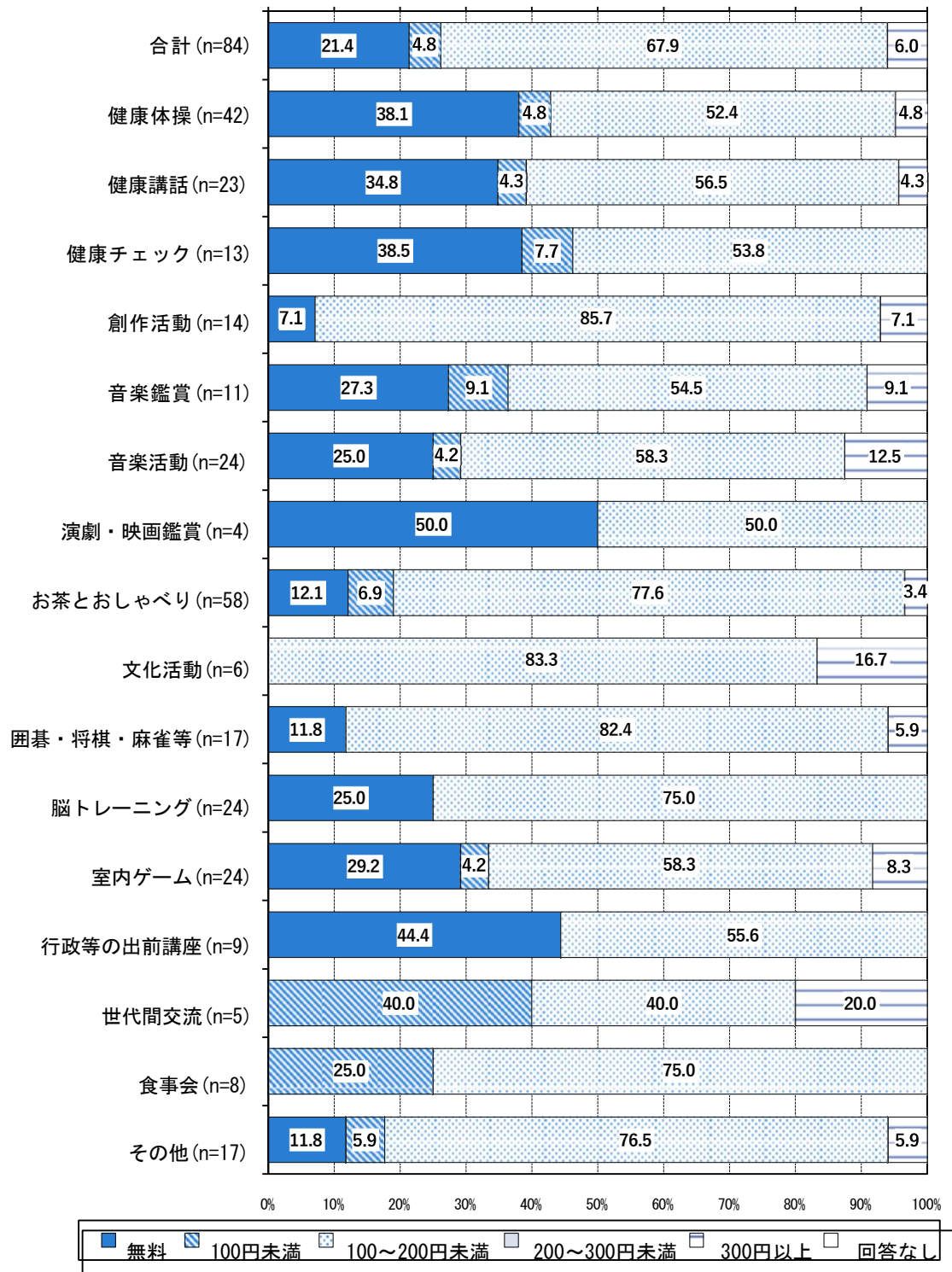
図表 小規模サロンの活動内容別「1回あたりの参加費」



図表 中規模サロンの活動内容別「1回あたりの参加費」



図表 大規模サロンの活動内容別「1回あたりの参加費」



(1) 代表者調査票

サロンの概要についておたずねします。	
サロンの名	高齢者サロン、共生型サロン
サロンの種別	学区
サロンの附帯地区	
サロンの開始年月	昭和、平成、令和
サロンの運営母体	1. 地域福祉推進協議会(学区社協) 2. 町内会・自治会 3. 民生委員・児童委員協議会 4. ボランティアグループ 5. NPO法人 6. 協同組合 7. 保健・医療・福祉施設 8. 介護保険事業者 9. 企業・商店 10. 大学・専門学校 11. その他(具体的に)
代表者の年齢	満 歳
ボランティアー	人数(西暦年) うち 男性 人 女性 人 年齢構成 10歳代()人 50歳代()人 20歳代()人 60歳代()人 30歳代()人 70歳代()人 40歳代()人 80歳代以上()人
サロンの種別	1. コミュニティセンター 2. 集会所 3. 喫茶店・店舗 4. 社務所・寺院・教会 5. 個人宅・空き家 6. 施設・事業所・NPO 7. 地区会館・公民館 8. 屋外 9. その他(具体的に)
サロンの開催頻度	1. 週1回以上 3. 月1回程度 5. その他 2. 月2回以上4回未満 4. 年に数回 ()
1回あたりの所要時間	1. 1時間 3. 2時間 5. 4時間 2. 1.5時間 4. 3時間 6. 5時間以上
活動する時間帯	1. 午前だけ 3. 午前及び午後 5. 夜間 2. 午後だけ 4. 早朝又は夕方 6. 特に決まっていない
サロンの回数を参加者の参加費	約 人 参加費 円

問1 サロンの概要についてお答えください。(運搬の頻度は、あてはまるものに○印)

名古屋社会福祉協議会 高齢者・共生型サロン実態把握調査
ふれあい・いきいきサロン 運営ボランティア代表者向けアンケート

アンケート調査へのご協力をお願いします

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
皆さまには日頃から、「ふれあい・いきいきサロン(以下サロン)」をはじめとする地域福祉活動にご理解・ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。
このたび、名古屋社会福祉協議会(以下本会)では、名古屋市内における各種サロンの実態を把握するため、サロン運営ボランティア代表者及び参加者の双方を対象としたアンケート調査を実施することとしました。
今回の調査を通じて、運営ボランティア代表者・参加者の方々の現状やサロン参加後の変化、サロン活動上での課題、要望などを把握し、今後のサロン活動の推進に役立てていきたいと考えております。
つきましては、お忙しいところ大変申し訳ありませんが、以下のアンケート調査にご協力いただけますようお願いいたします。

令和7年10月 名古屋社会福祉協議会

ご回答にあたってのお願い

- 本アンケート調査の対象は、本会が把握する高齢者・共生型サロンの中から、無作為に抽出しています。
(代表者の代理の方がお答えいただいても構いません。)
- 回答にあたっては、特に記載のない場合は、該当する項目を1つ選んで、番号に○印をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査結果はすべて統計的に処理し、公表させていただきます。個人が特定されることはありません。ご理解をいただいております。ご理解をいただいております。ご理解をいただいております。
- 回答された調査票は【11月28日(金)】までに同封しました返信用封筒(切手不要)に入れて、お近くのポストに投函してください。
- このアンケートについてご質問などがありましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
〒462-8558名古屋市中区清水4-1-7-1 名古屋総合社会福祉会5階
名古屋社会福祉協議会地域福祉推進部 担当：野々部・中島
TEL 052-911-3193 / FAX 052-917-0702 / mail chiki01@nagoya-shakvo.or.jp

問2 サロンの参加者の男女比を教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

- | | | |
|---------------|----------------|---------|
| 1. 女性のみ | 4. 男性・女性ともほぼ同数 | 7. 男性のみ |
| 2. ほとんどが女性参加者 | 5. やや男性が多い | |
| 3. やや女性が多い | 6. ほとんどが男性参加者 | |

問3 サロン参加者の平均年齢を教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 50歳未満 | 4. 60～65歳未満 | 7. 75～80歳未満 |
| 2. 50～55歳未満 | 5. 65～70歳未満 | 8. 80歳以上 |
| 3. 55～60歳未満 | 6. 70～75歳未満 | |

問4 サロン開設時と比較した参加者数の変化を教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 増えている | 2. ほとんど変化なし | 3. 減っている |
| (上記の理由:) | | |

問5 サロンをはじめたきっかけを教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. かねて、交流の場が必要と思ったため | 6. 市・区社協の講座等を受講したため |
| 2. 高齢者を地域で見守るため | 7. 人に勧められたため |
| 3. 運動する場がほしかったため | 8. 他のサロン活動に参加したため |
| 4. 趣味、レクリエーションの場がほしかったため | 9. その他 () |
| 5. 介護予防や認知症予防のため | |

問6 サロンのプログラムについて、実施する頻度の高い内容を教えてください。(あてはまるもの5つ以内○印)

- | | | |
|------------------|-------------------|----------------------------|
| 1. 健康体操 | 7. 演劇・映画鑑賞 | 13. 行政等の出前講座 |
| 2. 健康講話 | 8. お茶とおしゃべり | 14. 世代間交流
(幼馴染みや学生との交流) |
| 3. 健康チェック(血圧測定等) | 9. 文化活動(習字・筆写・川劇) | 15. 食事会(料理、お菓子作り) |
| 4. 創作活動(手芸など) | 10. 囲碁・将棋・麻雀等 | 16. その他 () |
| 5. 音楽鑑賞 | 11. 脳トレニング | |
| 6. 音楽活動(歌謡・楽器演奏) | 12. 室内ゲーム | |

上記1～16の中から、とくに参加者に喜ばれているものを3つ選び、その番号を右欄に記入して下さい。…→

--	--	--

問7 サロンの経費や助成制度の利用についておたずねします。

- 問7 1 一回開催あたりの必要経費について教えてください。(あてはまるもの1つに○印)
- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 費用はかからない | 4. 3,000円から5,000円未満 |
| 2. 1,000円未満 | 5. 5,000円から10,000円未満 |
| 3. 1,000円から3,000円未満 | 6. 10,000円以上 |

問8 問7で「2」「3」～「6」と回答された方にお聞きします。

- 費用の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○印)
- | | |
|------------|---------------|
| 1. お茶菓子代 | 7. 備品・事務用品購入費 |
| 2. 食料費 | 8. 担い手の共済交運費 |
| 3. 手芸等の材料費 | 9. 講師謝金 |
| 4. 会場使用料 | 10. その他 () |
| 5. 保険料 | |
| 6. 資料印刷代 | |

問9 サロンの運営経費の財源は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 参加者からの参加費 | 6. 参加者等地域住民からの寄付 |
| 2. 市社協の運営助成 | 7. 財団法人など他団体からの助成 |
| 3. 区社協からの事業助成 | 8. サロン運営者の自己資金 |
| 4. 学区地域福祉推進協議会からの補助 | 9. その他 () |
| 5. 町内会・自治会からの補助 | |

問10 サロンの運営状況についておたずねします。

10 日ごろから連絡や連携している団体や機関について教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 区社協 | 12. 社会福祉施設 |
| 2. 学区地域福祉推進協議会 | 13. 診療所・病院 |
| 3. 民生委員・児童委員 | 14. ボランティアグループ・NPO 団体 |
| 4. 自治会・町内会 | 15. 小・中学校 |
| 5. 老人クラブ | 16. 大学 |
| 6. 女性会・子ども会等の地域団体 | 17. 保育園・幼稚園 |
| 7. 区役所・保健センター | 18. 警察署・消防署 |
| 8. いきいき支援センター | 19. 地元企業・商店街 |
| 9. 福祉会館 | 20. 生協・農協 |
| 10. クアマネジャーのいる事業所 | 21. その他 () |
| 11. 介護サービスを提供する事業所 | |

問 11 サロン活動を継続するため、心がけていることや取り組んでいることを教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

1. 参加者の声を尊重している
 2. スタッフと参加者の垣根をつくらない
 3. 参加者が役割をもっている
 4. サロンの目標や理念を共有している
 5. 打ち合わせを行い、役割分担している
 6. スタッフ自身も楽しんでいる
- ()

問 12 参加者のちよっとした困りごとの発見や解決に向けて取り組んでいることについて教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 何気ない会話から困りごとの把握
2. スタッフによる困りごと相談の受付
3. 困りごとを話せる場や機会づくり
4. 区社協やいきいき支援センター職員との定期的なサロン訪問依頼
5. 打ち合わせ等の参加者の状況を共有
6. スタッフによる困りごとの支援
7. 参加者同士での見守りや助け合い

問 13 現在のサロンの運営状況について教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

1. 特に悩みや困っていることもなく、順調に運営できている ⇒ 問 15へお進みください
2. 悩みや困っていることはあるが、運営できている
3. 悩みや困っていることがあり、行き詰まっている

問 14 問 13で「2」、「3」と回答された方にお聞きします。サロンの活動上の悩みや困っていることについて教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 特定のスタッフへの責任や負担の集中
 2. リーダーや後継者が育たない
 3. スタッフの高齢化や世代の偏り
 4. スタッフの不足
 5. 活動内容のマンネリ化
 6. プログラムの企画や準備
 7. 活動資金の不足
 8. 活動場所の確保
 9. 活動場所の確保
 10. 参加者が少ない
- ()

サロン活動の効果についておたずねします。

問 15 サロン活動を通じてあなたが感じている ①参加者の効果、②サロンの効果、③あなた自身の思いについて、各項目のそれぞれ欄で、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

記入例) ○○○○○○について ⇒	1	2	3	4	5	6	
<① 参加者の効果>							
(1) 人と話す機会が増えている	⇒	1	2	3	4	5	6
(2) 新しい友人や仲間ができています	⇒	1	2	3	4	5	6
(3) サロンへの主体的な関わりが増えている	⇒	1	2	3	4	5	6
(4) サロン以外の会(趣味やスポーツの会、老クラブなど)の参加が増えている	⇒	1	2	3	4	5	6
(5) メリハリのある生活につながっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(6) 生きがいにつながっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(7) 役割などがあることで自信につながっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(8) 体を動かす機会が増えている	⇒	1	2	3	4	5	6
<② 貴サロンの効果>							
(9) 参加者の体調の変化などに気づくことができる	⇒	1	2	3	4	5	6
(10) 参加者の安全確認ができる	⇒	1	2	3	4	5	6
(11) 閉じこもり・孤立の防止になっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(12) 介護予防や認知症予防に役立っている	⇒	1	2	3	4	5	6
(13) スタッフや参加者の居場所になっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(14) 心配ごとや困りごとの発見につながっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(15) ちよっとした困りごとの解決につながっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(16) 参加者の家族の負担軽減や気分転換になっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(17) 地域での助けあい活動や交流の拠点となっている	⇒	1	2	3	4	5	6
<③ あなた自身の思い>							
(18) 地域や社会の役に立ててうれしい	⇒	1	2	3	4	5	6
(19) サロン活動が自分自身の生きがいになっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(20) 人的なネットワークがひろがっている	⇒	1	2	3	4	5	6
(21) 高齢者の困りごとなどを知り、他人事ではないと感じている	⇒	1	2	3	4	5	6
(22) 地域の福祉課題を知り、解決に取り組み必要があると感じている	⇒	1	2	3	4	5	6

地域共生社会についておたずねします。

問16 地域共生社会※について知っていますか。(あてはまるもの1つに○印)

※地域住民や多様な主体が世代や分野を超えてつながり、「支え手」「受け手」という関係を
超えて誰もが支え合う社会を目指す概念。

1. 知っている
2. 聞いたことがある
3. 知らないし聞いたことがない

問17 問16で「1」「2」と回答された方にお聞きします。

サロン参加者が「支え手」となるよう、サロンとして取り組んでいることがありましたら、
ご記入ください。

今後、求められるサロン活動の支援策についておたずねします。

問18 今後、サロン活動がより一層発展するために必要だとと思うことを教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 地域住民へのサロン活動の周知 | 13. 先進的な取り組みに対する助成 |
| 2. 新たな担い手の確保 | 14. 地域型組織との連携・協働 |
| 3. 大学生など若い世代の参加 | 15. ボランティアやNPO団体との連携・協働 |
| 4. 参加対象世代の拡大 | 16. 社会福祉施設との連携・協働 |
| 5. 男性参加者の増加 | 17. 他のサロンとの交流・情報交換 |
| 6. 地元企業や商店街等の協力 | 18. スタッフの学習の機会の増加 |
| 7. 開催回数の増加 | 19. 行政や社協職員による活動支援 |
| 8. 開催場所の確保 | 20. サロンへの送迎支援 |
| 9. 会場設備の充実(いす、台所等) | 21. サロンでの困りごと相談の受付 |
| 10. 介護予防等のプログラムの充実 | 22. サロンでの見守りや助けあいの活動 |
| 11. 継続的な運営助成や補助 | 23. SNS等のオンラインツールの活用 |
| 12. 運営助成や補助の拡充 | 24. その他() |

サロンの運営について日ごろ感じていることについておたずねします。

問19 サロンを運営する中で、日ごろ感じていることがあればご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございます。調査票は、11月28日(金)までに問封の封筒にてご返送ください。

(2) 参加者調査票

＜参加者向けアンケート＞

あなたのことについてお答えください。(選択肢の欄は、あてはまるものに○印)

調査依頼された
サロンの名称

サロンの
開催地区

区

学区

あなたの性別

男・女

あなたの年齢

満 歳

家族構成

1. 一人暮らし
2. 夫婦で二人暮らし
3. 夫婦と子ども (または子ども世帯) と同居 (具体的に)
4. 自分と子ども (または子ども世帯) と同居

介護保険の
認定区分

1. 受けていない(非該当・申請中を含む)
2. 基本チェックリストによる事業対象者
3. 要介護1
4. 要介護2
5. 要介護1
6. 要介護2
7. 要介護3
8. 要介護4
9. 要介護5
10. わからない

収入を得る仕事

1. している
2. していない

日課的なSNSの使用

1. している
2. していない

現在の健康状態

1. とても良い
2. まあまあ良い
3. あまり良くない
4. 良くない

地域内で参加
している活動

1. 趣味・娯楽のグループ
2. ボランティアグループ
3. 老人クラブ
()

参加している
サロン数

1. 1つ
2. 2つ
3. 3つ
4. 4つ以上

あなたが参加しているサロンについてお答えください。
(あてはまるもの1つに○印)

問2 自宅からサロン会場まで、徒歩による片道の移動時間を教えてください。

1. 5分未満
2. 5～10分未満
3. 10～15分未満
4. 15分～20分未満
5. 20分以上

名古屋社会福祉協議会 高齢者・共生型サロン実態把握調査 ふれあい・いきいきサロン 参加者向けアンケート

アンケート調査へのご協力をお願い

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
皆さまには日頃より、「ふれあい・いきいきサロン(以下サロン)」をはじめとする地域福祉活動にご理解・ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。
このたび、名古屋社会福祉協議会(以下本会)では、名古屋市内における各種サロンの現状について、サロン運営ボランティア及び参加者の双方を対象としたアンケートを実施することとしました。

今回の調査を通じて、運営ボランティア代表者・参加者の方々の現状やサロン参加後の変化、サロン活動上での課題、支援要望などを把握し、今後安心してサロン活動ができる地域社会づくりに役立てたいと考えております。
つきましては、お忙しいところ大変申し訳ありませんが、以下のアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年10月 名古屋社会福祉協議会

ご回答にあたってのお願い

- 本アンケート調査は、社会福祉協議会(以下「社協」という)が把握する高齢者・共生型サロンについて、各区から無作為抽出し、サロンの参加者に送付しています。
- サロンに対して日ごろお考えになっていることについてご記入をお願いいたします。
- 回答にあたっては、樹に記帳のない場合は、該当する項目を1つ選んで、書きに○印をつけてください。ただし、「その他」を選択された場合は、()内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査結果はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはありません。普及思っておられることをありのままにお答えください。
- 回答された調査票は、11月28日(金)までに同封しました返信用封筒(切手不要)に入れて、お近くのポストに投函してください。
- このアンケートについてのご質問などがありましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
〒462-8558名古屋北区清水4-17-1 名古屋社会福祉協議会社会福祉会館5階
名古屋社会福祉協議会地域福祉推進部 担当：野々部・中島
TEL 052-911-3193 / FAX 052-917-0702 / mail_chiiki@nagoya-shakyo.or.jp

問3 サロン会場までの1番多い移動手段を教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

1. ひとりで歩いて来ている
2. ひとりで自転車で来ている
3. ひとりの自動車であって来ている
4. 家族と一緒に歩いて来ている
5. 家族が自動車を送迎してくれる
6. 参加者同士誘い合って歩いて来ている
7. 参加者同士誘い合って自転車であって来ている
8. 参加者の自動車に乗り合わせて来ている
9. 地下鉄・バスなどの公共交通機関
10. その他 ()

問4 あなたがサロンに参加する理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 新たに友人や仲間をつくるため
2. 友人や仲間との交流を深めるため
3. 健康を維持するため
4. 介護予防・認知症予防になるため
5. 誰かが誘ってくれるため ()
6. 趣味や特技、技術をいかすため
7. 明地場所が近いから
8. 自分の話を聞いてくれる人がいるため
9. その他 ()

問5 サロンに参加し始めてから何年経過したか教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

1. 1年未満
2. 1～2年未満
3. 2～3年未満
4. 3～4年未満
5. 4～5年未満
6. 5年以上
7. わからない

問6 サロン参加費(会費)について、あなたの考えに1番近いものを教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

1. 運営に必要な参加費は負担しても構わない
2. 低額なら負担しても構わない
3. 参加費を負担してまで来たくない

問7 サロンに対する満足度について、あなたの考えに1番近いものを教えてください。(あてはまるもの1つに○印)

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらとも言えない
4. あまり満足していない
5. 満足していない

問8 サロンの情報をどのように入手しているか教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

1. 地域の掲示板、回覧板
2. 友人から
3. サロン運営ボランティアから
4. 区役所や保健センター
5. いきいき支援センター
6. 福祉会館や生涯学習センター ()
7. 介護保険サービス事業所
8. 社会福祉協議会
9. SMS(X、インスタグラム、Facebook等)
10. わからない
11. その他 ()

サロンに参加する以前と比較した効果についてお答えください。

問9 サロンへの参加を通じて感じている①自分自身の変化と②地域とのつながりについて、各項目のそれぞれの欄で、あなたのお考えに最も近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

記入例) ○○○○○○について ⇒	1	2	3	4	5	6
<①自分自身の変化>						
(1) 人と話す機会が増えた	⇒	1	2	3	4	5
(2) 新しい友人や仲間ができた	⇒	1	2	3	4	5
(3) 外出の回数(機会)が増えた	⇒	1	2	3	4	5
(4) サロン以外の会(趣味やスポーツなど)の参加が増えた	⇒	1	2	3	4	5
(5) ボランティア活動を始めた	⇒	1	2	3	4	5
(6) 気持ちが増えた	⇒	1	2	3	4	5
(7) さびしさや不安感、孤独感がなくなった	⇒	1	2	3	4	5
(8) 周囲の人を気にかけるようになった	⇒	1	2	3	4	5
(9) 生活のリズムがつき、メリハリがついた	⇒	1	2	3	4	5
(10) 身だしなみに気を使うようになった	⇒	1	2	3	4	5
(11) 体を動かす習慣が増えた	⇒	1	2	3	4	5
(12) 健康について意識するようになった	⇒	1	2	3	4	5
(13) 健康に関する情報や知識が増えた	⇒	1	2	3	4	5
(14) 健康を保つことができている	⇒	1	2	3	4	5
(15) 介護予防や認知症予防になっている	⇒	1	2	3	4	5
(16) 病院に行く回数が減った	⇒	1	2	3	4	5
(17) サロンの参加が生きがいとなっている	⇒	1	2	3	4	5
<②地域とのつながり>						
(18) 地域には助けあいの気持ちがあると感じている	⇒	1	2	3	4	5
(19) 地域のの人に頼ることができるようになった	⇒	1	2	3	4	5
(20) サロン以外にも友人や仲間ができた	⇒	1	2	3	4	5
(21) 周囲の人が自分のことを気にかけてくれるようになった	⇒	1	2	3	4	5
(22) 心配ごとや困りごとを相談できるようになった	⇒	1	2	3	4	5
(23) 地域活動・行事の誘いがくようになった	⇒	1	2	3	4	5
(24) 地域活動・行事に参加するようになった	⇒	1	2	3	4	5

日常の行動や感じていることについておたずねします。

問10 今後、サロン活動をより一層充実するために 必要だと思われることを教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. プログラムや内容の充実 (⇒問11に進む) | 8. 行政や社協職員の参加 |
| 2. 大学生など若い世代の参加 | 9. いきいき支援センター職員など専門職の参加 |
| 3. 参加対象世代の拡大 | 10. サロンへの送迎支援 |
| 4. 地元企業や商店街等の協力 | 11. サロンでの困りごと相談の受付 |
| 5. 開催回数の増加 | 12. サロンでの見守りや助けあいの活動 |
| 6. 男性参加者の増加 | 13. より身近な場所でのサロンの実施 |
| 7. 活躍できる機会の増加 | 14. その他 |
| | () |

問11 問10で、「1」と回答された方についてお聞きします。
どのようなプログラムや内容が良いと思われるか教えてください。
(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 健康体操 | 9. 文化活動 (習字・俳句・川柳等) |
| 2. 健康講話 | 10. 囲碁・将棋・麻雀等 |
| 3. 健康チェック (血圧測定等) | 11. 脳トレーニング |
| 4. 創作活動 (手芸など) | 12. 室内ゲーム |
| 5. 音楽鑑賞 | 13. 行政等の出前講座 |
| 6. 音楽活動 (歌謡・楽器演奏) | 14. 世代間交流 (幼稚園児や学生との交流) |
| 7. 演劇・映画鑑賞 | 15. 食事会 (料理、お菓子作り) |
| 8. お茶とおしゃべり | 16. その他 |
| | () |

問12 日頃、困りごとがあった時に誰に誰に相談するか教えてください。(あてはまるものすべてに○印)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1. 家族 (親族) | 7. 民生委員・児童委員 |
| 2. 友人 | 8. 担当のケアマネジャー |
| 3. 近所の人 | 9. 社会福祉協議会 |
| 4. サロンの仲間 | 10. いきいき支援センター |
| 5. サロンのスタッフ | 11. 区役所・保健センター |
| 6. 自治会・町内会 | 12. その他 |
| | () |

問13 サロンに参加する中で、日ごろ感じていることがあればご自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
調査票は、11月28日(金)までに同封の封筒にてご返送ください。

**名古屋市社会福祉協議会
高齢者・共生型サロン実態把握調査報告書**

発行日：2026年3月

発行：社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会
名古屋市北区清水四丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館5階